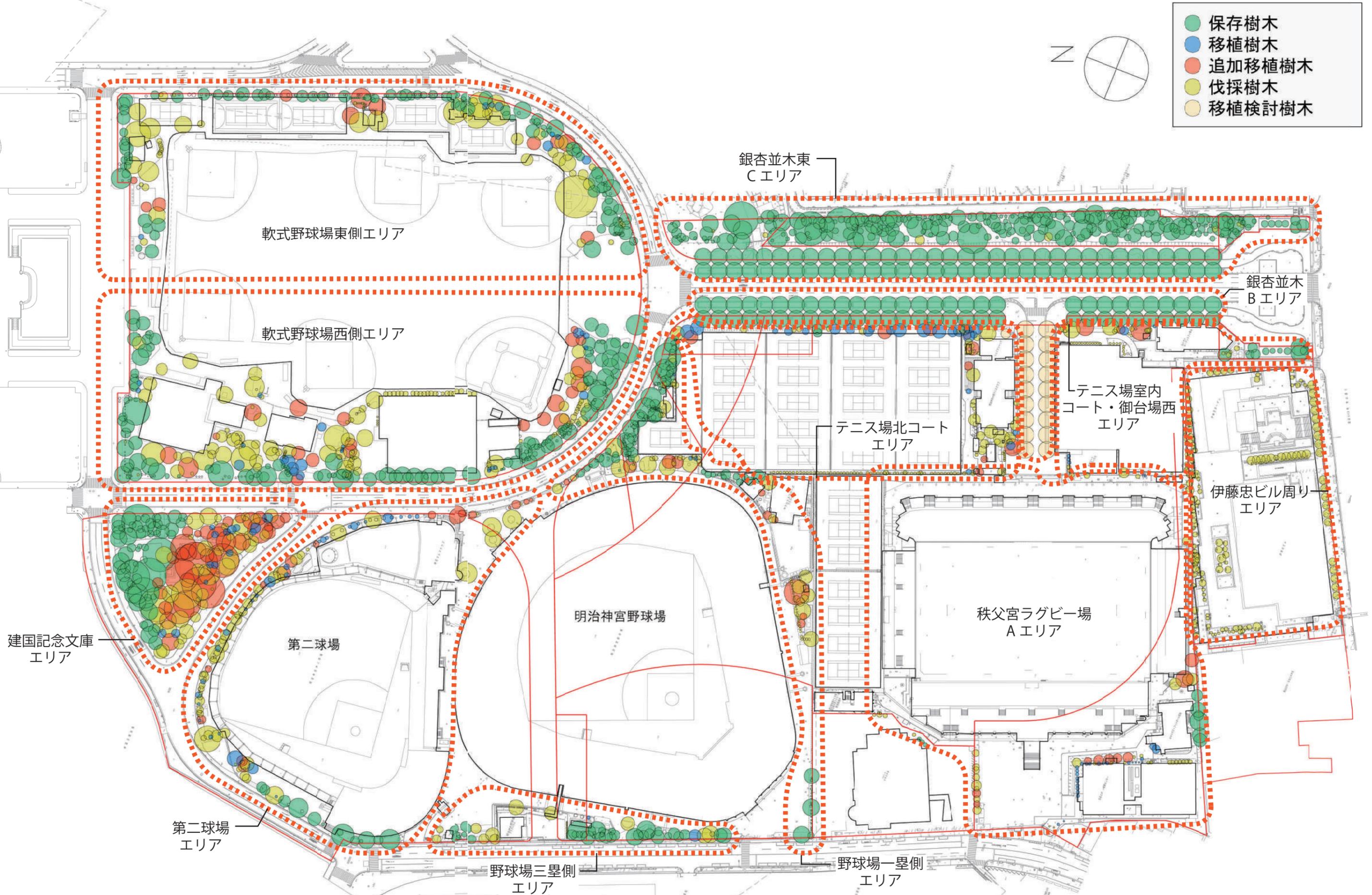
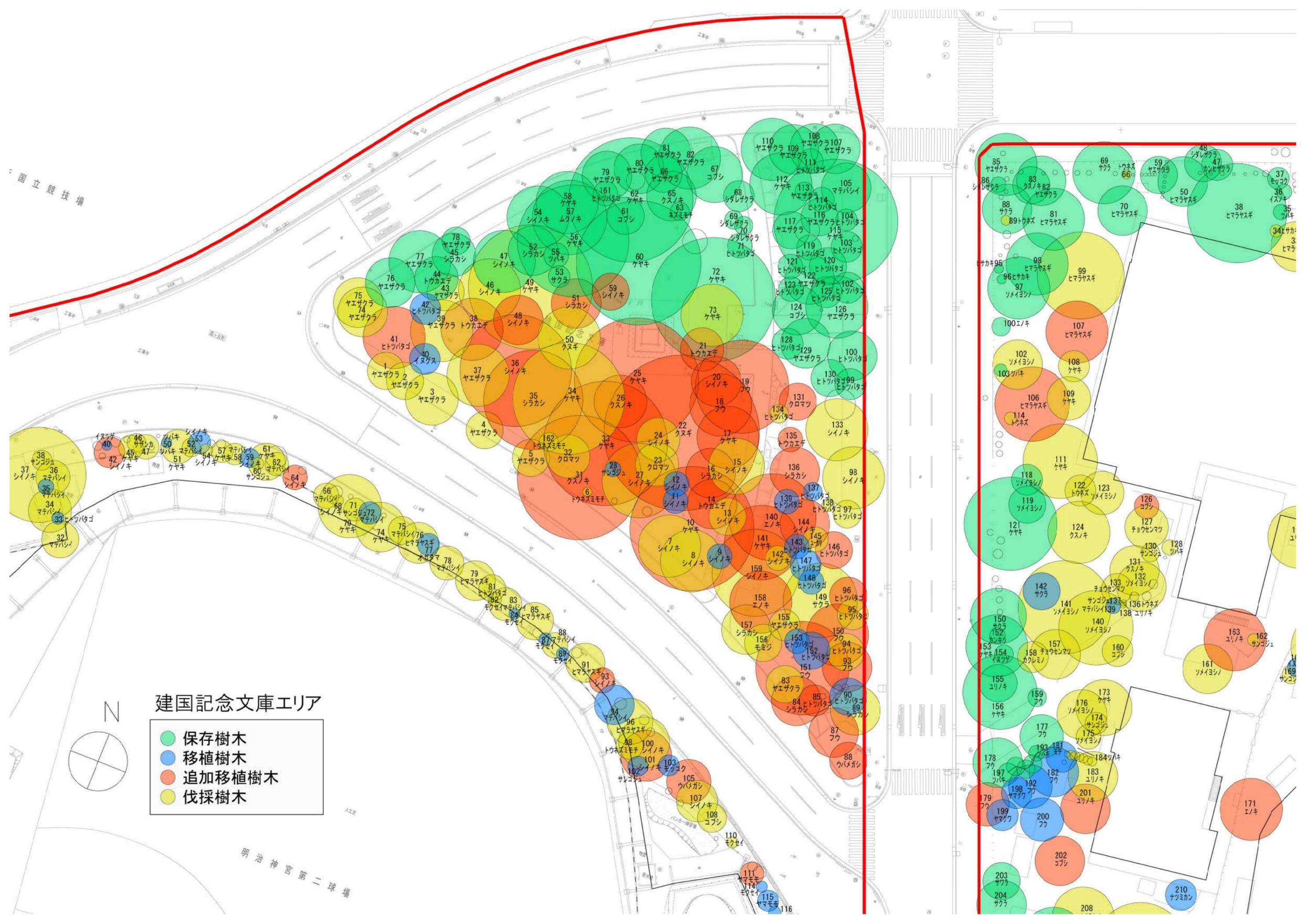


●既存樹木調査データ（毎木調査・活力度調査（2019年）および追加の詳細調査（2022年））



■樹木配置図（現況）



建国記念文庫エリア

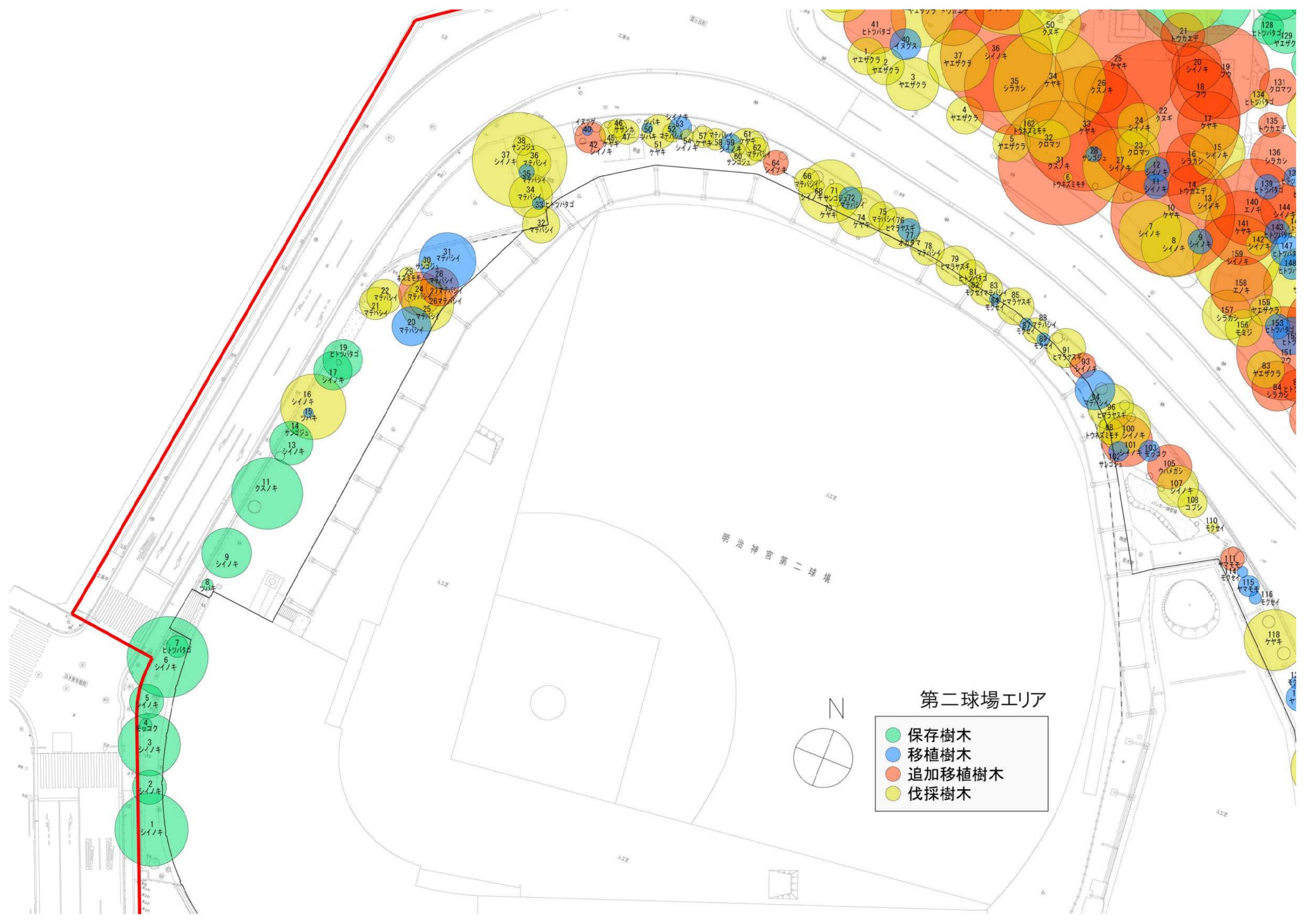
- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

国立競技場

明治神宮第二球場



38 サングジュ
37 シイノキ
36 マテバシイ
35 マテバシイ
34 マテバシイ
33 ヒトツバタゴ
32 マテバシイ
イヌツゲ
40
46 ササノカ
ツバキ
50
52
53
54
57 マテバシイ
58 ケヤキ
59
61 ケヤキ
62
63
64
42 ケヤキ
45
47
51
54
58
60
62
63
64
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
850
851
852
853
854
855
856
857
858
859
860
861
862
863
864
865
866
867
868
869
870
871
872
873
874
875
876
877
878
879
880
881
882
883
884
885
886
887
888
889
890
891
892
893
894
895
896
897
898
899
900
901
902
903
904
905
906
907
908
909
910
911
912
913
914
915
916
917
918
919
920
921
922
923
924
925
926
927
928
929
930
931
932
933
934
935
936
937
938
939
940
941
942
943
944
945
946
947
948
949
950
951
952
953
954
955
956
957
958
959
960
961
962
963
964
965
966
967
968
969
970
971
972
973
974
975
976
977
978
979
980
981
982
983
984
985
986
987
988
989
990
991
992
993
994
995
996
997
998
999
1000



明治神宮第二球場

第二球場エリア

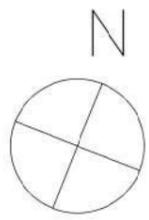
- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木



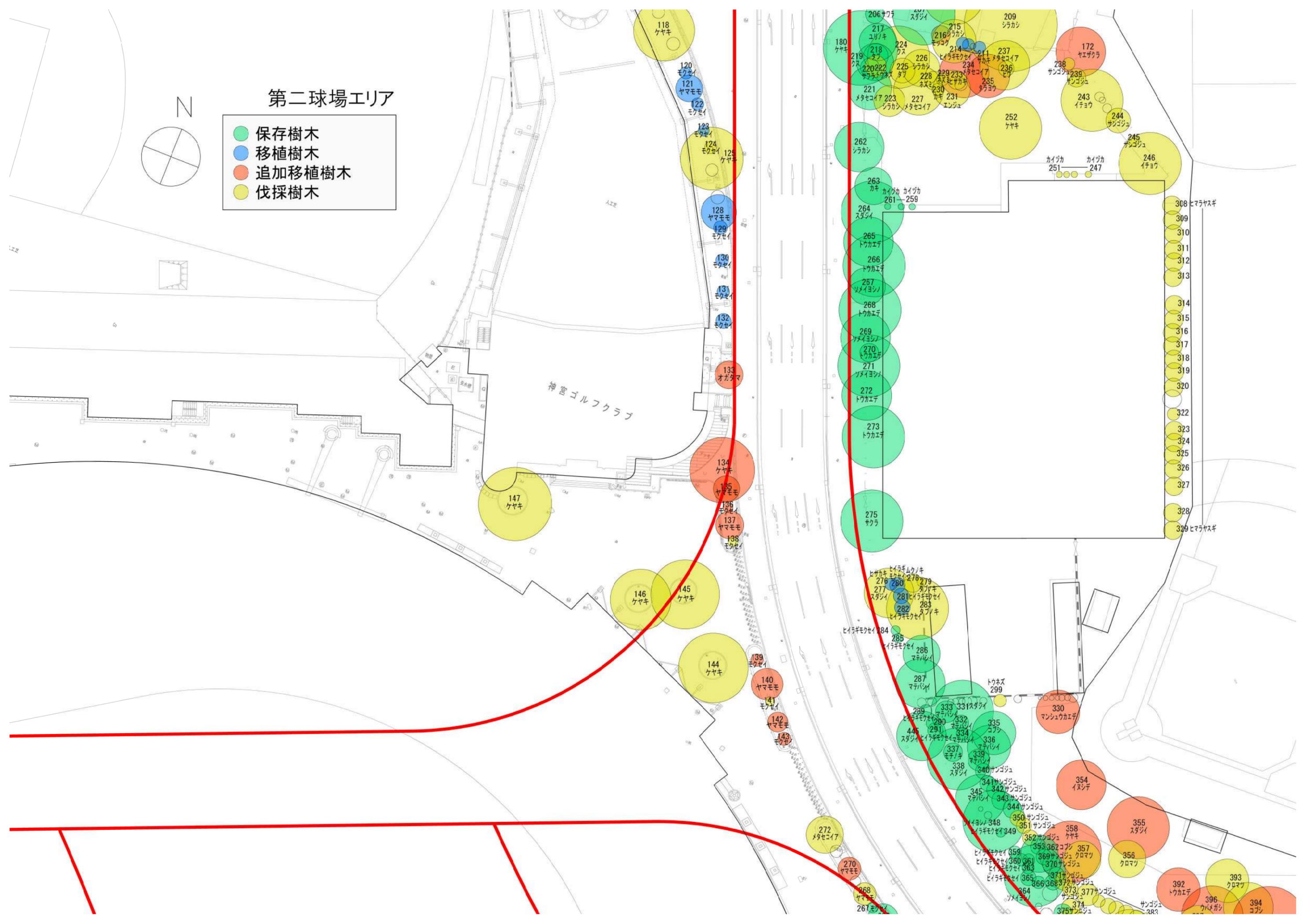
- 1 シイノキ
- 2 シイノキ
- 3 シイノキ
- 4 モッコク
- 5 シイノキ
- 6 シイノキ
- 7 ヒトツバタゴ
- 8 ツバキ
- 9 シイノキ
- 11 クスノキ
- 13 シイノキ
- 14 サンゴジュ
- 16 シイノキ
- 17 シイノキ
- 19 ヒトツバタゴ
- 20 マテバシイ
- 21 マテバシイ
- 22 マテバシイ
- 24 マテバシイ
- 25 マテバシイ
- 26 マテバシイ
- 27 マテバシイ
- 28 マテバシイ
- 29 トウネズミモチ
- 30 サンゴジュ
- 31 マテバシイ
- 32 マテバシイ
- 33 ヒトツバタゴ
- 34 マテバシイ
- 35 マテバシイ
- 36 マテバシイ
- 37 シイノキ
- 38 サンゴジュ
- 39 マテバシイ
- 40 イヌグス
- 41 ヒトツバタゴ
- 42 ケヤキ
- 43 シイノキ
- 44 ツバキ
- 45 ツバキ
- 46 ツバキ
- 47 ツバキ
- 48 ツバキ
- 49 ツバキ
- 50 ツバキ
- 51 ツバキ
- 52 ツバキ
- 53 ツバキ
- 54 ツバキ
- 55 ツバキ
- 56 ツバキ
- 57 マテバシイ
- 58 ツバキ
- 59 ツバキ
- 60 マテバシイ
- 61 ツバキ
- 62 マテバシイ
- 63 ツバキ
- 64 シイノキ
- 66 マテバシイ
- 67 ツバキ
- 68 ツバキ
- 69 ツバキ
- 70 ツバキ
- 71 ツバキ
- 72 マテバシイ
- 73 ツバキ
- 74 ツバキ
- 75 マテバシイ
- 76 ツバキ
- 77 ツバキ
- 78 ツバキ
- 79 ツバキ
- 80 ツバキ
- 81 ツバキ
- 82 ツバキ
- 83 ツバキ
- 84 ツバキ
- 85 ツバキ
- 86 ツバキ
- 87 マテバシイ
- 88 ツバキ
- 89 ツバキ
- 90 ツバキ
- 91 ツバキ
- 92 ツバキ
- 93 ツバキ
- 94 ツバキ
- 95 ツバキ
- 96 ツバキ
- 97 ツバキ
- 98 ツバキ
- 99 ツバキ
- 100 ツバキ
- 101 ツバキ
- 102 ツバキ
- 103 ツバキ
- 104 ツバキ
- 105 ツバキ
- 106 ツバキ
- 107 ツバキ
- 108 ツバキ
- 109 ツバキ
- 110 ツバキ
- 111 ツバキ
- 112 ツバキ
- 113 ツバキ
- 114 ツバキ
- 115 ツバキ
- 116 ツバキ
- 118 ツバキ

第二球場エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

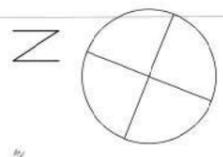
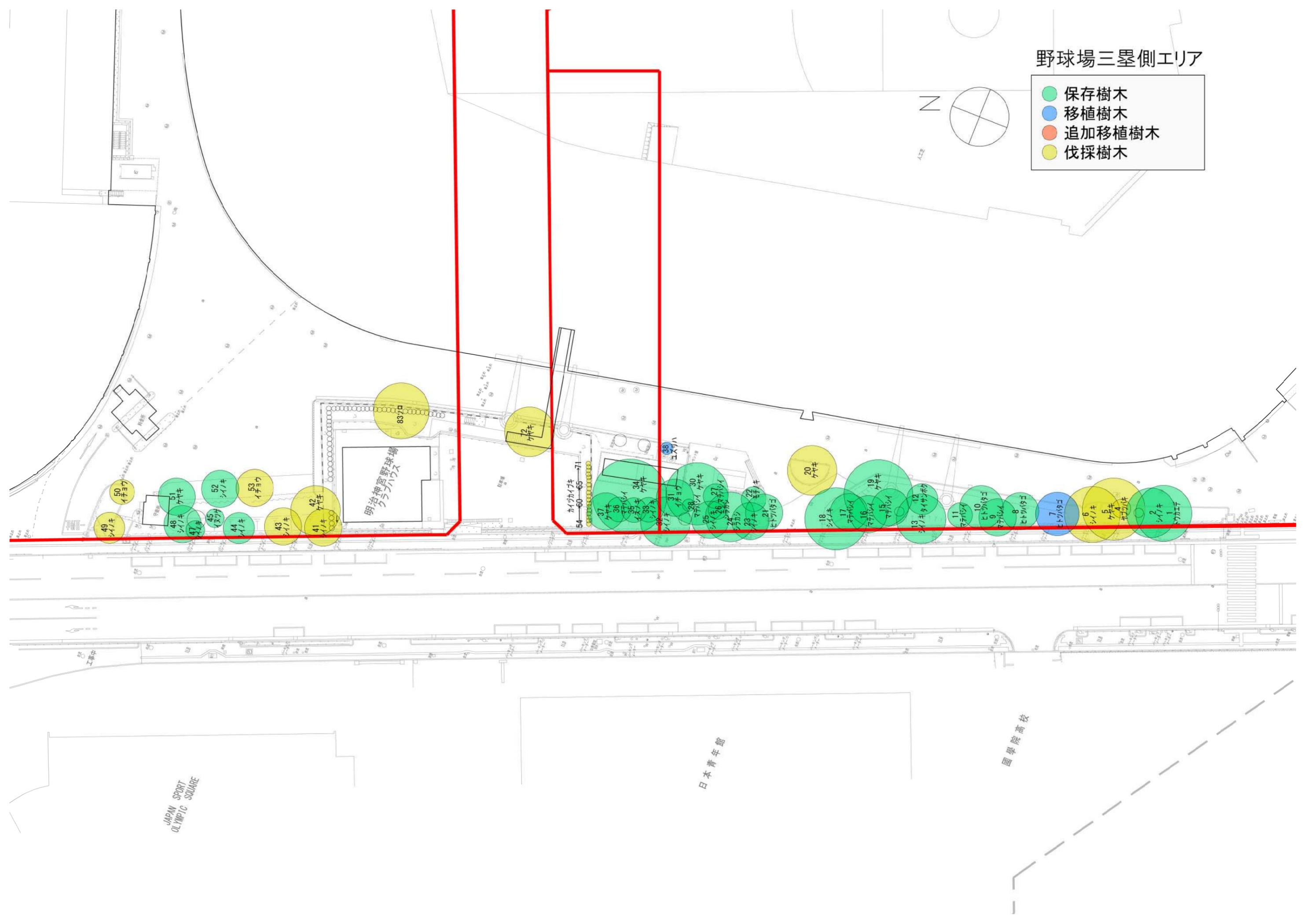


神宮ゴルフクラブ



野球場三塁側エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木



明治神宮野球場
クラブハウス

JAPAN SPORT
OLYMPIC SQUARE

日本青年館

國學院高校

カツカイキ

54-60-65-71

ユスリハ

83

12

20

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

37

36

35

34

33

32

31

30

29

28

27

26

25

24

23

22

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

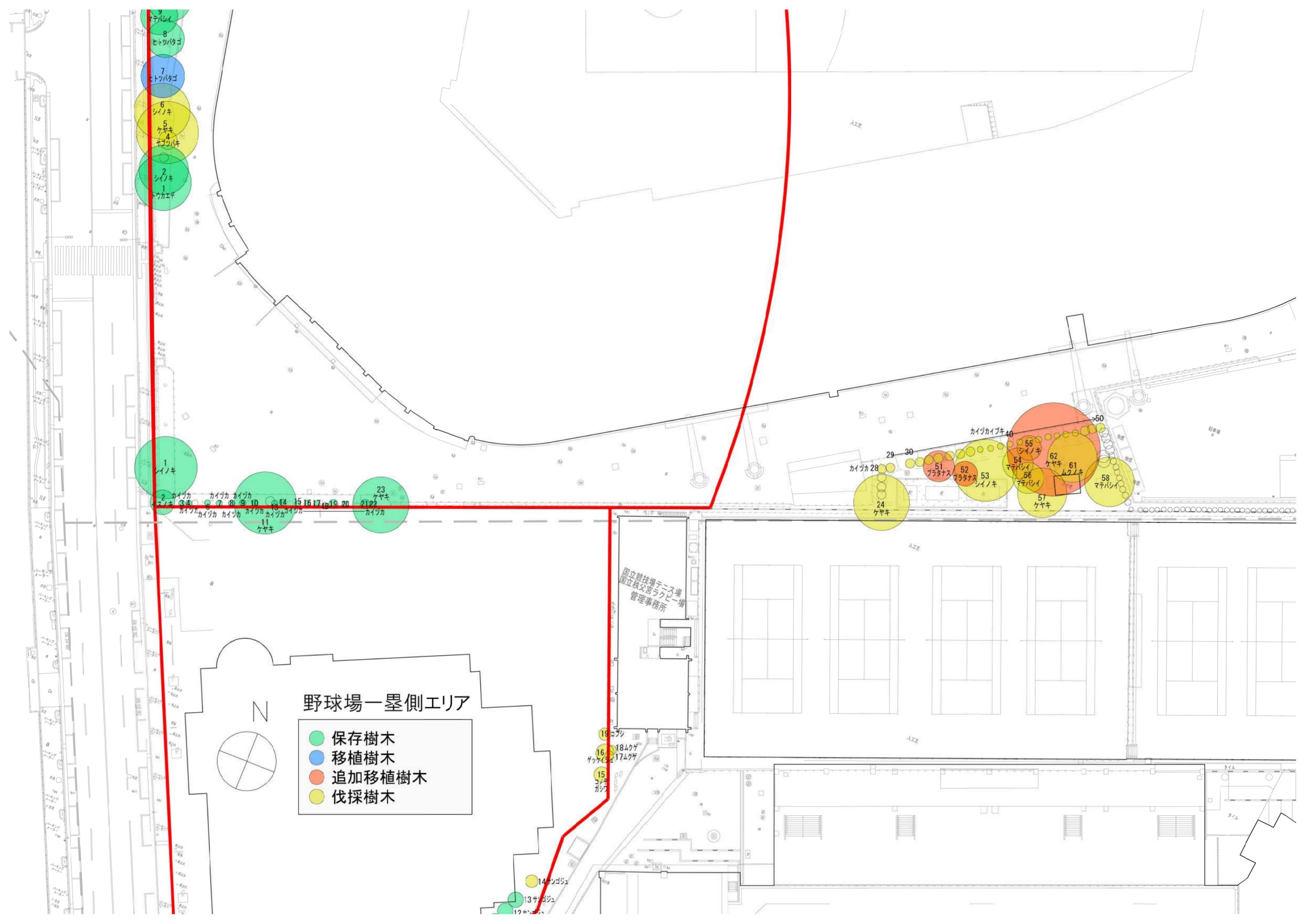
4

3

2

1

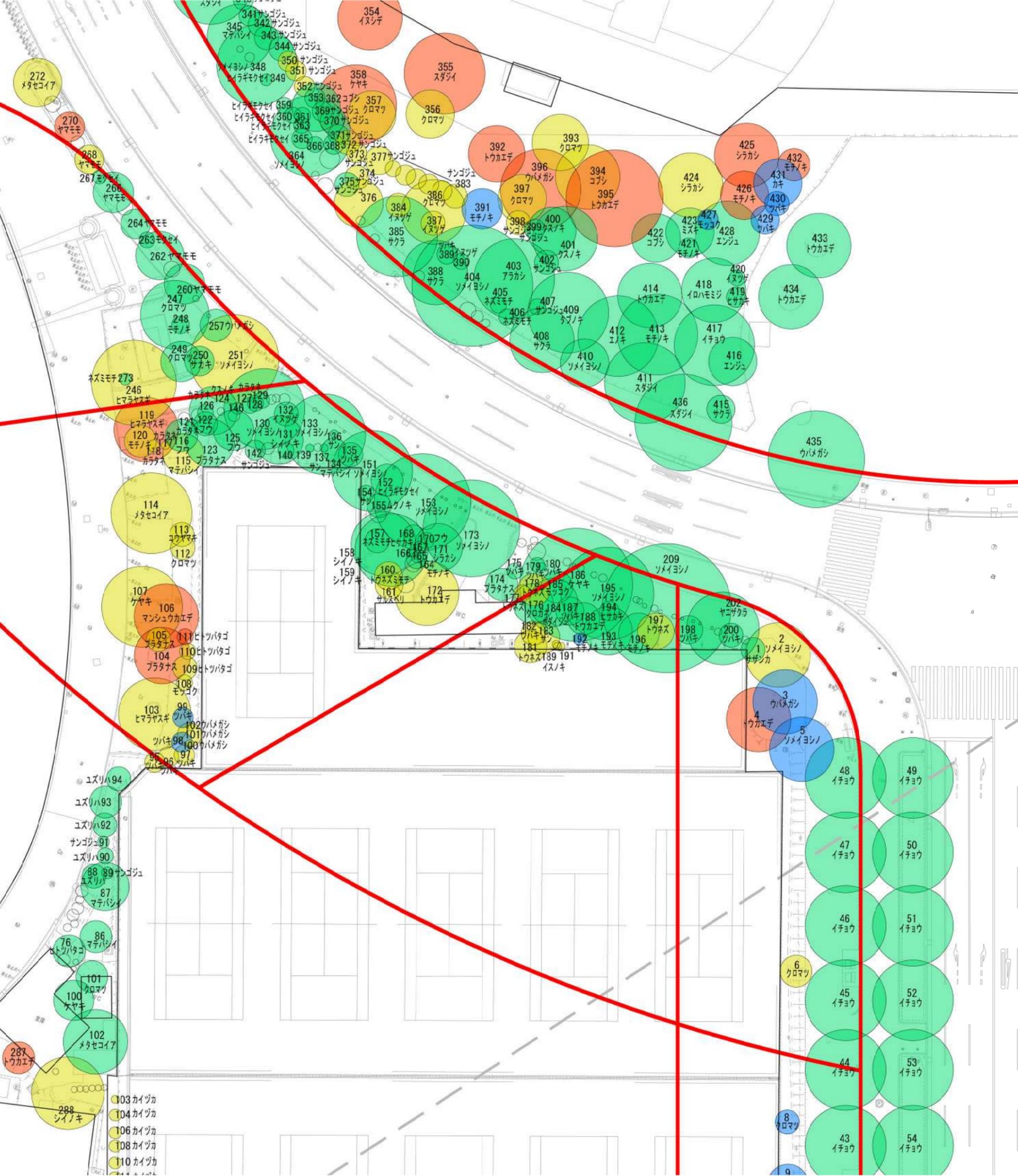
0





野球場一塁側エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木



103 カイツカ
 104 カイツカ
 106 カイツカ
 108 カイツカ
 110 カイツカ

ヤム



銀杏並木: Bエリア
テニスコート北コートエリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

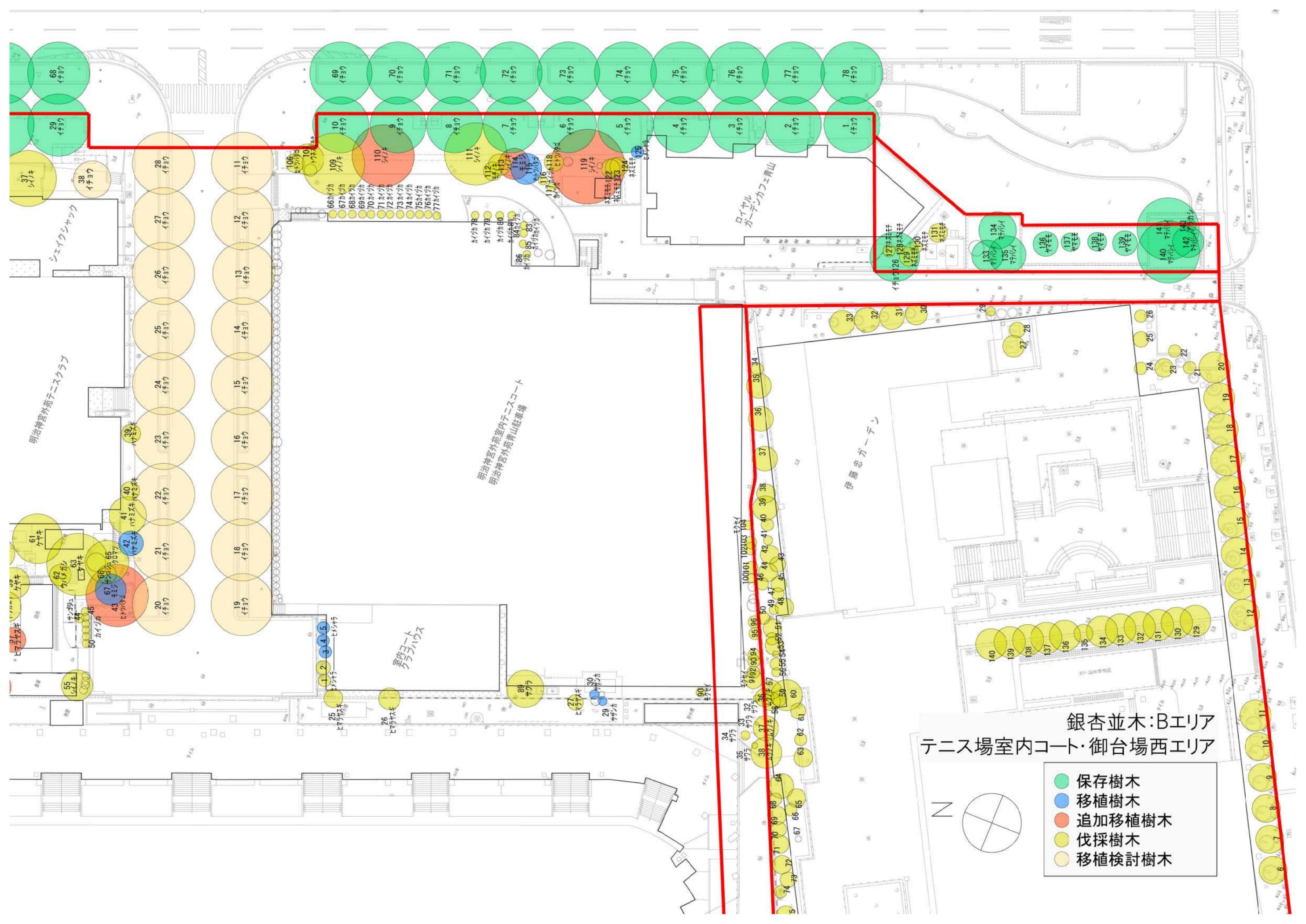


ヤクルトスプロング
クラブハウス

明治神宮外苑テニスクラブ

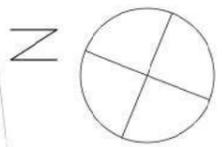
ジェイクシヤック

107 ケヤキ
106 マンジュウカエデ
105 (11) ヒメツバキ
104 (110) トウバゴ
103 ヒメツバキ
102 ハシロネ
101 ハシロネ
100 ハシロネ
99 ハシロネ
98 ハシロネ
97 ハシロネ
96 ハシロネ
95 ハシロネ
94 ハシロネ
93 ハシロネ
92 ハシロネ
91 ハシロネ
90 ハシロネ
89 ハシロネ
88 ハシロネ
87 ハシロネ
86 ハシロネ
85 ハシロネ
84 ハシロネ
83 ハシロネ
82 ハシロネ
81 ハシロネ
80 ハシロネ
79 ハシロネ
78 ハシロネ
77 ハシロネ
76 ハシロネ
75 ハシロネ
74 ハシロネ
73 ハシロネ
72 ハシロネ
71 ハシロネ
70 ハシロネ
69 ハシロネ
68 ハシロネ
67 ハシロネ
66 ハシロネ
65 ハシロネ
64 ハシロネ
63 ハシロネ
62 ハシロネ
61 ハシロネ
60 ハシロネ
59 ハシロネ
58 ハシロネ
57 ハシロネ
56 ハシロネ
55 ハシロネ
54 ハシロネ
53 ハシロネ
52 ハシロネ
51 ハシロネ
50 ハシロネ
49 ハシロネ
48 ハシロネ
47 ハシロネ
46 ハシロネ
45 ハシロネ
44 ハシロネ
43 ハシロネ
42 ハシロネ
41 ハシロネ
40 ハシロネ
39 ハシロネ
38 ハシロネ
37 ハシロネ
36 ハシロネ
35 ハシロネ
34 ハシロネ
33 ハシロネ
32 ハシロネ
31 ハシロネ
30 ハシロネ
29 ハシロネ
28 ハシロネ
27 ハシロネ
26 ハシロネ
25 ハシロネ
24 ハシロネ
23 ハシロネ
22 ハシロネ
21 ハシロネ
20 ハシロネ
19 ハシロネ
18 ハシロネ
17 ハシロネ
16 ハシロネ
15 ハシロネ
14 ハシロネ
13 ハシロネ
12 ハシロネ
11 ハシロネ
10 ハシロネ
9 ハシロネ
8 ハシロネ
7 ハシロネ
6 ハシロネ
5 ハシロネ
4 ハシロネ
3 ハシロネ
2 ハシロネ
1 ハシロネ
209 リメイシ
208 リメイシ
207 リメイシ
206 リメイシ
205 リメイシ
204 リメイシ
203 リメイシ
202 リメイシ
201 リメイシ
199 リメイシ
198 リメイシ
197 リメイシ
196 リメイシ
195 リメイシ
194 リメイシ
193 リメイシ
192 リメイシ
191 リメイシ
190 リメイシ
189 リメイシ
188 リメイシ
187 リメイシ
186 リメイシ
185 リメイシ
184 リメイシ
183 リメイシ
182 リメイシ
181 リメイシ
180 リメイシ
179 リメイシ
178 リメイシ
177 リメイシ
176 リメイシ
175 リメイシ
174 リメイシ
173 リメイシ
172 リメイシ
171 リメイシ
170 リメイシ
169 リメイシ
168 リメイシ
167 リメイシ
166 リメイシ
165 リメイシ
164 リメイシ
163 リメイシ
162 リメイシ
161 リメイシ
160 リメイシ
159 シイノ
158 シイノ

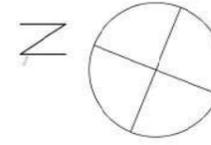


銀杏並木: Bエリア
 テニス場室内コート・御台場西エリア

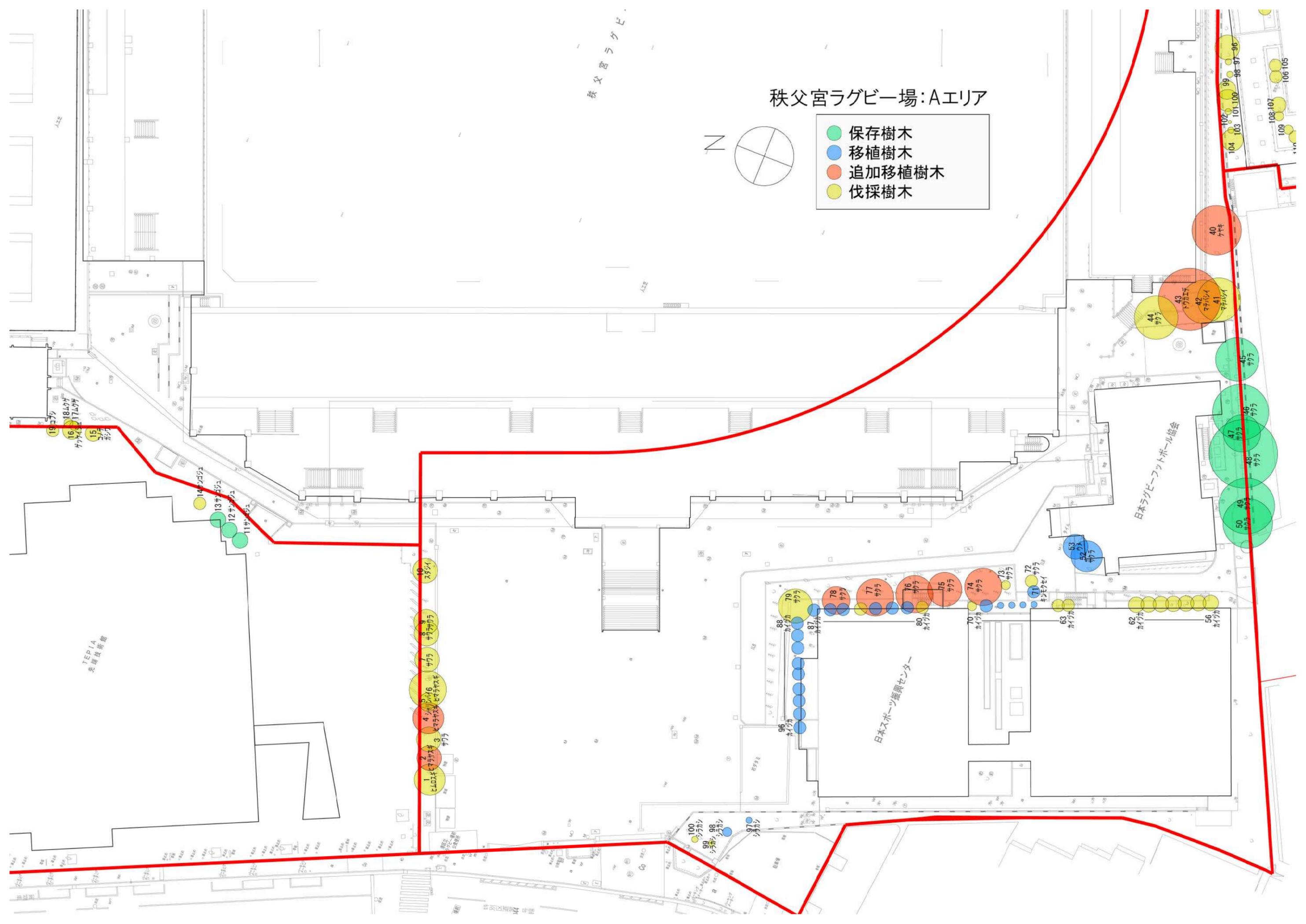
- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木
- 移植検討樹木



秩父宮ラグビー場:Aエリア



- 保存樹木 (Green circle)
- 移植樹木 (Blue circle)
- 追加移植樹木 (Orange circle)
- 伐採樹木 (Yellow circle)



秩父宮ラグビー場

TERIA
先端技術館

日本ラグビーフットボール協会

日本スポーツ振興センター

- 1 ヒロシキエツナギサ
- 2 ヒロシキエツナギサ
- 3 マチキエツナギサ
- 4 マチキエツナギサ
- 5 サラ
- 6 サラ
- 7 サラ
- 8 サラ
- 9 サラ
- 10 スギ

- 79 カイツカ
- 78 サラ
- 77 サラ
- 76 サラ
- 75 サラ
- 74 サラ
- 73 サラ
- 72 キンカセイ
- 71 キンカセイ

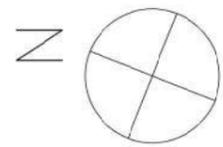
- 63 カイツカ
- 62 カイツカ
- 56 カイツカ

- 44 サラ
- 43 トウカエツ
- 42 マチキ
- 41 マチキ
- 40 マチキ

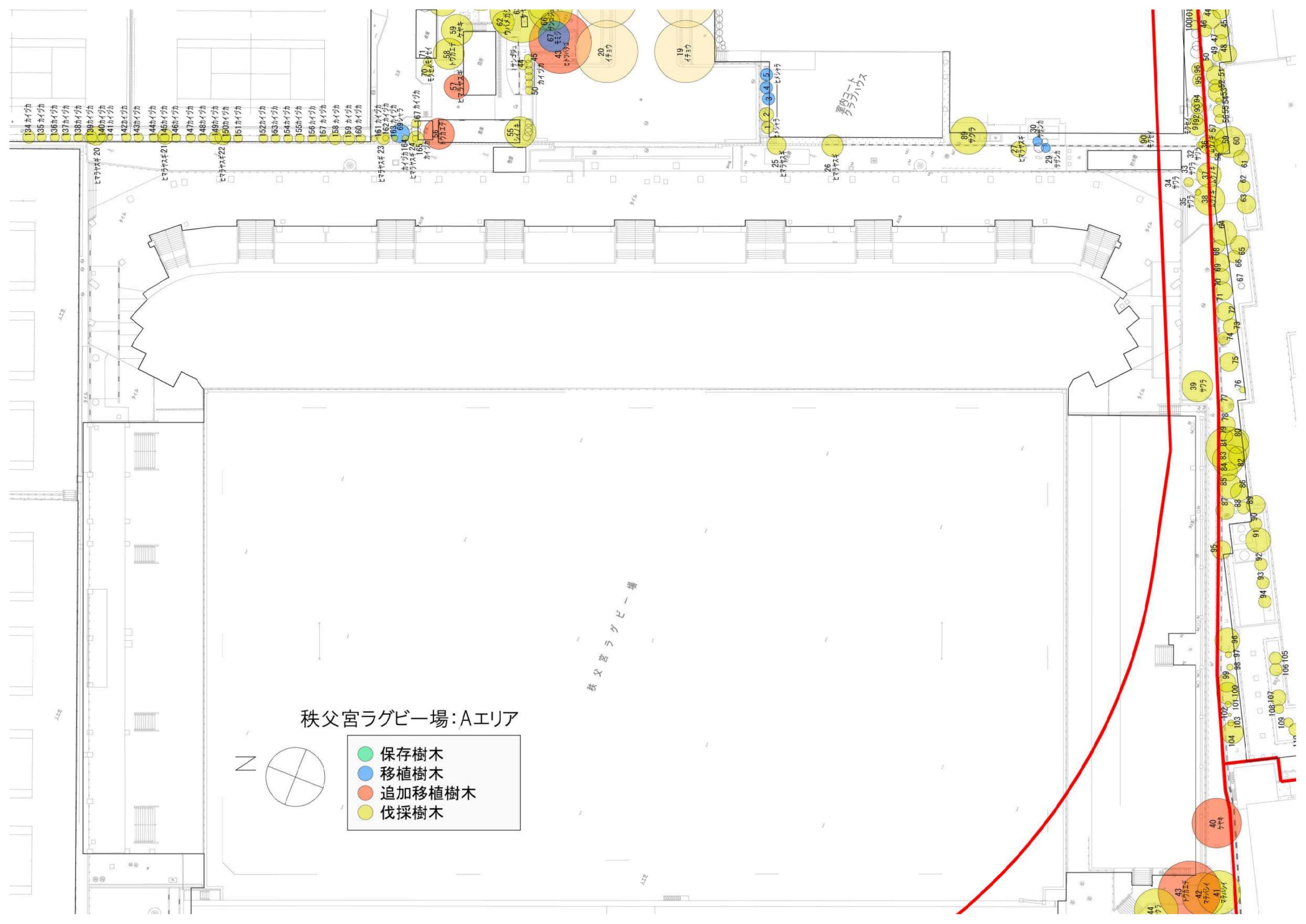
- 45 サラ
- 47 サラ
- 46 サラ
- 48 サラ
- 49 サラ
- 50 サラ

- 104
- 103
- 101
- 100
- 99
- 98
- 97
- 96
- 108
- 107
- 109
- 106
- 105

秩父宮ラグビー場:Aエリア

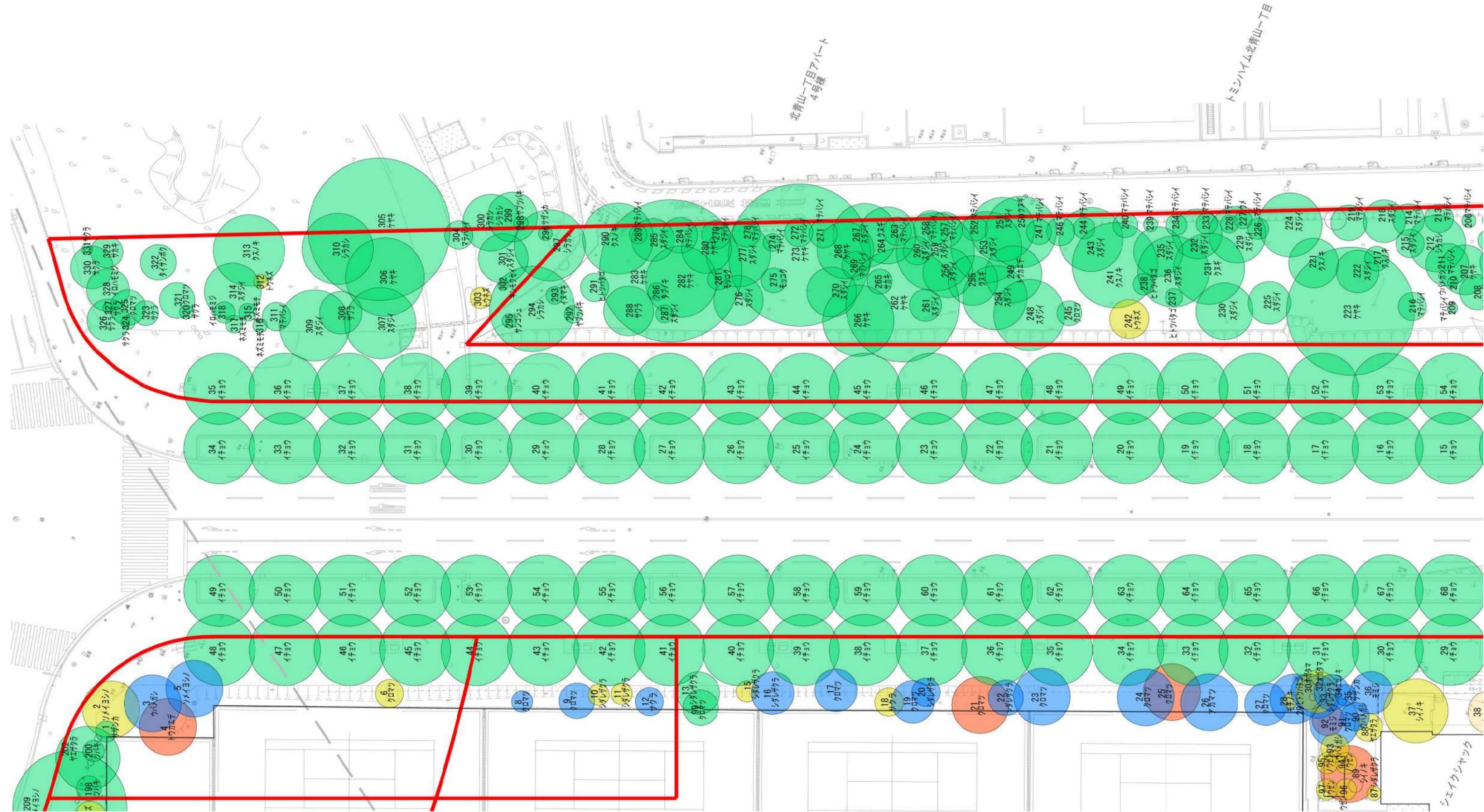
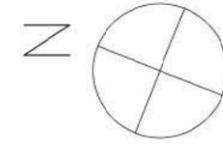


- 保存樹木 (Green circle)
- 移植樹木 (Blue circle)
- 追加移植樹木 (Red circle)
- 伐採樹木 (Yellow circle)



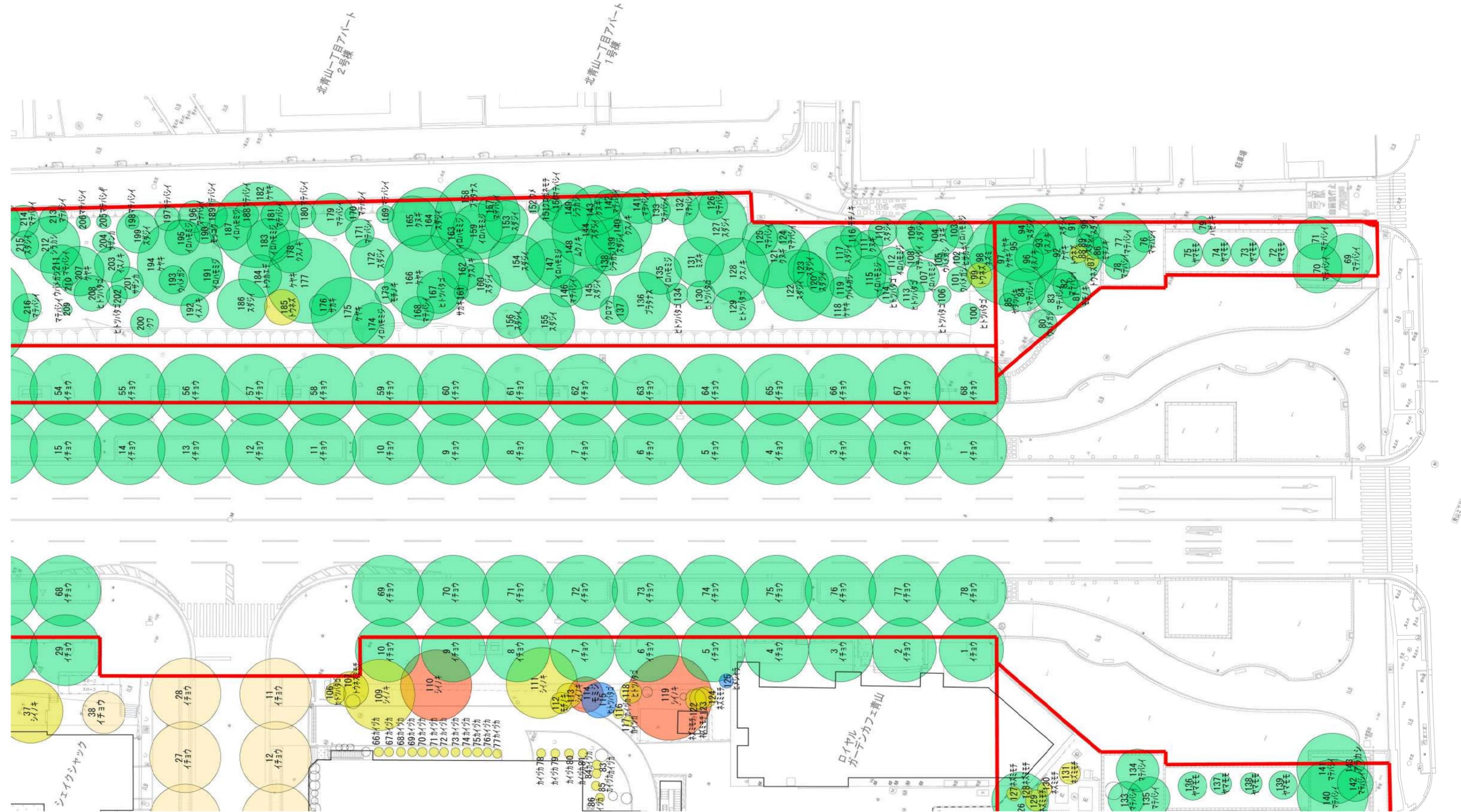
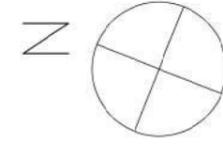
銀杏並木:Bエリア
銀杏並木東:Cエリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木



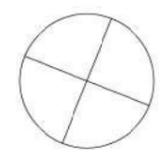
銀杏並木:Bエリア
 銀杏並木東:Cエリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木





国道 246 号 青山通り

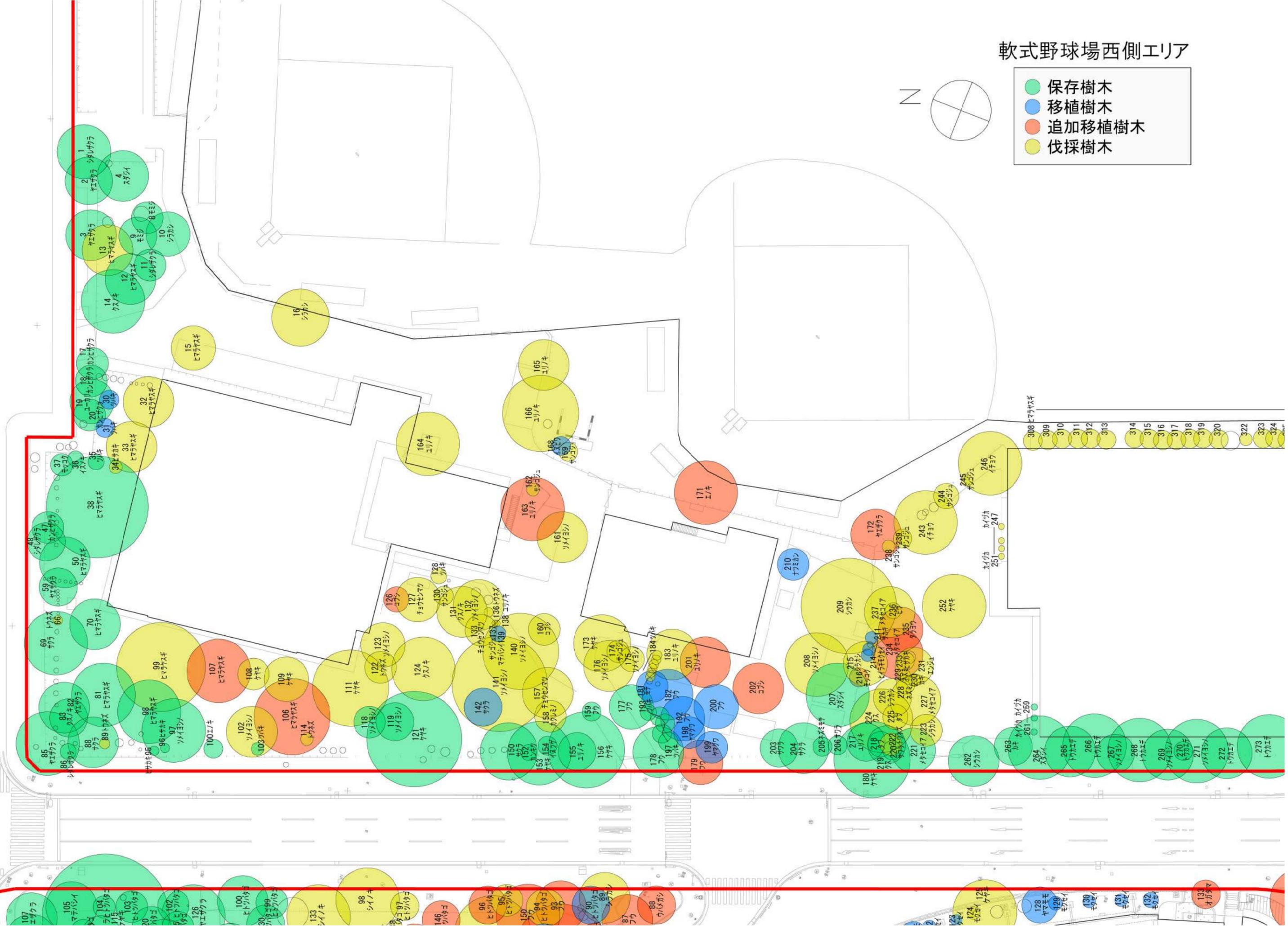
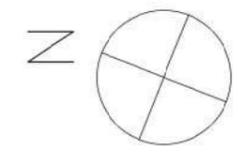


伊藤忠ビル周りエリア

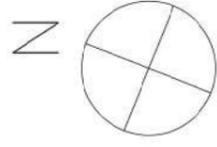
- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

軟式野球場西側エリア

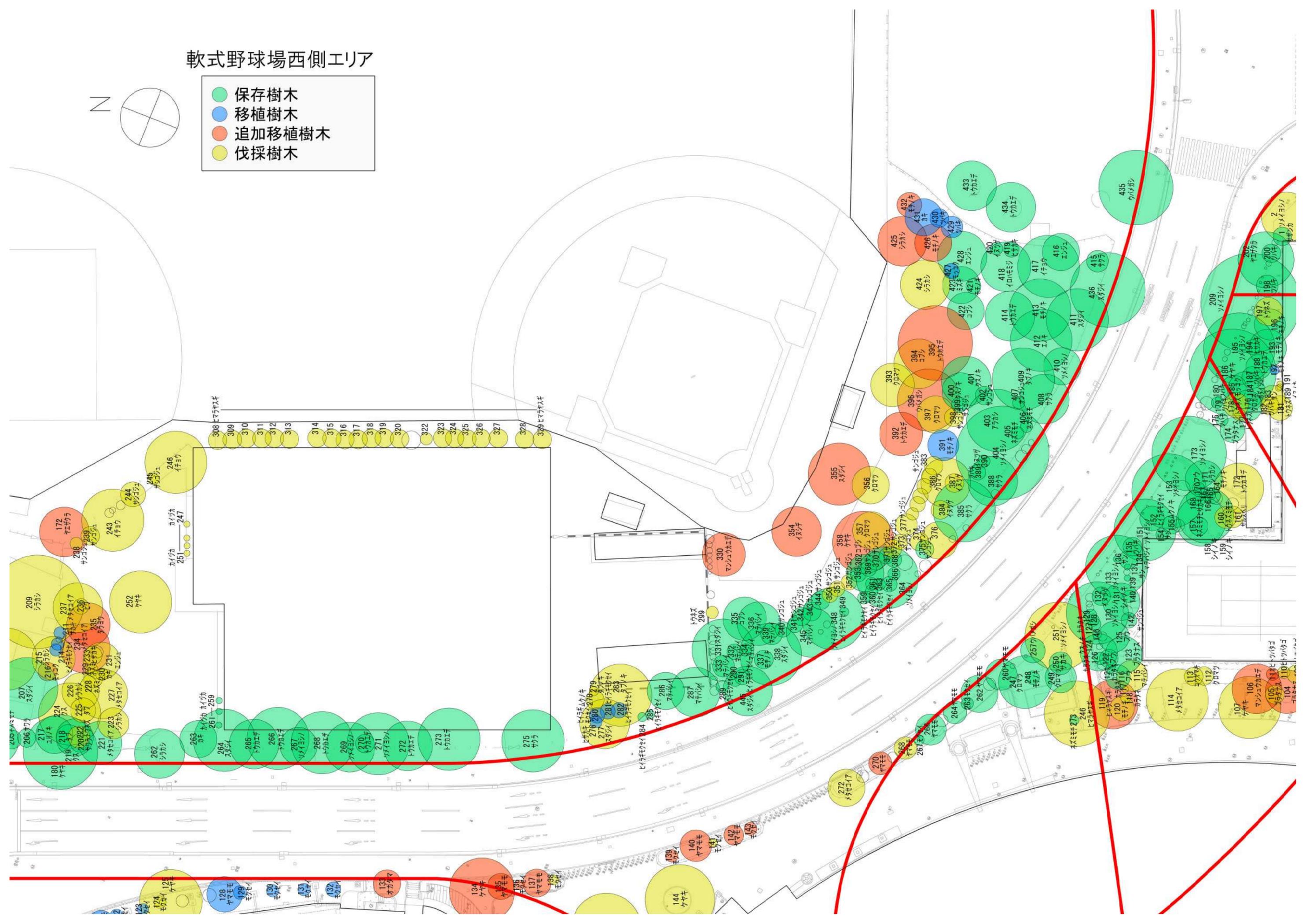
- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

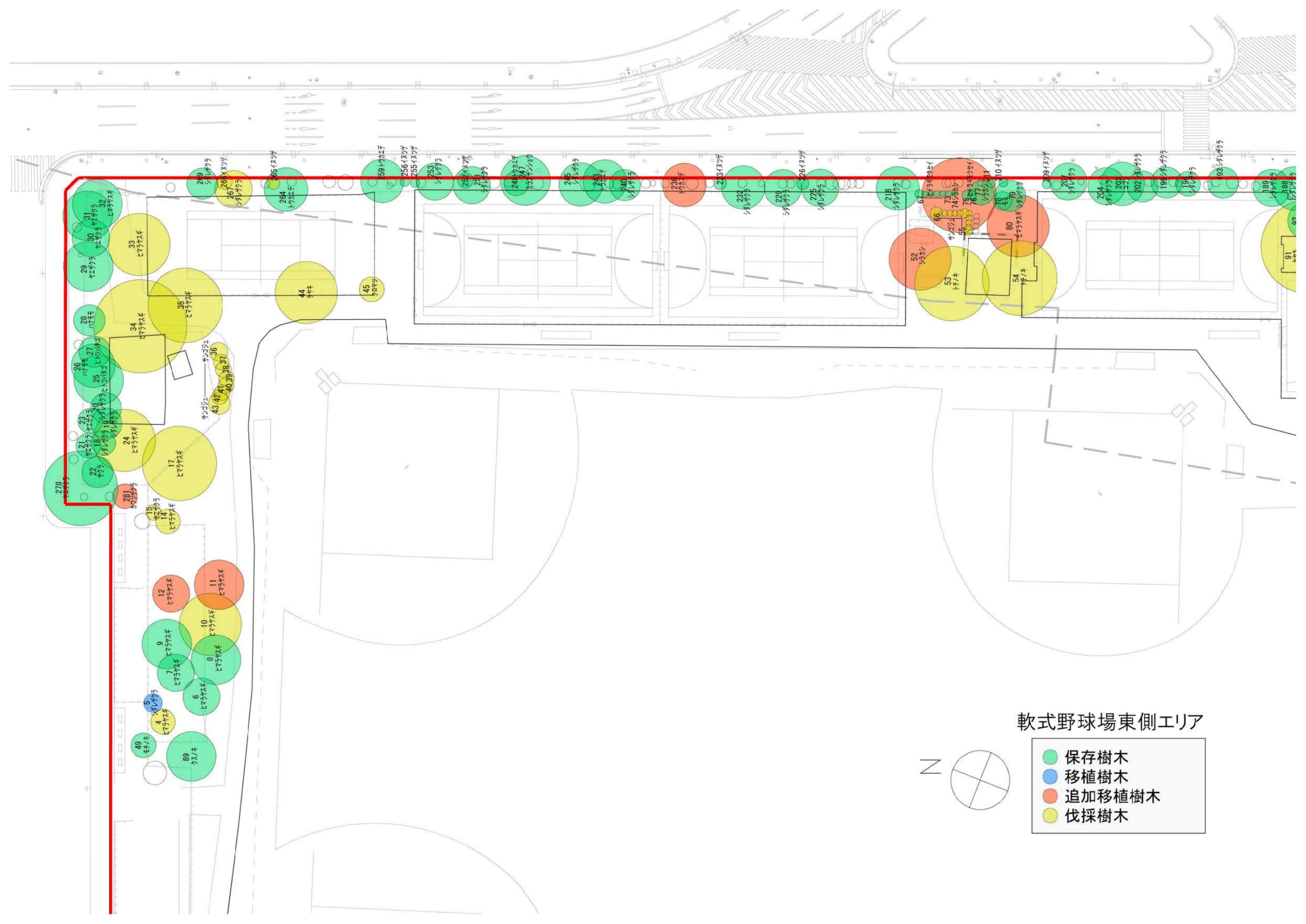


軟式野球場西側エリア

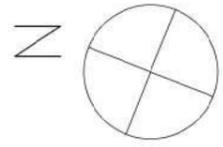


- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

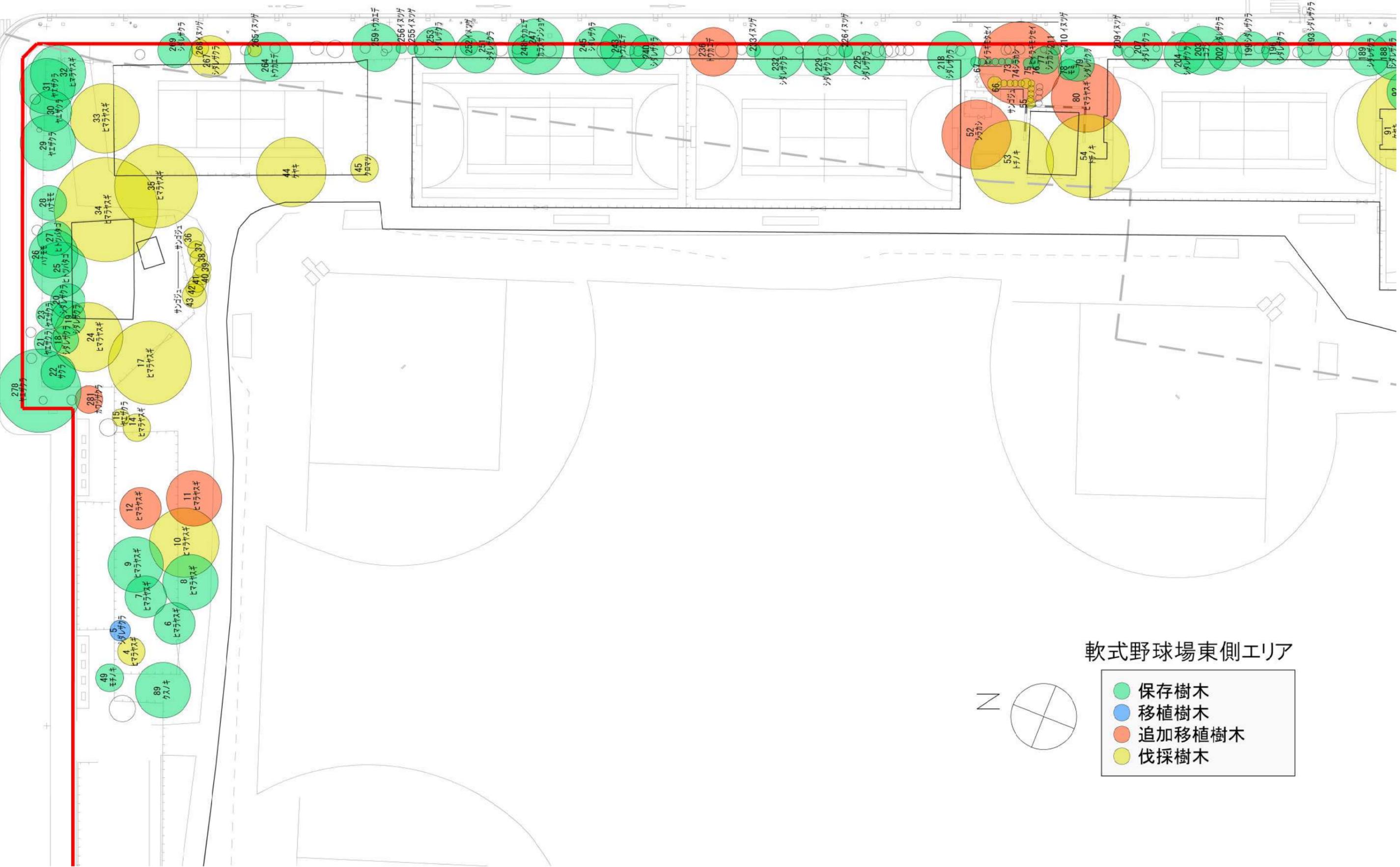




軟式野球場東側エリア

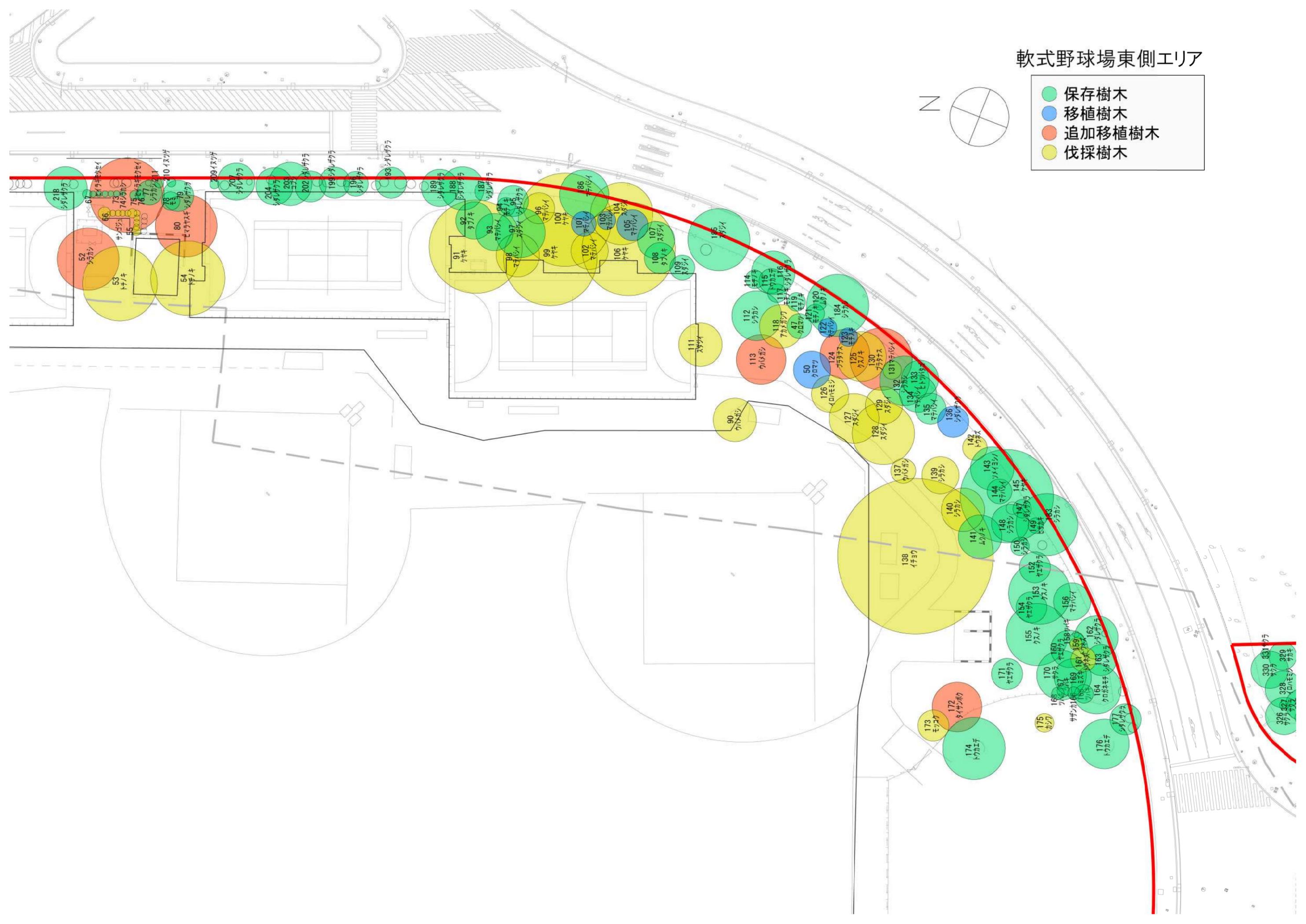
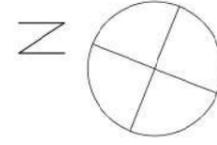


- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木



軟式野球場東側エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木



樹木調査診断

1. 調査の目的

既存樹の活力度や傷害等、外観診断を行い、保存の適否や移植の可否について調査を行った。

2. 調査方法

外観による樹勢・樹形の評価調査と問題となる欠損・腐朽の有無、程度、木槌による幹空洞部分診断、等を外観調査から行う。

樹勢判断には枝の伸長、大枝・幹の欠損、樹皮の代謝、胴吹き・ヒコバエ等を加味して判定する。

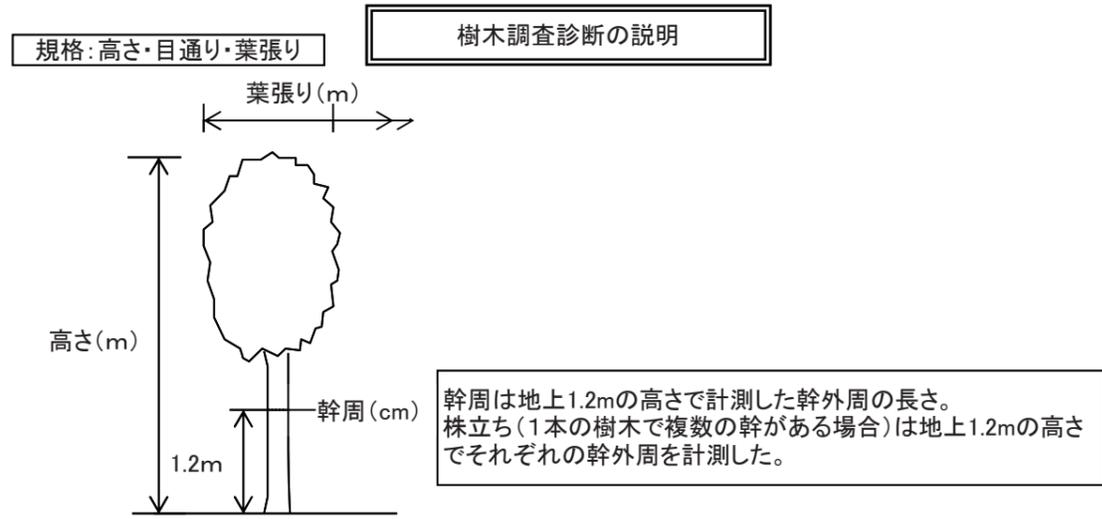
枝・大枝・幹の枯損・腐朽は影響がある場合は備考に記載する。(キノコも含める)。

活力度に関する評価項目は下記記載の項目を行った。

3. 調査結果

調査結果を保存の適否と移植の可否、問題点と外観の特徴を記載する。

結果を下記の基準により、結果一覧にまとめた。



- 活力度調査** 樹勢・樹形・枝伸長量、大枝・幹の欠損・傷、梢端の枯損、枝葉の密度を1~4で評価(梢端の枯損に幹・大枝枯損も含める)
- 保存の必要性** 活力度を主にしながら、樹種特性及び樹形等を総合的に加味する。
- 移植** 移植の可・難・不可について評価する。保存の必要性の高・中に限る。保存低については移植は不可判定とする。
- 参考項目** 根元構造物の有無は移植評価の参考、片枝樹形(相互被圧含む)項目は樹勢、樹形の参考として記載
- 備考** 外観からの特徴や特筆すべき点を記載する。

活力度 : 樹勢・樹形等

		1	2	3	4	
		樹勢	旺盛な生育状態を示し被害が全く見られない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状態が極めて劣悪である
活力度測定項目	樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
	枝伸長量	正常	幾分少ないがそれほど目立たない	枝は短小となり細かい	枝は極度に短小、しょうが状の節間がある	
	大枝・幹の欠損・傷	なし	少しあるがあまり目立たない	かなり目立つ	著しく目立つ。傷からの腐朽も著しい	
	梢端の枯損	なし	少しあるがあまり目立たない	かなり多い	著しく多い	
	枝葉の密度	正常、枝及び葉の密度バランスがとれている	普通、1に比してやや劣る	やや疎	枯れ枝が多く葉の発生が少ない。密度が著しく疎	

活力度の評価は6項目の平均評点を算出記載した。

評価	A	B	C	D
評点	1.00~1.75	1.76~2.50	2.51~3.25	3.26~4.00
状態	両項、正常なもの	普通、正常に近い	悪化のかなり進んだもの	顕著に悪化の進んでいるもの

保存の必要性	高・中・低	活力度を主にしながら、樹種特性及び樹形等を総合的に加味し判断する。
移植の評価	可	移植をする際に活着する可能性が高く樹勢、樹形の維持または回復が望める樹木
	難	樹高や目通りが大きく物理的に移植が難しい樹木、または健全に活着することが望めない樹木
	不可	樹木の活力度が低い樹木や、根鉢の適切な確保が難しいなど、移植を試みても健全に活着することが望めない樹木

既存樹木調査結果一覧

エリア名				Aエリア: 秩父宮ラグビー場										調査日		2018年12月25日～2019年1月28日 2022年5月12日※青字記載: 追加詳細調査対象樹木(436本)										: 追加調査項目																		
連番	エリア	樹木番号	常落	樹種名	樹種記号	規格					活力度					保存の必要性			移植			関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採									
						樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝軸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元構造物	根鉢確保					片枝被圧	剪定・対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均		
																								A	B	C													超大高	超大高	有無		○×	大中小無
78	A	78	落葉	サクラ		5.5	51	4.5	0.76	0.24	0.97	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○			○				高	高	有	○	無	-	-	8	6	12	8.7	植栽帯(幅1.4m)内にある。幹芯から緑石までの離隔距離0.35m。樹形維持、根鉢確保ぎりぎり可能。			●	
79	A	79	落葉	サクラ		7.0	101	5.5	1.34	0.43	1.71	2.0	1.5	2.0	1.0	2.0	1.0	1.59	A									高	高	有	×	無	-	-	-	-	-	-	植栽帯(幅1.4m)のL字部分に位置する。幹芯から緑石までの離隔距離0.4m。露出根大きく、根鉢確保困難。			●		
80	A	80	針葉	カイツカイブキ		5.5	69	2.0	0.75	0.24	0.96	3.0	2.5	2.0	1.0	2.0	2.0	2.09	B			○						高	高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	階段脇に位置し、片枝が強く剪定されている。樹形不良、不適。			●		
81	A	81	針葉	カイツカイブキ		5.5	67	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
82	A	82	針葉	カイツカイブキ		5.5	64	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
83	A	83	針葉	カイツカイブキ		5.5	63	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
84	A	84	針葉	カイツカイブキ		5.5	59	2.0	0.75	0.24	0.96	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○							高	高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹幹傾斜(小)、根元の揺らぎ(小)あり。樹形不良、不適。			●
85	A	85	針葉	カイツカイブキ		5.5	70	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
86	A	86	針葉	カイツカイブキ		5.5	73	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
87	A	87	針葉	カイツカイブキ		5.5	74	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
88	A	88	針葉	カイツカイブキ		6.0	72	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
89	A	89	針葉	カイツカイブキ		6.0	73	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
90	A	90	針葉	カイツカイブキ		6.0	85	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
91	A	91	針葉	カイツカイブキ		6.0	74	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
92	A	92	針葉	カイツカイブキ		6.0	79	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
93	A	93	針葉	カイツカイブキ		6.0	70	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
94	A	94	針葉	カイツカイブキ		6.0	75	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
95	A	95	針葉	カイツカイブキ		6.0	79	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
96	A	96	針葉	カイツカイブキ		6.0	85	2.0				2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.67	A			○																						
97	A	97	常緑	シラカシ		4.5	19	1.0				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B			○																							
98	A	98	常緑	シラカシ		4.5	25	1.5				2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○																							
99	A	99	常緑	シラカシ		4.5	17	1.0	0.40	0.13	0.51	3.0	2.5	2.0	2.5	1.0	3.0	2.34	B			○							高	高	無	○	中	-	-	-	-	-	-	-	被圧樹、樹形不良、不適。代替え樹有り。			●
100	A	100	常緑	シラカシ		3.5	15	1.0	0.28	0.09	0.36	3.0	2.5	2.0	3.0	2.0	3.0	2.59	C			○							高	高	無	○	中	-	-	-	-	-	-	-	被圧樹、樹形不良、不適。代替え樹有り。			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名				Bエリア:銀杏並木										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日										追加調査項目																																	
連番	エリア	樹木番号	常落	樹種名	樹種記号	規格					活力度					保存の必要性			移植			関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採																									
						樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝幹長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径	根元構造	根鉢確保					片枝被圧	剪定・対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均																		
						1～4評価					ABCD	該当に○	該当に○			※: 難の内、保存樹木のため詳細調査対象外	超大高	超大高	有無	○×	大中小無	大中小無	大中小無	1回目	2回目	3回目	20以上未満	該当に●			●: 変更樹木																													
118	B	18	落葉	イチヨウ		20.0	249	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																					幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。高さH2.0m(北側)に、開口空洞あり。 大枝に、剪定痕からの開口空洞・腐朽が、数か所あり。 根元(東側)に、腐朽と、亀裂あり。 ひこばえが、多数あり。 根上りあり。 根元に、ツタ類の被覆あり。幹に、ツタ類の登ハンあり。 地元の人の話では、過去にたくさん結実したとのことである。			移植 検討																	
119	B	19	落葉	イチヨウ		20.0	249	10.0			1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.0	1.50	A	○																					幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。北側に、打音異常 H1.2m～2.0mあり。 大枝に、剪定痕からの開口空洞・腐朽が、数か所あり。 根上りあり。 緑石が、幹芯から2.4mの距離にある。			移植 検討																	
120	B	20	落葉	イチヨウ		20.0	298	10.0			1.0	2.5	3.0	1.5	1.0	2.0	1.84	B	○																					幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。幹(北側)H0.0m～7.0mに、保護シート張り。不定根誘導と思われる。 幹(東側)H1.2mに、打音異常あり。 大枝に、亀裂、腐朽が、数か所あり。 幹に、ツタ類の登ハンあり。 緑石が、幹芯から2.4mの距離にある。			移植 検討																	
121	B	21	落葉	イチヨウ		20.0	253	10.0			1.5	2.5	3.0	2.0	1.0	2.0	2.00	B	○																						幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。幹(北側)H0.0m～7.0mに、保護シートあり。不定根誘導と思われる。 大枝に、亀裂、腐朽が、数か所あり。 ひこばえが、多数あり。 幹に、ツタ類の登ハンあり。 地元の人の話では、過去にたくさん結実したとのことである。			移植 検討																
122	B	22	落葉	イチヨウ		20.0	231	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																							幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。幹(東側)H2.0mに、打音異常あり。 大枝に、剪定痕からの開口空洞・腐朽が、数か所あり。 幹に、ツタ類の登ハンあり。 緑石が、幹芯から2.5mである。			移植 検討															
123	B	23	落葉	イチヨウ		20.0	263	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																							幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。幹(南側)H1.5m～2.0mに、打音異常あり。 大枝に、剪定痕からの開口空洞・腐朽が、数か所あり。 幹に、ツタ類の登ハンあり。 緑石が、幹芯から2.5mの距離にある。			移植 検討															
124	B	24	落葉	イチヨウ		20.0	224	10.0			1.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.0	1.84	B	○																								幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。幹(西側)H1.5m～2.5mに、縦方向の亀裂、打音異常あり。 大枝に、剪定痕からの開口空洞・腐朽が、数か所あり。 幹に、ツタ類の登ハンあり。 通路が、幹芯から2.0mの距離にあり、植栽内を通っている。			移植 検討														
125	B	25	落葉	イチヨウ		20.0	220	10.0			1.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.0	1.84	B	○																									幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。幹(南側)H1.8m～2.3mに、開口空洞(大)、打音異常あり。 大枝に、剪定痕からの開口空洞・腐朽が、数か所あり。 幹に、ツタ類の登ハンあり。 緑石が、幹芯から2.6m(東側)の距離にある。			移植 検討													
126	B	26	落葉	イチヨウ		20.0	211	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																										幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。幹(南側)H1.8m～2.3mに、開口空洞(大)、打音異常あり。 大枝に、剪定痕からの開口空洞・腐朽が、数か所あり。 幹に、ツタ類の登ハンあり。 緑石が、幹芯から2.5m(西側)の距離にある。			移植 検討												
127	B	27	落葉	イチヨウ		20.0	205	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																										幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。幹(北側)H1.53mに、打音異常あり。 大枝に、剪定痕からの開口空洞・腐朽が、数か所あり。 幹に、ツタ類の登ハンあり。			移植 検討												
128	B	28	落葉	イチヨウ		23.0	271	10.0			1.5	1.0	2.0	1.5	1.0	2.0	1.50	A	○																												幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。大枝付根(南側)に、開口空洞あり。 幹に、ツタ類の登ハンあり。 緑石が、幹芯から2.5m(東側)の距離にある。			移植 検討										
129	B	29	落葉	イチヨウ		23.0	283	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																												SHAKE SHACKテラスのインターロッキング内に、位置する。 大枝付根(北側)に、腐朽、打音異常あり。 大枝付根(南側)に、樹皮欠損、打音異常、あり。巻込み不良。 緑石が、幹芯から1.6mの距離にある。	●												
130	B	30	落葉	イチヨウ		23.0	269	10.0			1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	2.0	1.75	A	○																												SHAKE SHACKテラスのインターロッキング内(南西側)に、位置する。 大枝付根(南側)に、開口空洞あり。 中枝から付け根(西側)に、腐朽(長さ1.6m)あり。 緑石が、幹芯から1.6mの距離にある。	●												
131	B	31	落葉	イチヨウ		23.0	263	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																														大枝上部(東側)に、腐朽あり。 大枝(西側)に、剪定痕からの腐朽あり。	●										
132	B	32	落葉	イチヨウ		23.0	246	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																														大枝(北西側)に、打音異常あり。 中枝に、剪定痕からの腐朽が、数か所あり。	●										
133	B	33	落葉	イチヨウ		23.0	231	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																															大枝付根(南側)に、開口空洞(小)あり。	●									
134	B	34	落葉	イチヨウ		23.0	228	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																																大枝(西側)に、剪定痕からの開口空洞・腐朽あり。	●								
135	B	35	落葉	イチヨウ		23.0	212	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																																	大枝(北東側)に、打音異常あり。	●							
136	B	36	落葉	イチヨウ		23.0	270	10.0			1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																																						大枝(南東側)に、剪定痕からの開口空洞・腐朽あり。	●		

既存樹木調査結果一覧

エリア名				Bエリア:銀杏並木									調査日			2018年12月25日～2019年1月28日														追加調査項目																			
連番	エリア	樹木番号	常落	樹種名	樹種記号	規格				活力度					保存の必要性			移植			関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採														
						樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝軸長さ	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			樹高13/15	根元径	根元構造	根鉢確保	片枝被圧					剪定・対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均								
						A	B	C	不可	超大幅														超大幅	有無	○×												大中小無	大中小無	大中小無		1回目	2回目	3回目					
163	B	63	落葉	イチヨウ		23.0	198	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																											●		
164	B	64	落葉	イチヨウ		23.0	219	10.0				1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																										●			
165	B	65	落葉	イチヨウ		23.0	216	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																										●			
166	B	66	落葉	イチヨウ		23.0	220	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																									●				
167	B	67	落葉	イチヨウ		23.0	187	10.0				1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																								●					
168	B	68	落葉	イチヨウ		23.0	219	10.0				1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	2.0	1.75	A	○																									●				
169	B	69	落葉	イチヨウ		23.0	246	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																									●				
170	B	70	落葉	イチヨウ		23.0	210	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																									●				
171	B	71	落葉	イチヨウ		22.0	186	10.0				1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																									●				
172	B	72	落葉	イチヨウ		22.0	209	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																									●				
173	B	73	落葉	イチヨウ		22.0	205	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																									●				
174	B	74	落葉	イチヨウ		21.0	232	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																									●				
175	B	75	落葉	イチヨウ		21.0	211	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																									●				
176	B	76	落葉	イチヨウ		21.0	244	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																									●				
177	B	77	落葉	イチヨウ		21.0	224	10.0				1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○																									●				
178	B	78	落葉	イチヨウ		21.0	258	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○																										●			

既存樹木調査結果一覧

エリア名			野球場三塁側							調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月21日～2022年4月21日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目																	
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度						保存の必要性			移植				関連項目							備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採										
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15					根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧	剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均
				1～4評価						ABCD	該当に○			該当に○ <small>※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外</small>				超大高	超大高	有無	○×	大中小無	大中小無	大中小無	1回目	2回目	3回目					20以上未満									
72	Y01-072		ケヤキ	20.0	280	8.0		3.22	1.03	4.1	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.17	B		○																大枝H7mに開口空洞あり。幹芯から万年堀までの離隔距離1.4m、土留めまでの離隔距離2.3m。大きな柱に近接。			●		
83	Y01-083		ソロ	17.0	145	9.0		2.11	0.67	2.69	1.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.09	B		○																根元・幹に開口空洞あり。幹芯から万年堀までの離隔距離0.8m、土留めまでの離隔距離2.2m。適正根鉢確保困難。			●			

既存樹木調査結果一覧

エリア名			第二球場						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月19日～2022年4月20日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)															追加調査項目														
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度							保存の必要性			移植			関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》			保存	移植	伐採					
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・備	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保							片枝被圧	剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度	
				1～4評価				ABCD			該当に○			該当に○			超大高	超大高	有無	○×	大中小無	大中小無	大中小無	1回目	2回目	3回目	20以上未満	該当に●													
											※:難の内、保存樹木のための詳細調査対象外																														
132	YG-132		モクセイ	3.2	根元115	2.4						2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.34	B		○		○														コンクリート土留め板が、根元にあり。		●		
133	YG-133		カラタネオガタマ	4.5	5本立	4.5	34,22,34,40,62	1.11	0.35	1.41	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○			○				高	高	無	○	無	無	無	2	4	2	2.7	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.0m、擁壁までの離隔距離1.1m。ぎりぎり根鉢確保可能。枝張り大きく、樹形は良好である。		●	
134	YG-134		ケヤキ	12.0	227	10.5		2.62	0.83	3.34	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○			○				高	超	有	○	無	無	無	9	11	13	11.0	根元に笹とツツジ類あり。樹形に乱れ(強剪定後の萌芽樹形)や剪定痕が目立つが樹高低く、場内移植ならば可。		●		
135	YG-135		ヤマモモ	8.0	88	4.2		1.09	0.35	1.39	3.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.50	B		○			○				高	高	有	○	小	小	無	6	3	6	5.0	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.4m。樹形維持、根鉢確保可能。		●		
136	YG-136		モクセイ	3.2	根元107	1.6		1.09	0.35	1.39	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B		○			○			高	高	有	○	無	無	無	4	3	3	3.3	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.3m。樹形良好。		●		
137	YG-137		ヤマモモ	9.0	122	4.5		1.36	0.43	1.73	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.42	B		○			○				高	高	有	○	無	無	無	3	5	6	4.7	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.3m。大枝付け根に開口空洞あり。根鉢確保、樹形維持可能。		●		
138	YG-138		モクセイ	3.2	根元99	1.6		1.12	0.36	1.43	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B		○			○			高	高	有	○	無	-	-	-	-	-	-	幹芯から看板基礎までの離隔距離0.7m。看板裏面樹形に乱れ。不適。			●	
139	YG-139		モクセイ	3.1	根元120	2.0		1.07	0.34	1.36	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B		○			○			高	高	有	○	無	無	無	4	3	5	4.0	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.3m。樹形良好。		●		
140	YG-140		ヤマモモ	7.0	119	5.1		1.39	0.44	1.77	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.42	B		○			○				高	高	有	○	無	無	無	8	10	8	8.7	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.2m(車道側)、1.5m(球場側)。幹に開口空洞あり、巻き込み良好。大枝に腐朽、回復傾向。樹形維持、回復可能。		●		
141	YG-141		モクセイ	3.1	根元98	1.5		1.12	0.36	1.43	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B		○			○			高	高	有	○	無	-	-	-	-	-	-	樹形不良。			●	
142	YG-142		ヤマモモ	6.0	97	3.2		1.15	0.37	1.46	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.34	B		○			○				高	高	有	○	無	無	無	4	8	6	6.0	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.2m(車道側)、1.5m(球場側)。樹形良好。		●		
143	YG-143		モクセイ	3.0	根元93	2.1		0.92	0.29	1.17	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B		○			○			高	高	有	○	無	無	無	6	3	3	4.0	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.2m(車道側)、1.2m(球場側)、電灯基礎までの離隔距離1.3m。樹形良好。		●		
144	YG-144		ケヤキ	12.5	235	11.2		2.72	0.87	3.46	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.09	B		○			○				高	超	有	×	無	-	-	-	-	-	-	幹芯から植栽帯縁石までの離隔距離2.1m。電灯基礎あり。強剪定、萌芽樹でケヤキらしさない。掘取り作業確保困難。			●	
145	YG-145		ケヤキ	12.5	258	11.1		3.22	1.03	4.1	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.09	B		○			○				高	超	有	×	無	-	-	-	-	-	-	幹芯から電灯基礎(2か所)までの離隔距離1.8m、植栽帯縁石までの離隔距離2.2m。強剪定・萌芽樹でケヤキらしさない。根鉢確保困難。			●	
146	YG-146		ケヤキ	12.5	245	9.8					2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.50	B		○			○				有		小							根元・幹に、腐朽(大)H0.0m～0.7mあり。高さH0.5mに、コフキサルノコシカケの子実体あり。根元・幹に、打音異常あり。コンクリート土留め板が、根元にあり。			●		
147	YG-147		ケヤキ	12.5	286	11.8		3.28	1.04	4.18	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.17	B		○			○				高	超	有	×	無	-	-	-	-	-	-	強剪定後の剪定痕が目立つ。強剪定・萌芽樹でケヤキらしさない。建物に近接している。根鉢確保困難。			●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名			テニス場北コート										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年5月9日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)													追加調査項目											
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度							保存の必要性			移植			関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採						
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損 備	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			樹高 13/15	根元 径	根元 構造 物	根幹 確保	片枝 被圧					剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均
																							A	B	C												不可	超大 高	超大 高	
145	T01-145		カツカイキ	4.0	38	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																			刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●
146	T01-146		カツカイキ	4.0	39	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
147	T01-147		カツカイキ	4.0	38	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
148	T01-148		カツカイキ	4.0	40	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
149	T01-149		カツカイキ	4.0	36	2.0		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
150	T01-150		カツカイキ	4.0	42	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
151	T01-151		カツカイキ	4.0	37	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
152	T01-152		カツカイキ	4.0	37	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
153	T01-153		カツカイキ	4.0	38	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
154	T01-154		カツカイキ	4.0	38	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
155	T01-155		カツカイキ	4.0	43	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
156	T01-156		カツカイキ	4.0	40	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
157	T01-157		カツカイキ	4.0	40	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
158	T01-158		カツカイキ	4.0	42	2.0		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
159	T01-159		カツカイキ	4.0	36	2.0		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
160	T01-160		カツカイキ	4.0	36	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
161	T01-161		カツカイキ	3.5	33	1.0		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
162	T01-162		カツカイキ	3.5	29	1.0		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
163	T01-163		カツカイキ	3.5	25	1.0		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
164	T01-164		カツカイキ	3.0	25	1.0		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
165	T01-165		カツカイキ	3.0	19	1.0		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	
167	T01-167		カツカイキ	3.0	26	1.5		2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○																		刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名			テニスコート・御台場西 (T02-126以降)											調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年5月9日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目													
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格			活力度							保存の必要性			移植				関連項目							備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採										
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・備	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評価	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15					根元径	根元構造物	根幹確保	片枝被圧	剪定・対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均
				1～4評価							ABC	該当に○			該当に○				超大高	超大高	有無	○×	大中小無	大中小無	大中小無	1回目	2回目					3回目	20以上未満								
1	T02-001		ヒメシャラ	3.5	17	2.0							2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B																マンホールと建物が、0.3mの距離にあり、近接している。建物の陰に位置している。			●		
2	T02-002		ヒメシャラ	5.0	2本立	2.3	20,19	0.43	0.14	0.55			2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B															適正根鉢の確保が困難である。幹芯からマンホールまでの離隔距離0.3m、擁壁までの離隔距離0.35m。			●			
3	T02-003		ヒメシャラ	5.0	3本立	2.0	8,8,23						2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B																建物が、0.4mの距離にあり、近接している。建物の陰に位置している。		●				
4	T02-004		ヒメシャラ	5.0	5本立	2.0	14,21,15,8,22						2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B																擁壁が、0.4mの距離にあり、近接している。建物の陰に位置している。		●				
5	T02-005		ヒメシャラ	5.0	3本立	2.0	12,20,11						2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B																擁壁が、0.4mの距離にあり、近接している。建物の陰に位置している。		●				
66	T02-066		カイツカイブキ	4.0	42	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
67	T02-067		カイツカイブキ	4.0	39	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
68	T02-068		カイツカイブキ	4.0	37	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
69	T02-069		カイツカイブキ	4.0	38	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
70	T02-070		カイツカイブキ	4.0	35	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
71	T02-071		カイツカイブキ	4.0	41	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
72	T02-072		カイツカイブキ	4.0	43	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
73	T02-073		カイツカイブキ	4.0	44	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
74	T02-074		カイツカイブキ	4.0	35	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
75	T02-075		カイツカイブキ	4.0	40	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
76	T02-076		カイツカイブキ	4.0	42	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
77	T02-077		カイツカイブキ	4.0	45	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
78	T02-078		カイツカイブキ	4.0	43	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
79	T02-079		カイツカイブキ	4.0	42	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
80	T02-080		カイツカイブキ	4.0	41	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
81	T02-081		カイツカイブキ	3.0	47	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															緑石が、0.8mの距離にある。駐車場から、0.9mの距離にある。刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。建物の脇に位置する。			●			
83	T02-083		カイツカイブキ	3.0	52	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															駐車場脇のU字溝が、1.3mの距離にある。			●			
84	T02-084		カイツカイブキ	3.0	51	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															駐車場脇のU字溝が、1.3mの距離にある。			●			
85	T02-085		カイツカイブキ	3.0	55	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															駐車場脇のU字溝が、1.3mの距離にある。			●			
86	T02-086		カイツカイブキ	3.0	50	1.3							2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C															駐車場脇のU字溝が、1.3mの距離にある。			●			

既存樹木調査結果一覧

エリア名				テニス場室内コート・御台場西(T02-126以降)							調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年5月9日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目																
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度						保存の必要性			移植				関連項目							備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採										
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15					根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧	剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均
				1～4評価						ABCD	該当に○			該当に○				超大高	超大高	有無	○×	大中小無	大中小無	大中小無	1回目	2回目	3回目					20以上未満									
140	T02-140		マテバシイ	8.0	3本立	10.0	94,105,89				3.0	3.0	3.5	3.5	2.5	2.5	3.00	C			○															根元・幹(東側)H0.0m～1.6mに、開口空洞・腐朽 160×30×15、打音異常あり。 大枝に、剪定痕が、多数あり。 露出根が、多数あり。ひこばえが、多数あり。 石積みから、2.7mの距離にある。 旧樹木番号: E293	●				
141	T02-141		マテバシイ	8.0	190	10.0					3.0	3.0	3.5	3.5	2.5	2.5	3.00	C			○														幹H1.7mに、開口空洞・腐朽 60×12×18、打音異常あり。 ひこばえが、多数あり。	●					
142	T02-142		マテバシイ	8.0	3本立	5.0	80,103				3.0	3.0	3.5	3.5	2.5	2.5	3.00	C			○														3本立の内、西側の1本が、枯損し、H1.7mで断幹φ40cmされている。 ひこばえが、多数あり。 石積みから、1.7mの距離にある。 旧樹木番号: E295	●					
143	T02-143		アラカン	4.5	4本立	2.0	7,5,8,12				3.5	3.5	3.0	3.5	2.5	3.0	3.17	C			○														隣接するマテバシイに、近接している。 高さH1.8mで、梢端切除されている。 石積みから、1.8mの距離にある。	●					

既存樹木調査結果一覧

エリア名			建国記念文庫						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月18日～2022年4月19日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目																				
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格			活力度							保存の必要性			移植				関連項目							備 考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採												
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径(m)	根元 径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損 備	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/15					根元 径	根元 構造 物	根幹 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均		
				1～4評価							ABCD	該当に○	該当に○ <small>※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外</small>				超 大 高	超 大 高	有 無	○×	大 中 小 無	大 中 小 無	大 中 小 無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満																
100	KE-100		ヒトツバタゴ	10.0	136	8.0								2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.42	B		○																巻き根あり。 深植え状態にある。 フェンスが、近接している。	●			
102	KE-102		ヒトツバタゴ	5.0	47	5.0								3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	2.84	C			○															根元・幹に、打音異常 H0.0m～1.0mあり。 深植え状態にある。 フェンスが、近接している。	●			
103	KE-103		ヒトツバタゴ	8.0	82	5.0								2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.59	C		○																大枝(東側)に、打音異常あり。 深植え状態にある。 フェンスが、近接している。	●			
104	KE-104		ヒトツバタゴ	3.0	22	3.5								3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C			○															深植え状態にある。 樹木番号KE-115ケヤキからの、被圧(大)あり。 フェンスが、近接している。	●			
105	KE-105		マテバシイ	6.0	139	8.0								3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C			○															大枝が、ぶつ切り剪定されている。 幹(西側)に、大枝剪定痕からの腐朽あり。 根元・幹に、打音異常(大) H0.0m～2.5mあり。 根に、樹皮枯死が、多数あり。 フェンスが、近接している。	●			
107	KE-107		ヤエザクラ	16.0	210	8.0								2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○															樹幹傾斜あり。 幹H1.2mに、開口空洞 25×20×35/55(芯達)あり。 根元・幹に、打音異常 H0.0m～2.0mあり。 巻き根あり。 樹木番号KE-108ヤエザクラと、競合している。 フェンスが、近接している。	●			
108	KE-108		ヤエザクラ	10.0	157	8.0								2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○																大枝が、ぶつ切り剪定されている。 巻き根あり。 根よりあり。 樹木番号KE-107ヤエザクラと、競合している。 フェンスが、近接している。	●			
109	KE-109		ヤエザクラ	10.0	125	8.0								3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.59	C			○															根元が、フェンスにくい込んでいる。 樹幹傾斜あり。 根元・幹(東側)に、打音異常(小) H0.0m～2.0mあり。 大枝(東側)に、打音異常(大)あり。	●			
110	KE-110		ヤエザクラ	10.0	2本立	10.0	69,154							3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	3.0	2.75	C			○															高さH1.1mで、幹が、2分岐している。 根元(西側)に、ベッコウタケの子実体、多数あり。 根元・幹に、打音異常(小) H0.0m～2.0mあり。 巻き根あり。 大枝が、ぶつ切り剪定されている。 フェンスが、近接している。	●			
111	KE-111		ヒトツバタゴ	4.0	22	4.0								2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.42	B		○	○															樹幹傾斜あり。 深植え状態にある。 フェンスが、近接している。	●			
112	KE-112		ケヤキ	20.0	224	10.0								2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○																大枝に、縦の亀裂あり。 大枝に、照明が巻き付き設置されている。 樹皮の脱落が多い。	●			
113	KE-113		ヤエザクラ	6.0	58	3.0								3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.25	C			○															主幹頂部の枯れ下り、幹の折損痕・腐朽あり。	●			
114	KE-114		ヒトツバタゴ	3.0	19	4.0								2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.59	C			○															幹H0.3mに、開口空洞 5×5×5/10(芯達)あり。	●			
115	KE-115		ケヤキ	20.0	246	20.0								2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.25	B	○																	樹幹傾斜(小)あり。 巻き根あり。 大枝が、ぶつ切り剪定されている。 フェンスが、近接している。	●			
116	KE-116		ヤエザクラ	6.0	56	6.0								3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.50	D			○																断幹されている。 小枝が残るのみである。 幹に、開口空洞 15×10×12/18(芯達)あり。	●		
117	KE-117		ヤエザクラ	18.0	120	6.0								2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○																細い胴吹き枝があるものの、下枝高く、枝葉が少ない。 根元に、根頭がしゅ病様のこぶあり。	●		
119	KE-119		ヒトツバタゴ	5.0	23	4.0								2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○	○																枝に、増生病が、多数あり。 幹に、打音異常 H0.0m～2.0mあり。 深植え状態にある。	●		
120	KE-120		ヒトツバタゴ	9.0	2本立	6.0	54,24							2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○	○															枝に、増生病が、多数あり。 幹に、打音異常 H0.0m～2.0mあり。 深植え状態にある。	●			
121	KE-121		ヒトツバタゴ	8.0	62	4.0								3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C			○																大枝に、スタブカットが、多数あり。 枝葉量が、少ない。	●		
122	KE-122		ヤエザクラ	15.0	2本立	8.0	105,59							3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C			○																双幹の一方が、切除されている。 下枝が高い。	●		
123	KE-123		ヒトツバタゴ	5.0	27	4.0								2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○	○															深植え状態にある。	●			
124	KE-124		コブシ	9.0	114	8.0								2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	3.0	2.75	C		○																	大枝が、ぶつ切り剪定されている。 幹H1.4mに、開口空洞 8×8×15あり。 園路脇に、位置する。	●		
125	KE-125		ヒトツバタゴ	4.0	25	5.0								2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○	○																樹幹傾斜あり。	●		
126	KE-126		ヤエザクラ	8.0	2本立	10.0	121,122							3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	2.92	C			○																断幹されている。 大枝(東側)に、打音異常(中)あり。 盛土あり。 大枝に、照明が巻き付き設置されている。 フェンスが、近接している。 園路脇に、位置する。	●		

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り																	調査日		2019年1月25~28日 2022年5月2日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)																								追加調査項目		
連番	エリア	樹木番号	常緑	樹種名	規格			活力度											保存の必要性			移植			関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採										
					樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長さ	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネグロス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保					片枝被圧	剪定・対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均			
					1~4評価						1~4評価						ABCD	該当に○			該当に○				該当に○	超大高	超大高	有無	○×	大中小無	大中小無	大中小無	1回目	2回目	3回目					20以上未満									
1	ビル周り	1	常緑	クスノキ	13.0	1.37	4.5		1.73	0.55	2.2	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.5	2.5	2.0	1.5	1.95	B				○						大	高	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●		
2	ビル周り	2	常緑	クスノキ	13.0	1.39	4.5		1.74	0.55	2.22	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.80	B				○						大	高	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●		
3	ビル周り	3	常緑	クスノキ	13.0	1.31	4.5		1.47	0.47	1.87	2.5	2.5	1.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.05	B				○					高	高	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●			
4	ビル周り	4	常緑	クスノキ	13.0	1.69	4.5		1.87	0.6	2.38	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.70	A				○					高	高	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●			
5	ビル周り	5	常緑	クスノキ	13.0	1.76	4.5		2.11	0.67	2.69	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.65	A				○					大	大	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●			
6	ビル周り	6	常緑	クスノキ	13.0	1.59	4.5		1.88	0.6	2.39	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.35	B				○					高	高	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●			
7	ビル周り	7	常緑	クスノキ	13.0	1.48	4.5		1.65	0.53	2.1	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.84	B				○					高	高	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●			
8	ビル周り	8	常緑	クスノキ	13.0	1.55	4.5		1.80	0.57	2.29	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.90	B				○					大	高	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●			
9	ビル周り	9	常緑	クスノキ	13.0	1.42	4.5		1.69	0.54	2.15	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.80	B				○					大	高	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●			
10	ビル周り	10	常緑	クスノキ	13.0	1.65	4.5		2.18	0.69	2.78	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.80	B				○					大	高	有	×	中	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●			
11	ビル周り	11	常緑	クスノキ	13.0	1.62	5.0		2.20	0.7	2.8	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.80	B				○					高	高	有	×	小	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリアの確保が困難。			●			
12	ビル周り	12	常緑	クスノキ	14.0	1.46	5.0		2.19	0.7	2.79	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.85	B				○					高	高	有	×	小	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリア確保が困難。			●			
13	ビル周り	13	常緑	クスノキ	14.0	1.42	5.0		1.84	0.59	2.34	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.85	B				○					大	高	有	×	小	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリア確保が困難。			●			
14	ビル周り	14	常緑	クスノキ	14.0	1.45	5.0		1.90	0.61	2.42	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.85	B				○					大	高	有	×	小	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリア確保が困難。			●			
15	ビル周り	15	常緑	クスノキ	14.0	1.46	5.0		2.00	0.64	2.55	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.85	B				○					大	高	有	×	小	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリア確保が困難。			●			
16	ビル周り	16	常緑	クスノキ	14.0	1.67	5.0		2.17	0.69	2.76	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.85	B				○					大	大	有	×	小	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリア確保が困難。			●			
17	ビル周り	17	常緑	クスノキ	14.0	1.75	5.0		1.67	0.53	2.13	3.0	3.0	2.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.35	B				○					大	高	有	×	小	-	-	-	-	-	-	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。建物からツリーサークル緑までの離隔距離1.2m。根鉢確保と作業エリア確保が困難。			●			

既存樹木調査結果一覧

エリア名					伊藤忠ビル周り																調査日						2019年1月25~28日		2022年5月2日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目													
連番	エリア	樹木番号	常緑	樹種名	規格				活力度										保存の必要性				移植				関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採											
					樹高(m)	幹周(cm)	葉強(m)	株立数	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧	剪定・対象樹					剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均						
					1~4評価										1~4評価				ABCD	該当に○				該当に○											超大高	超大高	有無	○×	大中小無	大中小無	大中小無	1回目	2回目	3回目	20以上未満	該当に● ●:変更樹木						
138	ビル周り	138	常緑	ヤマモモ	5.0	1.02	5.0						2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	3.0	2.0	1.5	2.40	B				○																高さH0.7mに、腐朽 15×15、内部に腐朽枝の残存あり。高さが0.6m~1.2m、幅3.9mの連続構造帯の中にある、1.5m×1.5mの植栽内に位置する。			●					
139	ビル周り	139	常緑	ヤマモモ	5.5	1.02	5.0					1.32	0.42	1.68	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.05	B				○								高	高	有	×	無	-	-	-	-	-	-		地下出入口脇の擁壁(高さH0.6~1.2m)上に設置された植栽樹(1.5×1.5m)内に位置する。良好な根鉢確保が困難である。ふところ枝が少ない。常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にあるため、衰退傾向にある。			●
140	ビル周り	140	常緑	ヤマモモ	6.0	1.35	5.0	4本立				1.53	0.49	1.95	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.05	B				○								高	高	有	×	無	-	-	-	-	-	-		地下出入口脇の擁壁(高さH0.6~1.2m)上に設置された植栽樹(1.5×1.5m)内に位置する。良好な根鉢確保が困難である。ふところ枝が少ない。常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にあるため、衰退傾向にある。 根元に剪定痕・開口空洞あり。			●	
141	中庭	141	落葉	ヒメシャラ	8.0	0.74	4.0	3本立						2.0	2.5	3.5	2.0	2.0	2.0					2.34	B				○																樹冠上部が、1階部分のネットに接触し、損傷あり。幹に、ネット接触痕による、腐朽(縦1.0m~3.0m、幅10cm内外)あり。地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●				
142	中庭	142	落葉	ヒメシャラ	8.0	0.63	3.0	3本立						2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0					2.09	B				○																	樹冠上部が、1階部分のネットに接触し、損傷あり。地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●			
143	中庭	143	落葉	ヒメシャラ	7.5	0.44	3.0							4.0	3.5	4.0	3.0	3.5	3.0					3.50	D				○																大枝(西側)が、切断されている。樹冠上部が、1階部分のネットに接触し、損傷あり。地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●				
144	中庭	144	落葉	ヒメシャラ	8.0	0.67	4.0	3本立						2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0					2.09	B				○																	樹冠上部が、1階部分のネットに接触し、損傷あり。地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●			
145	中庭	145	落葉	ヒメシャラ	8.0	0.77	4.0	3本立						2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5					2.42	B				○																		樹冠上部が、1階部分のネットに接触し、損傷あり。地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●		
146	中庭	146	落葉	ヒメシャラ	8.0	0.98	5.0	4本立						2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0					2.09	B				○																		樹冠上部が、1階部分のネットに接触し、損傷あり。地下の植栽帯に位置する。			●		
147	中庭	147	落葉	ヒメシャラ	4.5	0.32	2.0	3本立						2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	2.0					1.92	B				○																		植替えがされている。樹冠上部が、1階部分のネットに接触し、損傷あり。地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●		
148	中庭	148	落葉	ヒメシャラ	4.5	0.16	2.0							2.0	2.5	1.5	2.5	2.0	2.0					2.09	B				○																		植替えがされている。単木で細い。地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●		
149	中庭	149	落葉	ヒメシャラ	8.0	0.74	4.0	3本立						3.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5					2.92	C				○																		3本立の内、1本が、高さH2.5mで、断断されている。樹冠上部が、1階部分のネットに接触し、損傷あり。地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●		
150	中庭	150	落葉	ヒメシャラ	9.0	0.53	4.0	2本立						2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0					2.09	B				○																			樹冠上部が、1階部分のネットに接触し、損傷あり。地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名		軟式野球場西側										調査日		2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)													:追加調査項目	備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》			保存	移植	伐採								
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				根元周径(m)	根元径(D)	4D	活力度						保存の必要性			移植				関連項目							備考	該当に● ●:変更樹木									
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周				樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長さ	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			樹高13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧			剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3年平均			
				1~4評価	ABCD	該当に○					該当に○			超大高	超大高	有無	○×	大中小	大中小	大中小	1回目	2回目	3回目	20以上未満																	
1	N02-001		シダレザクラ	9.5	167	8.5				1.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.50	A	○					※						有	小							幹に、樹皮枯死・欠損 30×30あり。 樹木番号N02-002ヤエザクラとの、相互被圧(小)あり。 根元に縁石あり。	●			
2	N02-002		ヤエザクラ	9.0	138	7.5				3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.09	B			○									有	小						幹に、樹皮枯死・欠損 20×10あり。 高さH1.2mに、打音異常(中)あり。 樹冠傾斜(北側)あり。 樹木番号N02-001シダレザクラとの、相互被圧(小)あり。	●				
3	N02-003		ヤエザクラ	9.0	162	8.0				3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.09	B			○									有	大						幹に、樹皮欠損 10×11あり。 高さH1.1mに、打音異常(中)あり。 樹木番号N02-013ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。 樹形が、北側に偏っている。 根元に、舗装あり。	●				
4	N02-004		スダジイ	9.0	254	8.0				2.0	1.5	3.0	1.0	1.5	1.0	1.67	A		○				※						有	無						大枝に、樹皮枯死・欠損・腐朽(大)あり。	●				
8	N02-008		モミジ	7.0	103	5.0				3.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.84	B			○									無	中						樹木番号N02-010シラカシからの、被圧(中)あり。 樹形が、南側に偏っている。	●				
9	N02-009		モミジ	9.0	3本立	6.0	40,74,43			2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A		○	○									無	大						樹木番号N02-013ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。 樹形が、南側に偏っている。	●				
10	N02-010		シラカシ	12.0	205	7.0				2.0	1.5	3.5	2.0	2.0	1.5	2.09	B			○			※						有	小						幹に、開口空洞 100×10×30/60(芯達)あり。 根元に、開口空洞 80×13×30/70あり。 根元・幹に、打音異常(大) H0.0m~2.5mあり。 幹に、背着生キノコあり。 樹木番号N02-013ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。 根元に、舗装あり。	●				
11	N02-011		シダレザクラ	13.0	100	5.0				3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.34	B			○									無	大						樹木番号N02-013ヒマラヤシーダー、樹木番号N02-010シラカシからの、被圧あり。 ぶつ切り剪定されている。 樹形崩壊(中)あり。	●				
12	N02-012		ヒマラヤシーダー	20.0	205	8.0				2.0	1.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A	○											無	大							幹(北側)に、打音異常(中) H1.3mあり。 樹木番号N02-013ヒマラヤシーダーとの、相互被圧(大)あり。	●			
13	N02-013		ヒマラヤシーダー	20.0	268	8.0				2.0	1.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A	○											有	大							樹木番号N02-012ヒマラヤシーダーとの、相互被圧(大)あり。 フェンスが、近接している。	●		●	
14	N02-014		クスノキ	17.0	277	10.0				2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A	○											有	大							樹木番号N02-012、013ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。 フェンスが、近接している。 枝の伸長が、西北側にあり。	●			
15	N02-015		ヒマラヤシーダー	19.0	323	7.0				2.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○											有	小							頂端部が切断されている。 樹木番号N02-012ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。	●		●	
16	N02-016		シラカシ	10.0	259	9.0		3.05	0.97	3.89	2.0	1.5	3.0	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○						高	超	有	×	無	-	-	-	-	-	-		根元・幹に開口空洞(120cm×15cm×60/70cm、芯達)あり。 幹芯からフェンスまでの離隔距離1.2m。 根鉢確保困難。	●		●
17	N02-017		カンヒザクラ	5.0	83	5.0				3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C			○									有	大							剪定痕が、多数あり。 枝数が、少ない。 樹木番号N02-018カンヒザクラとの、相互被圧(大)あり。 樹木番号N02-014クスノキ、N02-019ユーカリからの、被圧(大)あり。 フェンスが、近接している。	●			
18	N02-018		カンヒザクラ	5.0	82	5.0				3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C			○									有	大							樹木番号N02-018カンヒザクラとの、相互被圧(大)あり。 樹木番号N02-019ユーカリ、032ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。 樹形が、北側に偏っている。 フェンスが、近接している。	●			
19	N02-019		ユーカリ	18.0	207	7.0				2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.42	B			○			※						有	大							根元に、樹皮欠損 25×10あり。 大枝が、ぶつ切り剪定されている。 樹木番号N02-032ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。 南側の枝数が、少ない。 フェンスに、枝が、接触している。	●			
20	N02-020		カンヒザクラ	7.0	101	5.0				3.0	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.67	C			○			※						有	大							樹木番号N02-019ユーカリ、032ヒマラヤシーダー、033ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。 樹形が、北側に偏っている。 フェンスが、近接している。	●			
30	N02-030		ツバキ	4.5	69	3.0				1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.42	A	○		○									無	大							幹に、樹皮欠損(小)が、4~5箇所あり。 樹木番号N02-019ユーカリ、032ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。	●		●	
31	N02-031		ツバキ	4.0	2本立	3.0	43,43			1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.34	A	○		○									無	大							樹木番号N02-032ヒマラヤシーダー、033ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。	●		●	
32	N02-032		ヒマラヤシーダー	18.0	263	8.0		2.98	0.95	3.8	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.42	A			○						超	超	有	×	中	-	-	-	-	-	-		根元に縁石の飲み込みあり。 幹芯から建物までの離隔距離1.1m。 根鉢確保困難。	●		●
33	N02-033		ヒマラヤシーダー	18.0	269	8.0		3.19	1.02	4.06	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.42	A			○						超	超	有	×	中	-	-	-	-	-	-		傾斜地に立地する(根元は建物GL+0.9mの高さにある)。 幹芯から建物までの離隔距離2.6m。 傾斜地で適正根鉢確保困難。	●		●
34	N02-034		ヒサカキ	4.0	2本立	2.0	20,16			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00	D			○									無	大							樹木番号N02-032ヒマラヤシーダー、033ヒマラヤシーダーからの、被圧(大)あり。 双幹の一方は、枝の大半が枯損して、枯れかけている。	●		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名				軟式野球場西側								調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)																				追加調査項目						
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度					保存の必要性			移植					関連項目												備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》			保存	移植	伐採			
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長さ	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧	剪定対象樹							剪定・隣接樹	土壌硬度	
1～4評価						ABCD	該当に○			該当に○					超大	超大	有無	○×	大中小	大中小	大中小	1回目	2回目	3回目	20以上未満																
35	N02-035		ツバキ	4.5	35	2.5				3.5	3.0	4.0	3.5	3.0	3.0	3.34	D			○															樹木番号N02-033ヒマラヤシーダー、038ヒマラヤシーダーからの被圧(大)あり。幹分岐部から、大枝が1本枯損している。幹に、開口空洞(大)(芯達)あり。						
36	N02-036		イスノキ	5.0	55	2.5				2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.92	B		○																葉に、虫えいが、多数あり。樹木番号N02-038ヒマラヤシーダーからの被圧(大)あり。フェンスが、近接している。						
37	N02-037		モッコク	4.5	3本立	3.5	59,20,27			2.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.84	B		○		○														幹に、樹皮欠損 20×7あり。樹木番号N02-036イスノキ、038ヒマラヤシーダーからの被圧(大)あり。樹形が、北側に偏っている。						
38	N02-038		ヒマラヤシーダー	20.0	4本立	16.0	125,336,167,72			1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○																		ぶつ切り剪定が、多数あり。樹木番号N02-033ヒマラヤシーダーからの被圧(中)あり。建物に、近接している。					
47	N02-047		カンヒザクラ	5.0	31	5.0				3.5	2.5	3.5	2.5	2.0	2.0	2.67	C		○																断幹されている。樹木番号N02-038ヒマラヤシーダー、050ヒマラヤシーダーからの被圧(大)あり。フェンスが、近接している。						
48	N02-048		シダレザクラ	10.0	115	6.0				3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.25	B		○																樹木番号N02-038ヒマラヤシーダー、050ヒマラヤシーダーからの被圧(大)あり。樹形が、北側に偏っている。フェンスが、近接している。						
50	N02-050		ヒマラヤシーダー	20.0	233	8.0				1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○																		樹木番号N02-038ヒマラヤシーダーからの被圧(大)あり。樹木番号N02-070ヒマラヤシーダーからの被圧(小)あり。					
59	N02-059		ヤエザクラ	10.0	123	6.0				2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○																	樹木番号N02-050ヒマラヤシーダーからの被圧(中)あり。ツバキの生垣に、近接している。					
66	N02-066		トウネズミモチ	4.4	3本立	1.5	14,27,29			3.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○																	ぶつ切り剪定されている。樹木番号N02-070ヒマラヤシーダー、059ヤエザクラからの被圧(中)あり。環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。					
69	N02-069		サクラ	12.0	245	10.0				2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B		○																	根元に、ベッコウタケの子実体あり。ぶつ切り剪定されている。根上り、巻き根あり。樹木番号N02-070ヒマラヤシーダーからの被圧(中)あり。樹形が、北側にやや偏っている。フェンスが、近接している。					
70	N02-070		ヒマラヤシーダー	20.0	258	8.0				2.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.84	B	○																		ぶつ切り剪定、スタブカットが、多数あり。樹木番号N02-050ヒマラヤシーダー、081ヒマラヤシーダーからの被圧(小)あり。建物に、近接している。					
81	N02-081		ヒマラヤシーダー	20.0	303	10.0				2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A	○																		樹木番号N02-098ヒマラヤシーダーとの、相互被圧(小)あり。樹木番号N02-099ヒマラヤシーダーからの被圧(小)あり。					
82	N02-082		ヤエザクラ	12.0	133	8.0				3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B		○																	樹木番号N02-083クスノキに近接しており、被圧(大)あり。					
83	N02-083		クスノキ	15.0	217	6.0				2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.84	B	○																		樹木番号N02-080ヒマラヤシーダーからの被圧(中)あり。樹木番号N02-082ヤエザクラに、近接している。中枝が、少ない。樹形が、北側に偏っている。					
85	N02-085		ヤエザクラ	11.0	241	10.0				3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.75	C		○																	ぶつ切り剪定が、多数あり。樹木番号N02-083クスノキからの被圧(中)あり。小枝が、やや少ない。フェンスが、近接している。					
86	N02-086		シダレザクラ	7.0	116	2.5				3.5	3.0	3.5	2.5	2.0	2.5	2.84	C		○																	断幹されており、樹形に乱れあり。フェンスが、近接している。					
88	N02-088		サクラ	10.0	185	8.0				3.0	2.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.59	C		○																	高さに、打音異常(小)H1.4mあり。大枝に、樹皮欠損10×10あり。ぶつ切り剪定が、多数あり。樹木番号N02-083クスノキからの被圧(中)あり。					
89	N02-089		トウネズミモチ	3.5	3本立	1.6	20,17,21			2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A		○																	環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。					
95	N02-095		ヒサカキ	3.5	29	1.5				3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.34	B		○																	葉に、吸汁痕があり、葉色が薄い。樹木番号N02-096ヒサカキ、097ソメイヨシノからの被圧(小)あり。樹形が、西側に傾斜している。フェンスが、近接している。					
96	N02-096		ヒサカキ	3.5	43	1.5				1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.75	A		○	○																葉に、吸汁痕あり。樹木番号N02-097ソメイヨシノからの被圧(小)あり。					
97	N02-097		ソメイヨシノ	12.0	204	10.0				2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.42	B		○																	幹に、開口空洞空洞 20×25×10/65あり。根元に、ベッコウタケの子実体あり。ぶつ切り剪定されている。					
98	N02-098		ヒマラヤシーダー	20.0	218	10.0				2.0	1.5	1.5	2.5	1.5	2.5	1.92	B	○																		樹木番号N02-081ヒマラヤシーダー、099ヒマラヤシーダーとの、相互被圧(小)あり。枝数が、やや少ない。下部の大枝が、少ない。					
99	N02-099		ヒマラヤシーダー	20.0	313	14.0		3.63	1.16	4.62	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A		○							超	超	無	○	小	-	-	-	-	-	-	大枝が太く、ふところ枝が少なく、頂部が双幹状の樹形であり、移植に向けた剪定にあまり向いていない。不適。				
100	N02-100		エノキ	6.0	22	3.0				2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.59	A		○																	幹の肥大成長が少なく、細く伸長している。					

既存樹木調査結果一覧

エリア名				軟式野球場西側									調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載：追加詳細調査対象樹木(436本)														:追加調査項目	備考									
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活 力 度						保 存 の 必 要 性			移 植			関 連 項 目											備 考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採						
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損 箇所	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			樹高 13/15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧					剪定 対象 樹	剪定 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均
																							A	B	C												不可	超 大 高	超 大	
102	N02-102		ソメイヨシノ	10.0	203	8.0		3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B					○							無	中								幹に、コフキタケの子実体あり。 幹に、打音異常(大)H0.8mあり。 大枝剪定痕からの腐朽(大)120×25、腐朽(中)20×20あり。 樹木番号N02-106ヒマラヤシーダーからの、被圧(中)あり。 フェンスが、近接している。	●			
103	N02-103		ツバキ	4.0	46	2.0		2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A					○							有	無							フェンスが、近接している。	●				
106	N02-106		ヒマラヤシー ダー	20.0	270	12.0		3.46	1.1	4.41	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○										無	○	小	無	無	2	16	8	8.7	大木であるが、H12mでの剪定も可能であり、 場内移動でのチャレンジ移植は可能である。		●		
107	N02-107		ヒマラヤシー ダー	20.0	266	10.0		2.94	0.94	3.75	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○										有	○	小	無	無	16	13	13	14.0	大木であり、H8mまで下枝は無いが、H18m程度での剪定かつ 場内移動であればチャレンジ移植は可能である(H12mでの切断 は樹形崩壊を招く)。		●		
108	N02-108		ケヤキ	20.0	157	5.0		1.94	0.62	2.47	2.5	1.5	2.0	1.5	1.67	A										無	○	大	—	—	—	—	—	—	被圧からの枯損部分剪定により大枝が剪定されている。 樹形不良。不適。 幹芯からネットまでの離隔距離0.9m。			●		
109	N02-109		ケヤキ	20.0	217	7.0		2.5	0.8	3.18	3.0	2.0	3.0	2.5	2.0	1.5	2.34	B								無	○	中	—	—	—	—	—	—	樹形に乱れあり(強剪定後の枝吹き状態)、樹形不良。不適。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.7m。			●		
111	N02-111		ケヤキ	20.0	237	12.0		2.8	0.89	3.57	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.67	A									無	○	無	—	—	—	—	—	—	下枝が高く枝数が少ない。 移植に向けた剪定に適していない。不適。			●		
114	N02-114		トウネズミモチ	3.0	42	2.0		3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.75	A					○						無	小							樹冠上部に、剪定による徒長枝が見られる。 樹木番号N02-106ヒマラヤシーダーからの、被圧(小)あり。 環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●			
118	N02-118		ソメイヨシノ	7.0	32	5.0		1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.25	A	○									無	無							新植である。	●					
119	N02-119		ソメイヨシノ	7.0	34	6.0		1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.25	A	○									無	無							新植である。	●					
121	N02-121		ケヤキ	20.0	263	15.0		1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○										無	無								幹に、開口空洞 10×5×30/70あり。 根元・幹に、打音異常(中)H0.1m～1.2mあり。	●				
122	N02-122		トウネズミモチ	7.0	3本立	5.0	36,26,19	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.92	B											無	小								大枝剪定痕からの腐朽あり。 樹木番号N02-124クスノキからの、被圧(小)あり。 環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●		
123	N02-123		ソメイヨシノ	7.0	152	7.0		3.5	3.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.25	C											有	中								幹に、打音異常(中)H1.3m～2.0mあり。 樹形が、大枝剪定により、崩れている。 剪定痕からの腐朽あり。 樹木番号N02-122トウネズミモチからの、被圧(中)あり。 建物に、近接している。			●		
124	N02-124		クスノキ	20.0	190	10.0		2.59	0.82	3.3	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.00	B									無	○	無	—	—	—	—	—	—	—	下枝が高く樹形不良。 不適。			●	
126	N02-126		コブシ	8.0	67	4.0		0.8	0.25	1.02	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A									無	○	無	無	無	12	7	1	6.7	圃場では無剪定で枝の伸長を目指す。 移植難の種。 根鉢は5D程度大きめで確保することで、移植は可能である。		●			
127	N02-127		チョウセンマツ	18.0	188	7.0		3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C											有	中								中央部・下部で、大枝が切除され、枝数が少ない。 樹形が、崩れ始めている。 樹木番号N02-131クスノキからの、被圧(小)あり。 給水タンクに、近接している。			●		
128	N02-128		ツバキ	4.0	3本立	2.5	23,22,35	0.54	0.17	0.69	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.67	A									有	○	小	—	—	—	—	—	—	—	大枝に樹皮欠損あり。 樹形に乱れあり、移植樹としては不適である。			●	
130	N02-130		サンゴジュ	5.0	5本立	3.0	31,33,36,15,27	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	3.0	2.84	C											無	大									樹木番号N02-131クスノキからの、被圧(大)あり。 樹冠部に、枯れがあり、樹形が崩れている。 幹分岐部に、入り皮状態あり。			●	
131	N02-131		クスノキ	20.0	235	8.0		2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A	○										無	小								樹木番号N02-132ソメイヨシノと、近接し、相互被圧(小)あり。 樹木番号N02-133チョウセンマツからの、被圧(小)あり。			●		
132	N02-132		ソメイヨシノ	15.0	172	8.0		3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.34	B											有	中								被圧に、コフキタケの子実体あり。 大枝剪定痕からの腐朽(中)あり。 樹木番号N02-131クスノキとの、相互被圧(小)あり。 片は樹形(重傷)である。			●		
133	N02-133		チョウセンマツ	18.0	158	5.0		3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.67	C											無	大								幹に、打音異常(大)1.0m～1.5mあり。 大枝剪定痕からの腐朽(大)あり。 樹木番号N02-140ソメイヨシノ、141ソメイヨシノからの、被圧(大)あり。			●		
136	N02-136		トウネズミモチ	3.0	30	1.5		3.5	2.0	3.0	2.0	1.5	1.5	2.25	B											有	中								バルブ配管に、近接している。 環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●		
137	N02-137		サンゴジュ	3.0	15	1.0		4.0	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	3.42	D											無	中								枝枯れが多く、枝葉が少なく、樹形が崩壊している。 伐採も検討したい。			●		
138	N02-138		ユリノキ	4.0	16	1.0		0.23	0.07	0.29	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.42	B								無	○	大	—	—	—	—	—	—	—	実生木である。移植樹としての価値は低い。			●	
139	N02-139		タブノキ	18.0	29	2.5		2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	2.0	1.92	B											無	小								頂端部の切除あり。 樹木番号N02-140ソメイヨシノからの、被圧(大)あり。		●			
140	N02-140		ソメイヨシノ	18.0	253	12.0		2.59	0.82	3.3	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	2.00	B								有	×	中	—	—	—	—	—	—	—	樹形に乱れあり。頂端衰弱、樹形不良。不適。 幹芯から舗装までの離隔距離1.0m。 ソメイヨシノは若木による更新が望ましい。			●	
141	N02-141		ソメイヨシノ	8.0	2本立	15.0	157,174	2.97	0.95	3.78	2.5	1.5	2.5	1.5	2.5	2.0	2.09	B								無	○	無	—	—	—	—	—	—	—	梢端部の枝に枯死と衰退がみられる。樹形、樹勢維持困難。			●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名				軟式野球場西側								調査日		2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目		備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》												
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度					保存の必要性			移植			関連項目											保存	移植	伐採							
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長さ	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径	根元構造物				根鉢確保	片枝被圧	剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度		
1～4評価																	ABCD	該当に○			該当に○			超大高	超大高	有無	○×	大中小	大中小	大中小	1回目	2回目	3回目	20以上未満	該当に● ●:変更樹木				
142	N02-142		サクラ	8.0	38	6.0		1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.34	A	○			○						無		小						樹木番号N02-140ソメイヨシノからの、被圧あり。枝折れ痕φ6cmあり。			●			
150	N02-150		サクラ	10.0	111	9.0		2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.50	A	○									有		小					車道側が、ぶつ切り剪定されている。樹木番号N02-153ケヤキからの、被圧あり。フェンスが、近接している。			●				
152	N02-152		カンキツ	3.5	36	2.5		2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A		○								有		小					葉に、食害痕が、多数あり。樹木番号N02-153ケヤキからの、被圧あり。フェンスが、近接している。			●				
153	N02-153		ケヤキ	20.0	210	10.0		1.5	1.5	3.0	1.5	2.0	1.5	1.84	B		○								有		無					根元・幹に、打音異常(大)H0.0m～2.0mあり。大枝付け根に、開口空洞 25×10×25/70あり。また空洞が、根元まで続いている。フェンスが、近接している。			●				
154	N02-154		イヌツゲ	3.5	2本立	3.0	36,38	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.25	A										無		無					樹木番号N02-153ケヤキに、近接している。			●				
155	N02-155		ユリノキ	10.0	79	6.0		2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.92	B										有		中					樹木番号N02-153ケヤキからの、被圧あり。フェンスが、近接している。			●				
156	N02-156		ケヤキ	20.0	251	12.0		1.5	1.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.75	A	○									有		無					大枝剪定痕からの腐朽があるが、巻込みつつある。フェンスが、近接している。			●				
157	N02-157		チョウセンマツ	18.0	151	8.0		3.0	2.0	3.0	2.5	2.0	3.0	2.59	C										無		無					中央部・下部で、大枝が切除され、枝数が少ない。			●				
158	N02-158		カクレミノ	4.0	2本立	5.0	35,44	2.5	2.5	3.0	2.0	2.5	3.0	2.59	C										無		小					根元・幹に、打音異常(中)H0.2m～0.7mあり。根元に、樹皮欠損・腐朽 5×4あり。枯れ枝 φ4cm,L=0.7mあり。			●				
159	N02-159		フウ	12.0	111	3.0		2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.42	B										有		無					幹に、開口空洞 5×5×5/40あり。根元、アスファルトの、押し上げ(小)あり。舗装に、近接している。			●				
160	N02-160		コブシ	10.0	108	5.0		2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.25	B										有		中					樹木番号N02-140ソメイヨシノからの、被圧あり。片枝樹形である。露出根あり。緑石の、押し上げ(大)あり。植樹内に位置する。			●				
161	N02-161		ソメイヨシノ	10.0	2本立	8.0	220,195	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.25	B										高	超	有	×	小	-	-	-	-	根元周囲が舗装されている。適正根鉢確保困難。樹形に乱れあり(幹に屈曲、梢端枯れ)。			●		
162	N02-162		サンゴジュ	4.0	5本立	2.0	33,58,35,57,35	3.0	3.0	2.0	2.5	3.0	2.5	2.67	C											有		無					幹が、2本枯れている。舗装に、近接している。			●			
163	N02-163		ユリノキ	18.0	243	10.0		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○									超	超	有	○	小	無	無	13	17	12	14.0	樹勢が良く、適度に剪定管理されている。根鉢ぎりぎりだが、場内移植であればチャレンジ移植は可能である。			●
164	N02-164		ユリノキ	20.0	343	10.0		1.5	1.5	1.0	1.0	1.5	1.5	1.34	A										超	超	有	×	無	-	-	-	-	植栽樹(2.7×2.7m)に位置する。周辺舗装の押し上げ、根上りあり、根鉢確保が困難である。			●		
165	N02-165		ユリノキ	12.0	187	8.0		2.0	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.75	A										高	大	有	×	無	-	-	-	-	根元周囲にアスファルト舗装、構造物が多く、根鉢確保が困難である。幹芯から建物までの離隔距離1.5m。根元にフェンス近接。			●		
166	N02-166		ユリノキ	20.0	349	12.0		2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.92	B										超	超	有	×	無	-	-	-	-	根元周囲に構造物が多く、根鉢確保が困難である。幹芯から建物までの離隔距離1.5m、ブロック塀控え柱までの離隔距離1.1m、ブロック塀までの離隔距離2.5m。			●		
168	N02-168		イヌビワ	3.0	4本立	3.0	16,17,16,16	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A		○									無		小					剪定により、樹形の乱れ(小)あり。樹木番号N02-169サンゴジュからの、被圧あり。			●			
169	N02-169		サンゴジュ	3.5	4本立	3.0	41,78,50,72	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.59	C											有		無					幹の1本が、枯損している。幹の2本に、樹皮枯死・欠損・腐朽(大)あり。大枝に、枯枝が 2本 φ10cm,L=1.2mあり。葉に、食害痕が、多数あり。フェンスと、倉庫に、近接している。			●			
171	N02-171		エノキ	10.0	282	10.0		1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○									高	超	有	○	無	無	無	22	16	17	18.3	板根に樹皮欠損(小)があるが、樹形が良く、移植する価値のある樹木である。根鉢がやや異形になるが場内移植であれば、チャレンジ移植は可能である。幹芯から排水樹までの離隔距離1.85m。			●
172	N02-172		ヤエザクラ	8.0	2本立	8.0	103,109	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.84	B	○									高	大	有	○	無	無	無	21	21	18	20.0	幹芯からフェンスまでの離隔距離0.9m。樹勢良く場内移植ならば可能。			●
173	N02-173		ケヤキ	15.0	183	9.0		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A										超	大	有	×	小	-	-	-	-	根上り(大)、植栽樹に位置する。根鉢確保困難。下枝が高く、移植に向けた剪定にあまり適さない。幹芯から緑石までの離隔距離0.7m、0.9m。			●		
174	N02-174		サンゴジュ	4.5	4本立	3.5	36,38,30,14	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.50	B											無		無					幹の1本に、打音異常(大)H0.5～0.7mあり。枝折れ痕からの、腐朽あり。葉に、食害痕あり。			●			
175	N02-175		ソメイヨシノ	8.0	112	4.0		3.5	3.0	4.0	2.5	2.5	3.0	3.09	C											無		無					根元に、打音異常(大)あり。幹に、樹皮枯死・欠損・腐朽(大)、シイサルノコシカケの子実体あり。断幹されている。樹冠傾斜(東側)(中)あり。			●			

既存樹木調査結果一覧

エリア名				軟式野球場西側						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載：追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目																		
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格			活力度						保存の必要性			移植				関連項目										備考			保存	移植	伐採							
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			樹高13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧	剪定対象樹	剪定隣接樹				土壌硬度			土壌硬度3年平均	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》		
																							A	B	C											不可	超 大 高	超 大 高		有 無	○ ×	大 中 小 無
							1～4評価							該当に○														該当に●														
							※：難の内、保存樹木のため詳細調査対象外							該当に○														●：変更樹木														
176	N02-176		ソメイヨシノ	13.0	143	8.0		3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C			○									無		中						根元に、コフキタケの子実体、ベッコウタケの子実体あり。 幹に、樹皮欠損(小) 20×10あり。 大枝に、剪定痕からの樹皮枯死・欠損・腐朽(大)あり。 片枝樹形である。			●				
177	N02-177		フウ	15.0	127	7.0		2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A		○										有		無						中央部・下部で、大枝の枝数が少ない。 舗装に、近接している。	●							
178	N02-178		フウ	15.0	167	8.0		2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.50	A	○										有		無						舗装と、門扉に、近接している。	●							
179	N02-179		フウ	15.0	162	7.0	1.96	0.62	2.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.50	A		○								超 大 高	有	○	無	無	無	13	14	13	13.3	幹芯からフェンスまでの離隔距離0.8m。 12m剪定でも樹形維持可能。			●			
180	N02-180		ケヤキ	18.0	264	12.0		2.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.50	A		○									有		大						大枝が、西側に伸長し、片枝樹形である。 周辺木からの、被圧あり。 根元が、フェンスと接触している。	●							
181	N02-181		サカキ	6.0	34	5.0		1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.25	A		○		○							無		無						葉に、吸汁痕、食害あり。			●					
182	N02-182		フウ	16.0	118	8.0		2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.50	A	○		○								無		小						樹木番号N02-192フウからの、被圧あり。			●					
183	N02-183		ユリノキ	16.0	217	8.0	2.42	0.77	3.08	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	2.09	B			○						超 大 高	有	○	中	-	-	-	-	-	樹形に乱れがあり(大枝の強剪定、剪定痕からの腐朽あり)、不適。			●				
184	N02-184		ツバキ	3.5	12	1.5		2.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.67	A			○								有		小						隣木の被圧あり。 片枝樹形である。 フェンスが、近接している。			●					
185	N02-185		ツバキ	3.5	16	1.5		2.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.92	B			○								有		小						隣木の被圧あり。 フェンスが、近接している。			●					
186	N02-186		ツバキ	3.5	18	1.5		2.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.92	B			○								有		小						隣木の被圧あり。 フェンスが、近接している。			●					
187	N02-187		ツバキ	3.5	14	1.5		3.0	3.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.59	C			○								有		小						隣木の被圧あり。 フェンスが、近接している。			●					
188	N02-188		ツバキ	3.5	7	1.5		2.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.92	B			○								有		小						隣木の被圧あり。 片枝樹形である。 フェンスが、近接している。			●					
189	N02-189		ツバキ	3.5	11	1.5		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00	D			○								有		大						隣木の被圧あり。 ほぼ枯死状態にある。			●					
192	N02-192		フウ	16.0	151	7.0		2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.50	A		○	○								無		小						樹木番号N02-200フウからの、被圧あり。			●					
193	N02-193		ツバキ	4.0	2本立	2.5	23,16	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.25	A		○	○								有		小						隣木からの、被圧あり。 枝に、南京錠のくい込みあり。 フェンスが、近接している。	●							
194	N02-194		ツバキ	4.0	3本立	3.0	21,14,15	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	4.0	3.42	D			○								無		中						大枝に、枝折れあり。 枝葉が少ない。 隣木からの、被圧あり。 枝に、南京錠のくい込みあり。 フェンスが、近接している。	●							
195	N02-195		ツバキ	4.0	2本立	3.0	31,18	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.75	A		○	○								無		小						隣木からの、被圧あり。 枝に、南京錠のくい込みあり。 フェンスが、近接している。	●							
196	N02-196		ツバキ	4.0	5本立	3.0	22,12,23,15,11	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.75	A		○	○								有		中						隣木からの、被圧あり。 枝に、南京錠のくい込みあり。 フェンスが、近接している。	●							
197	N02-197		ツバキ	4.0	45	3.0		2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.75	A		○	○								有		小						隣木からの、被圧あり。 樹形が、西側に偏っている。 枝に、南京錠のくい込みあり。 フェンスが、近接している。	●							
198	N02-198		ヤマグワ	5.0	5本立	5.0	5,16,9,17,10	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.09	A		○	○								無		小							実生のトウネズミモチに、近接しており、被圧あり。			●				
199	N02-199		ヤマグワ	5.0	5本立	5.0	21,18,13,16,10	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00	A		○	○								無		無							フェンスが、近接している。			●				
200	N02-200		フウ	15.0	138	7.0		1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.17	A		○	○								有		無						倉庫に、近接している。			●					
201	N02-201		ユリノキ	16.0	184	8.0	2.26	0.72	2.88	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.92	B		○							超 大 高	有	○	無	無	無	-	-	-	-	下枝が高いが場内移植ならば可能。			●			
202	N02-202		コブシ	16.0	200	8.0	1.57	0.5	2	1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	1.17	A		○								超 大 高	無	○	無	無	無	8	19	14	13.7	根元に大量の廃棄物が積み上げられている。 ゴミ撤去で移植可能。			●			
203	N02-203		サワラ	16.0	99	6.0		2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	2.0	1.84	B		○									無		無							幹に、打音異常(中) H1.5m～2.0mあり。 幹に、樹皮欠損(小) 8×2が 2箇所あり。 中央部・下部に、大枝がない。 幹に、つる植物の登ハンあり。	●						
204	N02-204		サクラ	10.0	219	8.0		3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C			○								有		無							大枝が、ぶつ切り剪定され、樹形が崩れている。 幹に、樹皮欠損・腐朽(大)あり。 フェンスが、近接している。	●						
205	N02-205		ネズミモチ	5.0	2本立	3.0	34,23	1.5	1.0	1.0	1.0	1.5	2.0	1.34	A		○	○								有		無							プレハブ倉庫と、フェンスが、近接している。	●						
206	N02-206		サワラ	8.0	66	3.0		3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.84	C			○								有		大							断幹されており、腐朽(大)あり。 幹に、開口空洞 120×5×13/20(芯達)あり。 根元・幹に、打音異常(大) H0.0m～0.5mあり。 樹木番号N02-180ケヤキからの、被圧あり。 プレハブ倉庫と、フェンスが、近接している。	●						

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場西側								調査日		2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											追加調査項目																		
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度						保存の必要性			移植					関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採						
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧	剪定対象樹					剪定隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均	
				1~4評価				ABCD	該当に○			該当に○			超	超	有	○	×	大	中	小	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無					無	無	無	無		
207	N02-207		スダジイ	12.0	215	10.0							2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	1.5	2.00	B																			幹に、開口空洞・腐朽(大) 20×10×31/60(芯達)あり。 幹に、開口空洞 20×15×30/90あり。 大枝の枝折れ痕に、腐朽あり。 プレハブ倉庫に、近接している。	●		
208	N02-208		ソメイヨシノ	15.0	215	10.0							2.5	2.0	3.0	1.5	1.5	1.5	2.00	B																		梢端枯れが多く、樹勢衰退がみられる。不適。 幹芯からプレハブ小屋までの離隔距離0.7m。			●	
209	N02-209		シラカシ	16.0	231	15.0							2.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.42	A																	下枝が高く、移植に向けた剪定に適していない。 移植後の樹勢回復が難しい。			●		
210	N02-210		ナツミカン	5.0	70	5.0							1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.09	A																	枯れ枝φ3cm、L=0.6mあり。		●			
211	N02-211		サカキ	3.5	2本立	2.0	21,12						1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.09	A																	葉に、吸汁痕と、食害痕あり。 樹木番号N02-213ヒイラギモクセイからの、被圧あり。		●			
213	N02-213		ヒイラギモクセイ	3.0	39	2.0							2.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.0	1.34	A																	樹木番号N02-215シラカシからの、被圧あり。 プレハブ倉庫に、近接している。		●			
214	N02-214		ヒイラギモクセイ	3.0	13	2.0							2.5	1.5	1.0	1.0	1.5	1.5	1.50	A																	樹形が、西側に傾斜している。 樹木番号N02-215シラカシからの、被圧あり。 プレハブ倉庫に、近接している。		●			
215	N02-215		シラカシ	15.0	97	7.0							2.0	1.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.84	B																	幹に、開口空洞(中) 20×10×18/30(芯達)あり。 打音異常(大) H1.5m~2.0mあり。 枯れ枝φ20cm、L=0.8mあり。 樹木番号N02-226シラカシからの、被圧あり。 プレハブ倉庫に、近接している。			●		
216	N02-216		サカキ	6.0	43	3.0							1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A																	整った樹形である。適。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.2m、プレハブ小屋までの離隔距離0.3m。		●			
217	N02-217		ユリノキ	20.0	180	6.0							3.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.5	2.25	B																	中央部・下部で、大枝が少ない。 樹木番号N02-180ケヤキ、224クスノキからの、被圧あり。	●				
218	N02-218		タブノキ	8.0	39	4.0							2.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.84	B																	樹幹が、西側に傾斜しており、片枝樹形である。 周辺木からの、被圧あり。	●				
219	N02-219		クスノキ	10.0	51	6.0							2.5	2.5	2.0	1.5	2.5	3.0	2.34	B																	下部の、大枝が少なく、枯れ枝が見られる。 周辺木からの、被圧あり。	●				
220	N02-220		サワラ	7.0	49	3.0							4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00	D																	幹に、開口空洞 200×5×10/13(芯達)あり。 周辺木からの、被圧あり。	●				
221	N02-221		メタセコイア	26.0	188	7.0							2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.84	B																		下部の、大枝が少ない。 周辺木からの、被圧あり。 フェンスが、近接している。	●			
222	N02-222		トウネズミモチ	5.0	3本立	3.5	33,16,30						2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.00	B																		枝が、南側に伸長しており、片枝樹形である。 周辺木からの、被圧あり。 環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●	
223	N02-223		シラカシ	13.0	151	5.0							2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	2.09	B																	根元に、開口空洞・腐朽(大) 35×20×18/60あり。 枝が、南側に伸長しており、片枝樹形である。 周辺木からの、被圧あり。 照明に、近接している。			●		
224	N02-224		クスノキ	25.0	167	10.0							2.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.67	A																		樹形に乱れがあり(下枝が高く、枝葉が北側に偏りあり)、不適。			●	
225	N02-225		タブノキ	7.0	34	4.0							3.0	2.0	3.0	2.0	1.5	1.5	2.17	B																	頂端部に、折れあり。 周辺木からの、被圧あり。			●		
226	N02-226		シラカシ	15.0	134	6.0							2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	2.00	B																		根元に、開口空洞(大) 20×15×30/45(芯達)あり。 幹に、開口空洞(中)が、2箇所あり。 根元・幹に、打音異常(大) H0.1m~1.5mあり。 大枝に、樹皮枯死・欠損(大)あり。			●	
227	N02-227		メタセコイア	25.0	278	8.0							2.0	1.5	2.5	1.0	1.5	1.5	1.67	A																		下枝が少ない。 幹芯から緑石までの離隔距離2.1m。適正根鉢確保困難。			●	
228	N02-228		ネズミモチ	6.0	6本立	3.0	18,8,9,13,13,39						3.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.92	B																		樹幹傾斜(南側)あり。			●	
229	N02-229		ネズミモチ	3.5	24	2.0							2.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.84	B																		頂端部に、切除あり。			●	
230	N02-230		カキ	3.0	22	2.0							4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.17	C																		骨格となる大枝に、腐朽があり、樹冠に崩れあり。 幹に、開口空洞(小)あり。			●	
231	N02-231		エンジュ	15.0	112	6.0							3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	2.42	B																		幹H1.2m(南側)に、樹皮欠損(中) 80×15あり。 幹H1.2m(北側)に、樹皮枯死(中) 60×30あり。 幹に、打音異常(中) H1.0m~2.0mあり。 片枝樹形である。			●	
233	N02-233		ヒサカキ	3.5	18	3.0							2.5	2.5	2.5	2.0	3.0	3.0	2.59	C																		メタセコイアに、近接している。 被圧による、樹冠傾斜(小)あり。			●	
234	N02-234		メタセコイア	25.0	228	8.0							1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A																		隣木(シラカシ)からの被圧(小)あり。 場内ならば移植可能。		●		
235	N02-235		タラヨウ	12.0	2本立	7.0	34,113						1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.59	A																		場内での希少種であるため、移植価値のある樹木である。		●		
236	N02-236		ビワ	3.0	30	2.5							2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A																		タラヨウの被圧により、やや南側に傾斜している。			●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名		軟式野球場西側											調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載：追加詳細調査対象樹木(436本)													:追加調査項目																
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度						保存の必要性			移植			関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採											
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損 箇所	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			樹高 13/ 15	根元 径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧					剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均					
		1～4評価						ABCD	該当に○			※：難の内、保存樹木のため詳細調査対象外												該当に● ●：変更樹木																					
237	N02-237		メタセコイヤ	22.0	214	8.0		3.1	0.99	3.95	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A																		幹芯から緑石までの離隔距離0.7m。根鉢確保困難。			●						
238	N02-238		サンゴジュ	4.0	3本立	2.0	28,24,38				2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.59	C																	葉に、食害痕が、多数あり。			●							
239	N02-239		サンゴジュ	3.5	3本立	3.0	40,38,45				2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.59	C																	葉に、食害痕が、多数あり。			●							
243	N02-243		イチヨウ	15.0	312	10.0					1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A								有									幹に、樹皮欠損(大) 100×65あり。 大枝剪定痕に腐朽 φ35cm、φ30cm、φ20cmあり。 大枝に、打音異常(中) H1.2m～2.0mが、2箇所あり。 緑石押し上げ(小)、アスファルト押し上げ(小)あり。			●							
244	N02-244		サンゴジュ	4.5	61	4.0					3.5	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	2.84	C																	幹が、2本枯死している。 葉に、食害痕が、多数あり。 枯れ枝が、多数あり。			●							
245	N02-245		サンゴジュ	3.2	10本 立	1.8	13,18,19, 14,12,2				3.5	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	2.84	C																	頂端部が、切断されており、樹形に崩れあり。 葉に、食害痕が、多数あり。 枯れ枝が、多数あり。			●							
246	N02-246		イチヨウ	12.0	284	10.0		3.59	1.14	4.57	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A									高	超	有	×	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	幹芯から電柱までの離隔距離0.7m。舗装縁石までの離隔距離0.9m。万年塚までの離隔距離1.0m。建物砕石までの離隔距離2.6m。 適正根鉢確保困難。			●
247	N02-247		カイツカイブキ	4.5	36	1.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C									有									片枝樹形である。 建物が、0.7m(南側)の距離にあり、近接している。 建物からの、被圧あり。 植樹内にある。			●						
249	N02-249		カイツカイブキ	4.5	35	1.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C									有									片枝樹形である。 建物が、0.7m(南側)の距離にあり、近接している。 建物からの、被圧あり。 植樹内にある。			●						
250	N02-250		カイツカイブキ	4.5	37	1.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C									有									片枝樹形である。 建物が、0.7m(南側)の距離にあり、近接している。 建物からの、被圧あり。 植樹内にある。			●						
251	N02-251		カイツカイブキ	4.5	34	1.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C									有									片枝樹形である。 建物が、0.7m(南側)の距離にあり、近接している。 建物からの、被圧あり。 植樹内にある。			●						
252	N02-252		ケヤキ	12.0	296	10.0		—	—	—	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2018年調査時点では存在していたが、2022年詳細調査の結果、維持管理等のため伐採済みであった。			●
259	N02-259		カイツカイブキ	4.5	36	1.0					2.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.90	C									有										片枝樹形である。 建物が、0.7m(南側)の距離にある。 建物からの、被圧あり。 植樹内にある。	●							
260	N02-260		カイツカイブキ	4.5	33	1.0					2.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.90	C									有										片枝樹形である。 建物が、0.7m(南側)の距離にある。 建物からの、被圧あり。 植樹内にある。	●							
261	N02-261		カイツカイブキ	4.5	34	1.0					2.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.90	C									有										片枝樹形である。 建物が、0.7m(南側)の距離にある。 建物からの、被圧あり。 植樹内にある。	●							
262	N02-262		シラカシ	12.0	178	8.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B	○								有											スタジイからの、被圧あり。 フェンスが、0.5m(東側)の距離にある。 看板に、近接している。	●						
263	N02-263		カキ	12.0	74	6.0					2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○		○																西側の枝が、少ない。 スタジイからの、被圧あり。	●						
264	N02-264		スダジイ	12.0	238	10.0					2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B									有											幹に、打音異常(中) H0.5m～1.5mあり。 大枝剪定痕からの腐朽(中) φ25cm、φ20cmあり。 フェンスが、0.6m(西側)の距離にある。	●						
265	N02-265		トウカエデ	12.0	130	8.0					2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B									有											フェンスが、0.3m(西側)の距離にる。 建物が、2.0m(東側)の距離にある。	●						
266	N02-266		トウカエデ	15.0	194	10.0					2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B									有												幹に、開口空洞(小)が、2箇所(H1.5m、H1.8m)あり。 フェンスが、0.7m(西側)の距離にある。 建物が、1.6m(東側)の距離にある。	●					
267	N02-267		ソメイヨシノ	8.0	137	6.0					3.5	3.0	3.5	2.5	2.5	3.0	3.00	C									有												大枝剪定痕からの腐朽(大)あり。 大枝・幹に、カワラタケの子実体が、多数あり。 フェンスが、接触している。 建物が、2.5m(東側)の距離にある。	●					
268	N02-268		トウカエデ	15.0	184	10.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B									有													幹に、開口空洞(小) 11×6×11/60あり。 フェンスが、0.4m(西側)の距離にある。 建物が、2.2m(東側)の距離にある。	●				
269	N02-269		ソメイヨシノ	12.0	149	8.0					3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.34	B									有													根元に、樹皮欠損(中) 30×5あり。 樹幹傾斜(西側)あり。 フェンスが、接触(西側)している。	●				
270	N02-270		トウカエデ	7.0	35	3.0					2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A																						頂端部が、切除されている。 サクラ類からの、被圧あり。	●				

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場西側						調査日		2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載：追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目																					
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格			活力度						保存の必要性			移植			関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採										
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			樹高 13/15	根元 径	根元 構造 物					根鉢 確保	片枝 被圧	剪定 対象 樹	剪定 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均		
																							A	B	C												不可	超大 高	超大 高		有無	〇×
																			1～4評価										該当に○			該当に○										
																			※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外																							
271	N02-271		ソメイヨシノ	15.0	245	10.0						2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.25	B		○				※														大枝が、西側に、多数伸長している。フェンスが、接触(西側)している。建物が、2.2m(東側)の距離にある。	●		
272	N02-272		トウカエデ	15.0	146	8.0						2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○				※													大枝が、西側に、多数伸長している。フェンスが、接触(西側)している。	●			
273	N02-273		トウカエデ	15.0	213	10.0						2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○				※													大枝が、西側に、多数伸長している。フェンスが、0.8m(西側)の距離にある。建物が、1.8m(東側)の距離にある。	●			
275	N02-275		サクラ	12.0	253	10.0						2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○																大枝が、西側に、多数伸長している。胴吹き枝が、多い。根上り(大)あり。大枝・幹に、カワラタケの子実体、多数あり。フェンスが、接触している。建物が、1.7m(東側)の距離にある。	●			
276	N02-276		ヒサカキ	3.7	3本立	2.0	15,9,23					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○		○															葉に、食害痕が、多数あり。スタジイからの、被圧あり。フェンスが、2.0m(西側)の距離にある。		●		
277	N02-277		スダジイ	12.0	194	8.0		2.35	0.75	2.99		2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○																樹形に乱れがあり(樹幹傾斜(道路側)、大枝の分布に偏り(道路側))。大枝に開口空洞が多数あり、不適。幹芯からフェンスまでの離隔距離1.2m。			●	
278	N02-278		ムクノキ	5.0	2本立	3.0	8,21					2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.25	B			○																	根元で、断幹あり。樹幹傾斜(小)(北側)あり。			●	
279	N02-279		タブノキ	4.0	4本立	1.5	10,9,15,7					2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.25	B			○																	根元で、断幹あり。塀に、接触(東側)している。			●	
280	N02-280		ヒラギモクセイ	4.0	51	2.5						2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○		○															周辺木からの、被圧あり。			●		
281	N02-281		ヒラギモクセイ	6.0	2本立	2.5	35,26					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○		○																周辺木からの、被圧あり。			●	
282	N02-282		ヒラギモクセイ	3.5	25	2.5						2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○		○																周辺木からの、被圧あり。			●	
283	N02-283		タブノキ	15.0	261	10.0		2.83	0.9	3.61		2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.67	A			○																幹に大きな開口空洞。幹芯から万年塚までの離隔距離0.8m。適正根鉢確保困難。			●	
284	N02-284		ヒラギモクセイ	3.0	16	1.5						2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.00	B		○		○															樹幹傾斜(西側)あり。フェンスが、0.4m(西側)の距離にある。	●			
285	N02-285		ヒラギモクセイ	3.0	23	1.5						2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A	○		○																フェンスが、0.4m(西側)の距離にある。	●			
286	N02-286		マテバシイ	8.0	84	6.0						2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○					※												枝(東側)が、建物に、接触している。塀が、0.2m(東側)の距離にある。	●				
287	N02-287		マテバシイ	8.0	148	8.0						2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○																	幹に、シイサルノコシカケの子実体あり。根元に、樹皮欠損(小)40×10あり。樹幹傾斜(西側)あり。枝(東側)が、建物に、接触している。塀が、0.2m(東側)の距離にある。	●			
289	N02-289		ヒラギモクセイ	3.0	2本立	2.0	13,17					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B	○		○																	周辺木からの、被圧あり。フェンスが、0.5m(西側)の距離にある。	●			
290	N02-290		ヒラギモクセイ	3.0	14	2.0						2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.17	B		○		○															枯れ枝φ3cm.L=1.2mあり。周辺木からの、被圧あり。フェンスが、0.5m(西側)の距離にある。	●				
291	N02-291		ヒラギモクセイ	3.0	2本立	2.5	18,15					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B	○		○																	周辺木からの、被圧あり。フェンスが、0.5m(西側)の距離にある。	●			
299	N02-299		トウネズミモチ	3.5	2本立	2.0	33,24					3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.34	B			○																	主幹上部で、断幹されている。塀が、0.4m(北側)の距離にある。環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●	
308	N02-308		ヒマラヤシダー	9.0	143	3.0						3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B			○																頂端部が、切断されている。刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。建物が、0.5m(西側)の距離にある。植柵内にある。緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
309	N02-309		ヒマラヤシダー	9.0	123	3.0						3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B			○																頂端部が、切断されている。刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。建物が、0.5m(西側)の距離にある。植柵内にある。緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
310	N02-310		ヒマラヤシダー	9.0	132	3.0						3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B			○																頂端部が、切断されている。刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。建物が、0.5m(西側)の距離にある。植柵内にある。緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
311	N02-311		ヒマラヤシダー	9.0	103	3.0						3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B			○																頂端部が、切断されている。刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。建物が、0.5m(西側)の距離にある。植柵内にある。緑石の、押し上げ(小)あり。			●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場西側						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目																			
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度						保存の必要性			移植			関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採								
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/15	根元 径	根元 構造 物	根幹 確保					片枝 被圧	剪定 対象 樹	剪定 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均	
1～4評価										ABCD	該当に○			該当に○			超大 高	超大 高	有無	○×	大中 小無	大中 小無	大中 小無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満															
312	N02-312		ヒマラヤシダー	9.0	103	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																			頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●
313	N02-313		ヒマラヤシダー	9.0	113	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																		頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
314	N02-314		ヒマラヤシダー	9.0	116	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																		頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
315	N02-315		ヒマラヤシダー	9.0	101	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																		頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
316	N02-316		ヒマラヤシダー	9.0	105	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																		頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
317	N02-317		ヒマラヤシダー	9.0	95	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																		頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
318	N02-318		ヒマラヤシダー	9.0	109	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																		頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
319	N02-319		ヒマラヤシダー	9.0	106	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																		頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
320	N02-320		ヒマラヤシダー	9.0	121	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																			頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●
322	N02-322		ヒマラヤシダー	9.0	118	2.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																			頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●
323	N02-323		ヒマラヤシダー	9.0	97	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																			頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●
324	N02-324		ヒマラヤシダー	9.0	108	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																			頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●
325	N02-325		ヒマラヤシダー	9.0	103	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B																			頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場西側										調査日		2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)															:追加調査項目											
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度						保存の必要性			移植			関連項目									備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採									
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長さ	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径					根元構造物	根鉢確保	片枝被圧	剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均
1~4評価											ABCD	該当に○			該当に○			※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外	超大高	超大高	有無	○×	大中小無	大中小無	大中小無	1回目	2回目	3回目	20以上未満												
326	N02-326		ヒマラヤシーダー	9.0	113	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B															頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●			
327	N02-327		ヒマラヤシーダー	9.0	126	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B														頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●				
328	N02-328		ヒマラヤシーダー	9.0	120	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B														頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●				
329	N02-329		ヒマラヤシーダー	9.0	134	3.0							3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B														頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●				
330	N02-330		マンシュウカエデ	9.0	242	7.0		2.64	0.84	3.36			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B	○						高	超	有	○	無	無	無	8	6	4	6.0	貴重種。根元は人工芝マットで覆われている。 幹芯から真砂土舗装までの離隔距離1.3m。場内移植可能。			●
331	N02-331		スダジイ	15.0	182	10.0							2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○													根元に、樹皮欠損(小) 30×10あり。 高さH3.0mに、大枝剪定痕からの腐朽φ10cmあり。 塀が、2.0m(北側)の距離にある。	●					
332	N02-332		マテバシイ	5.0	32	2.5							2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.34	B															スダジイからの、被圧あり。 ひこばえが、多数あり。	●					
333	N02-333		マテバシイ	6.0	42	3.5							2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.42	B															スダジイからの、被圧あり。 片枝樹形である。	●					
334	N02-334		マテバシイ	5.0	3本立	2.0	11,16,13						2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.42	B															樹幹傾斜(南側)あり。 中央部に、枝が少なく、片枝樹形である。 スダジイからの、被圧あり。	●					
335	N02-335		コブシ	10.0	115	7.0							2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	2.00	B		○														片枝樹形である。 マテバシイからの、被圧あり。 幹に、つる植物の登ハンあり。 盛土あり。	●				
336	N02-336		マテバシイ	8.0	70	7.0							2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.92	B		○														樹幹傾斜(小)(東側)あり。	●				
337	N02-337		モチノキ	7.0	3本立	3.0	19,20,9						1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.34	A	○			○												スダジイからの、被圧あり。	●				
338	N02-338		スダジイ	12.0	196	10.0							2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.59	A	○															樹幹が、やや西側に偏っている。 フェンスが、1.8m(西側)の距離にある。	●				
339	N02-339		マテバシイ	7.0	30	3.5							2.5	2.5	1.5	2.5	2.0	2.5	2.25	B																樹幹傾斜(東側)あり。 スダジイからの被圧あり。	●				
340	N02-340		サンゴジュ	4.0	4本立	2.5	25,24,16,33						3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.17	C																葉に、食害痕が、多数あり。 中央部・下部に、枝がほとんどなく、樹形が崩壊している。 枯れ枝が、多数あり。	●				
341	N02-341		サンゴジュ	3.0	25	2.5							3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.17	C																葉に、食害痕が、多数あり。 中央部・下部に、枝がほとんどなく、樹形が崩壊している。 枯れ枝が、多数あり。	●				
342	N02-342		サンゴジュ	4.0	43	3.0							3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.17	C																葉に、食害痕が、多数あり。 中央部・下部に、枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が、多数あり。	●				
343	N02-343		サンゴジュ	4.0	2本立	3.0	53,37						3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.17	C																葉に、食害痕が、多数あり。 中央部・下部に、枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が、多数あり。	●				
344	N02-344		サンゴジュ	4.0	43	3.0							3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.17	C																葉に、食害痕が、多数あり。 中央部・下部に、枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が、多数あり。	●				
345	N02-345		マテバシイ	8.0	7本立	8.0	63,54,27,72,63,3						2.5	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.00	B	○																樹幹が、やや西側に偏っている。 フェンスが、1.3m(西側)の距離にある。	●			
348	N02-348		ソメイヨシノ	12.0	2本立	10.0	203,160						1.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.75	A	○																幹H0.4mに、剪定痕からの腐朽(大) 40×30あり。 チャアタケモドキの子実体あり。 胸吹き枝が、多数あり。 フェンスが、1.0m(西側)の距離にある。	●			
349	N02-349		ヒイラギモクセイ	3.0	34	1.5							3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.59	C																断幹されている。 葉に、食害痕あり。	●				
350	N02-350		サンゴジュ	4.0	46	2.5							3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.09	C																葉に、食害痕が、多数あり。 中央部・下部に、枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が、多数あり。	●				
351	N02-351		サンゴジュ	4.0	3本立	2.5	33,35,34						3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.09	C																葉に、食害痕が、多数あり。 中央部・下部に、枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が、多数あり。	●				

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場西側												調査日		2018年12月25日～2019年1月28日		2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載：追加詳細調査対象樹木(436本)										追加調査項目														
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度						保存の必要性			移植				関連項目							備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採												
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15					根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧	剪定対象樹	剪定隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均		
1～4評価													ABC	該当に○		該当に○				超大高	超大高	有無	○×	大中小	大中小	大中小	1回目	2回目	3回目	20以上未満	該当に●												
													ABC	該当に○		※：難の内、保存樹木のため詳細調査対象外				超大高	超大高	有無	○×	大中小	大中小	大中小	1回目	2回目	3回目	20以上未満	●：変更樹木												
387	N02-387		イヌツゲ	5.0	4本立	3.0	17,22,22,30						2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○															ツバキからの被圧により、片枝樹形である。 下枝が無い。			●		
388	N02-388		サクラ	10.0	101	8.0						2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.42	B			○															樹幹傾斜(大)(西側)あり。 枝に、こぶが、多数あり。 フェンスに、接触(西側)している。 幹に、ヘデラの登ハンあり。	●					
389	N02-389		ツバキ	3.5	48	2.5	23,17					2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A			○																幹H0.4mに、開口空洞 22×4×8/15(芯達)あり。	●				
390	N02-390		イヌツゲ	3.0	2本立	2.0						3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.59	C			○																周辺木からの被圧により、片枝樹形である。	●				
391	N02-391		モチノキ	7.0	99	5.0						1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.42	A	○			○																幹に、ヘデラの登ハンあり。		●			
392	N02-392		トウカエデ	12.0	240	7.0		3.08	0.98	3.92		2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.75	A	○			○					高	超	無	○		無	無	無	10	10	10	10.0			●	
393	N02-393		クロマツ	15.0	151	7.0		2.73	0.87	3.48		2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A			○					超	超	有	×	無	—	—	—	—	—	—				●		
394	N02-394		コブシ	12.0	145	8.0		1.69	0.54	2.15		2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A			○					高	高	無	○		中	—	—	—	—	—	—				●	
395	N02-395		トウカエデ	15.0	214	12.0		2.21	0.7	2.82		2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○			○				超	大	無	○		小	無	無	1	9	15	8.3			●		
396	N02-396		ウバメガシ	12.0	4本立	10.0	84,91,58,58	2.13	0.68	2.71		2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.67	A	○			○					高	大	無	○		無	無	無	6	3	9	6.0			●	
397	N02-397		クロマツ	15.0	154	6.0		1.78	0.57	2.27		2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.92	B			○					超	高	無	○		無	—	—	—	—	—	—				●	
398	N02-398		サンゴジュ	5.0	3本立	3.0	26,22,33					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C			○																			●		
399	N02-399		サンゴジュ	5.0	3本立	2.5	22,38,18					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C			○																			●		
400	N02-400		クスノキ	15.0	103	6.0						2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.67	A			○																		●			
401	N02-401		クスノキ	15.0	131	8.0						2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.67	A			○																		●			
402	N02-402		サンゴジュ	5.0	50	3.0						3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C			○																			●		
403	N02-403		アラカシ	12.0	3本立	10.0	32,126,113					2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A			○																			●		
404	N02-404		ソメイヨシノ	10.0	2本立	15.0	156,157					2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○																			●		
405	N02-405		ネズミモチ	3.5	6本立	2.0	10,9,9,20,9,16					2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.25	B			○																			●		
406	N02-406		ネズミモチ	3.5	3本立	2.0	13,15,32					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B			○																			●		
407	N02-407		サンゴジュ	3.5	25	2.0						3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C			○																				●		
408	N02-408		サクラ	12.0	160	8.0						2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○																			●		
409	N02-409		タブノキ	15.0	256	10.0						1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○																					●		
410	N02-410		ソメイヨシノ	10.0	87	6.0						3.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.34	B			○																			●		
411	N02-411		スダジイ	12.0	207	10.0		2.35	0.75	2.99		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B			○							高	大	有	○		中	—	—	—	—	—	—				●
412	N02-412		エノキ	12.0	151	10.0						2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B			○																			●		
413	N02-413		クロガネモチ	15.0	3本立	10.0	52119132	2.78	0.89	3.54		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○			○						超	超	無	○		小	無	無	14	13	9	12.0			●	
414	N02-414		トウカエデ	15.0	151	8.0						2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	2.09	B			○																				●	
415	N02-415		サクラ	6.0	29	3.5						2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.42	B			○																			●		
416	N02-416		エンジュ	8.0	83	6.0						3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B			○																			●		

既存樹木調査結果一覧

エリア名				軟式野球場西側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)												追加調査項目																						
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度								保存の必要性			移植					関連項目									備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採															
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			樹高 13/15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定 対象 樹	剪定 隣接 樹					土壌硬度			土壌 硬度3 回平均											
																							A	B	C												不可	超 大 高	超 大 高		有 無	○ ×	大 中 小 無	大 中 小 無	大 中 小 無	1回 目	2回 目	3回 目	20以 上未 満		
417	N02-417		イチヨウ	20.0	284	10.0		3.47	1.11	4.42	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○																								幹H1.6mに樹皮欠損(中)(120cm×20cm)があるが、現状問題なし。 樹形樹勢極めて良好な巨木。	●							
418	N02-418		イロハモミジ	10.0	2本立	8.0	97,92	1.59	0.51	2.03	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○																							まれに見る極めて樹形・樹勢の良い樹である。	●								
419	N02-419		ヒサカキ	3.5	2本立	2.5	18,21				1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○																							フェンスが、1.0m(東側)の距離にあり。	●								
420	N02-420		イヌツゲ	3.0	35	2.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C				○																			主幹が、枯死している。	●									
421	N02-421		モチノキ	5.0	59	2.5		0.8	0.25	1.02	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A																								樹形にやや乱れあり。 代替え樹もある規格。	●								
422	N02-422		コブシ	12.0	135	6.0					2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.59	C																								幹H1.9mに、開口空洞(大)120×15×10/30あり。 幹に、開口空洞(小)30×5×5/40あり。 幹に、打音異常(中)H1.0m～1.5mあり。 大枝に、枝折れ痕あり。	●								
423	N02-423		ミズキ	12.0	94	6.0		1.31	0.42	1.67	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A																									下枝が少ないが樹高が高く上部に枝葉があり樹形、樹勢良好。 幹芯から隣木N02-423(ミズキ)までの離隔距離1.6m。	●							
424	N02-424		シラカシ	10.0	128	8.0		1.36	0.43	1.73	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.92	B																									幹H2.5mに開口空洞があり、移植には不適である。	●							
425	N02-425		シラカシ	12.0	196	8.0		2.26	0.72	2.88	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○																								枝葉量が多く、樹勢は良好である。	●							
426	N02-426		モチノキ	8.0	3本立	6.0	54,93,31	2.02	0.64	2.57	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.75	A																									場内で株立ちのモチノキは珍しい。 移植剪定において、3本立ちの細い1本を切除する必要がある。	●							
427	N02-427		モッコク	4.5	49	2.5					2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	2.00	B																									枝葉が、やや少ない。 大枝に、枝折れ痕(小)φ8cm 巻込み無し、あり。	●							
428	N02-428		エンジュ	15.0	227	8.0		2.43	0.77	3.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○																									高さH2.5mで双幹状となり立派な樹形である。 樹形維持可能。	●						
429	N02-429		ツバキ	5.0	5本立	3.5	23,35,34, 36,20				1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○																										幹H0.4mに、樹皮欠損(中)17×4あり。 フェンスが、1.2m(東側)の距離にあり。	●					
430	N02-430		ツバキ	4.0	6本立	3.0	22,30,30, 18,17,2				1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○																									フェンスが、1.2m(東側)の距離にあり。	●						
431	N02-431		カキ	8.0	62	6.0					2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.75	A																										樹幹傾斜(中)(東側)あり。 下枝がない。	●						
432	N02-432		モチノキ	8.0	2本立	4.0	73,81	1.46	0.46	1.86	2.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.84	B																										整った樹形である。維持可能。	●						
433	N02-433		トウカエデ	12.0	225	8.0		3.61	1.15	4.6	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.75	A	○																										歪楕円形(長径2.7m)の植栽樹に位置する。 幹芯から御影石ベンチまでの離隔距離2.7m。 変形の根鉢となるが、樹勢は極めて旺盛であり、チャレンジ移 植は可能である。	●					
434	N02-434		トウカエデ	12.0	235	8.0		3.08	0.98	3.92	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.75	A	○																										歪楕円形(長径3.1m)の植栽樹に位置する。 変形の根鉢となるが、樹勢は極めて旺盛であり、チャレンジ移 植は可能である。	●					
435	N02-435		ウバメガシ	15.0	4本立	12.0	159,173, 192,90	3.36	1.07	4.28	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A																												高さH1.5mで4分岐しているが、H1.0m辺りまで癒合がみられる。 幹芯から歩道側コンクリート土間までの離隔距離0.6m。 とても立派な樹木である。	●				
436	N02-436		スダジイ	15.0	336	12.0		4.93	1.57	6.28	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A																												扁平な横拡がりの樹形である。枝が外灯と接触している。 幹芯から縁石までの離隔距離1.2m。 とても立派な樹木である。	●				
445	N02-445		スダジイ	12.0	202	8.0					1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○																													道路側に、大枝剪定痕からの腐朽、巻込み無し、が3箇所、 H2.2mにφ15cm、H2.4mにφ17cm、H2.8mにφ15cmあり。 根上りあり。縁石の押し出し(小)あり。 フェンスが、0.5m(北側)の距離にある。	●		

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場東側											調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)															追加調査項目								
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度									保存の必要性			移植			関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採			
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・備	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評価点	評価結果	高	中	低	可	難			樹高13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧	剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度					土壌硬度3回平均		
				1～4評価									ABCD	該当に○			該当に○			超	超	有	○×	大中小	大中小	大中小	1回目	2回目	3回目	20以上未満										
4	N01-004		ヒマラヤシダー	18.0	169	4.0	-	-	-	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2018年調査時点では存在していたが、2022年詳細調査の結果、維持管理等のため伐採済みであった。			●	
5	N01-005		シダレザクラ	5.0	107	3.0				2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○	○							有		大						隣接するヒマラヤシダーの、被圧(大)あり。剪定による、樹皮欠損・腐朽あり。根元に、フェンスあり。工事欄があり、根元の様子を確認できない状態にある。		●			
6	N01-006		ヒマラヤシダー	18.0	292	6.0				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対象木の存在を確認できなかった。工事欄があり、根元の様子を確認できない状態にある。	●				
7	N01-007		ヒマラヤシダー	18.0	143	6.0				3.0	3.0	3.0	2.5	1.5	3.0	2.67	C		○								無		大						被圧により、下枝が少ない。工事欄があり、根元の様子を確認できない状態にある。	●				
8	N01-008		ヒマラヤシダー	18.0	195	8.0				3.0	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.34	B		○								無		大						隣接するヒマラヤシダーの、被圧(大)あり。片枝状態にある。大枝・幹に、梢端切除あり。幹の頂部において、断幹されている。	●				
9	N01-009		ヒマラヤシダー	20.0	253	8.0				2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.75	A	○									有		中						被圧により、下枝が少ない。根元付近に、フェンスあり。工事欄があり、根元の様子を確認できない状態にある。	●				
10	N01-010		ヒマラヤシダー	20.0	246	10.0	2.95	0.94	3.76	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.34	B		○						超	超	無	○	中	無	無	-	-	-	-	樹形に乱れあり(H12mまで下枝なし)。大枝の強剪定痕あり。樹形維持困難。移植樹として不適である。			●	
11	N01-011		ヒマラヤシダー	20.0	194	8.0	2.29	0.73	2.92	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.42	D		○						超	大	無	○	小	無	無	26	29	29	28.0	幹に開口空洞があるが、移植には問題なし。大枝の強剪定痕がなく、良い管理状態にある。剪定でも樹形維持可能。		●		
12	N01-012		ヒマラヤシダー	20.0	189	6.0	2.33	0.74	2.97	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.92	B		○						超	大	無	○	中	無	無	15	14	15	14.7	樹形が良い状態にある。樹高大きく出来れば場内移植が良い。		●		
14	N01-014		ヒマラヤシダー	18.0	129	4.0	-	-	-	2.5	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2018年調査時点では存在していたが、2022年詳細調査の結果、維持管理等のため伐採済みであった。			●		
15	N01-015		ヤエザクラ	4.0	111	2.5				3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	3.84	D		○								有		大						根元に、巻き根あり。隣接するヒマラヤシダーによる被圧(大)あり。根元に、フェンスあり。			●		
17	N01-017		ヒマラヤシダー	20.0	295	12.0	3.26	1.04	4.15	2.0	1.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.67	A		○						超	超	無	○	無	無	無	11	8	17	12.0	移植に向けた剪定により、大枝を剪定すると、ふところ枝が無くなってしまふ為、移植樹としては不適である。			●	
18	N01-018		シダレザクラ	10.0	96	4.0				3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C		○								無		大						隣接するヒマラヤシダーによる被圧(大)あり。幹に、つる植物(2種類)が登ハンし、被圧(大)あり。隣接するヒマラヤシダーによる被圧(大)あり。	●				
19	N01-019		シダレザクラ	8.0	96	5.0				3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	2.5	2.84	C		○								無		大						隣接するヒマラヤシダーによる被圧(大)あり。	●				
20	N01-020		シダレザクラ	8.0	84	5.0				3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	4.0	3.50	D		○								無		大						幹に、打音異常 H1.2m～2.0mあり。幹の入り皮部に、腐朽あり。根元に、コフキサルノコシカケの子実体あり。カミキリムシの食害痕あり。	●				
21	N01-021		ヤエザクラ	4.0	53	4.0				3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.50	D		○	○							有		中						根元に、フェンスあり。	●				
22	N01-022		ザクラ	5.0	32	5.0				1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.5	1.34	A	○		○							有		中						深植え状態にある。	●				
23	N01-023		ヤエザクラ	3.0	62	4.0				3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	3.84	D		○								有		中						根元に、フェンスあり。	●				
24	N01-024		ヒマラヤシダー	20.0	233	10.0	2.86	0.91	3.64	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A		○						超	超	無	○	無	無	無	-	-	-	-	枝が細く移植は可能であるが、幹にとても大きな樹皮欠損があるため、移植樹としては相応しくない。			●	
25	N01-025		ヒトツバタゴ	18.0	98	8.0				2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.84	B		○								無		小						幹に、樹幹傾斜があるが、上部で持ち直し。	●				
26	N01-026		ハナモモ	5.0	3本立	7.0	23,28,55			1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A		○	○							有		中						根元に、入り皮あり。小枝に、コスカシバの食害痕あり。深植え状態にある。根元に、フェンスあり。	●				
27	N01-027		ヒトツバタゴ	8.0	47	5.0				2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.17	B		○	○							有		中						深植え状態にある。根元に、フェンスあり。	●				
28	N01-028		ハナモモ	4.0	2本立	5.0	35,41			2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B		○	○							有		大						枝に、コスカシバの食害痕(中)あり。盛土が、30cm以上あり。大枝に、フェンスくい込みあり。	●				
29	N01-029		ヤエザクラ	10.0	2本立	8.0	103,140			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○								有		中						盛土が、30cm以上あり。幹H0.6mに、入り皮あり。大枝に、剪定による樹皮欠損・腐朽(中)あり。	●				
30	N01-030		ヤエザクラ	6.0	40	6.0				3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.50	D		○									有		大						幹に、打音異常 H1.5m～2.0mあり。幹に、コスカシバ食害痕(小)あり。被圧による、枝枯れあり。盛土が、30cm以上あり。	●				
31	N01-031		ヤエザクラ	8.0	2本立	8.0	47,94			3.5	3.0	3.0	3.0	3.5	3.0	3.17	C		○								有		大						大枝に、腐朽、打音異常あり。幹H1.2mに、開口空洞、フェンスくい込みあり。盛土が、30cm以上あり。	●				
32	N01-032		ヒマラヤシダー	20.0	259	8.0				1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.42	A	○									有		小						盛土が、30cm以上あり。フェンスとブロックが、北側と東側にある。	●				
33	N01-033		ヒマラヤシダー	25.0	355	10.0	4.25	1.35	5.41	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.84	B		○						超	超	有	×	小	無	無	-	-	-	-	下枝が高さ12mまでほぼ無い状態である。幹芯からフェンスまでの距離距離0.95m、園路縁石までの距離距離1.2mと1.5m。適正根鉢確保困難。※幹周・根元周は防球マットの上からの計測。			●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場東側							調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載：追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目																					
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採									
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・備	枝伸長さ	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧					剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均			
																							A	B	C													超大高	超大高	有無		○×	大中小	大中小
1～4評価							ABCD	該当に○			該当に○				※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外																													
34	N01-034		ヒマラヤシダー	25.0	279	15.0		3.74	1.19	4.76	1.5	1.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.75	A																		15	18	16	16.3	下枝(東側)が高さ12mまで無い状態である。幹芯から植栽樹木までの離隔距離0.7mと0.9mと0.9mと0.9m(矩形)。※幹周・根元周は防球マットの上からの計測。適正根鉢確保困難。			●	
35	N01-035		ヒマラヤシダー	25.0	293	12.0		3.66	1.17	4.66	2.0	1.5	3.0	2.5	1.5	2.0	2.09	B																				幹芯からフェンスまでの離隔距離0.95m、園路緑石までの離隔距離1.2mと1.5m。適正根鉢確保困難。※幹周・根元周は防球マットの上からの計測。			●			
36	N01-036		サングジュ	6.0	117	3.0		1.26	0.4	1.61	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.00	B																				盛土0.75m。樹形に乱れあり(北側に枝なし)、病害が激しい。樹形・樹勢不良、不適。			●			
37	N01-037		サングジュ	6.0	71	2.5		0.95	0.3	1.21	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B																				盛土0.75m。樹形に乱れあり(北側に枝なし)、病害が激しい。樹形・樹勢不良、不適。			●			
38	N01-038		サングジュ	6.0	2本立	2.5	59,73	95,75	—	—	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B																				盛土0.75m。樹形に乱れあり(北側に枝なし)、病害が激しい。樹形・樹勢不良、不適。			●			
39	N01-039		サングジュ	6.0	71	2.5		1.04	0.33	1.32	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B																					盛土0.75m。樹形に乱れあり(北側に枝なし)、病害が激しい。樹形・樹勢不良、不適。			●		
40	N01-040		サングジュ	6.0	2本立	2.5	47,66	1.05	0.33	1.34	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B																					盛土0.75m。樹形に乱れあり(北側に枝なし)、病害が激しい。樹形・樹勢不良、不適。			●		
41	N01-041		サングジュ	6.0	76	2.5		1.37	0.44	1.75	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B																					盛土0.75m。樹形に乱れあり(北側に枝なし)、病害が激しい。樹形・樹勢不良、不適。			●		
42	N01-042		サングジュ	6.0	2本立	2.5	36,55	68,51	—	—	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.59	C																					盛土0.75m。樹形に乱れあり(北側に枝なし)、病害が激しい。樹形・樹勢不良、不適。			●		
43	N01-043		サングジュ	6.0	4本立	3.5	61,59,70,29	1.47	0.47	1.87	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.00	B																						盛土0.75m。樹形に乱れあり(北側に枝なし)、病害が激しい。樹形・樹勢不良、不適。			●	
44	N01-044		ケヤキ	20.0	286	10.0		3.18	1.01	4.05	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	2.00	B																						幹H4mに開口空洞(φ40cm)あり。植栽樹(矩形)の辺がアスファルト舗装であり、根張りに偏りがある可能性あり。※幹周・根元周は防球マットの上からの計測。適正根鉢確保困難。			●	
45	N01-045		クロマツ	8.0	146	4.0		1.93	0.61	2.46	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.42	B																					樹形に乱れがあり(断幹・梢端切除)、幹(南側)H0.6mに樹皮欠損あり、不適。幹芯から植栽樹木までの離隔距離0.8m。※幹周・根元周は防球マットの上からの計測。			●		
47	N01-047		クロマツ	8.0	131	4.0					2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B																					幹に、打音異常 H1.0mあり。一度移植済み。幹に、樹皮欠損(小)が、多数あり。	●				
49	N01-049		モチノキ	6.0	134	4.0					2.0	2.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.25	B																					大枝に、樹皮欠損が、多数あり。一度移植済み。幹に、樹皮欠損(H0.6m～0.9mの範囲)あり。幹H0.4mに、開口空洞 25×3あり。根元に、開口空洞 3×3×5あり。葉に、タイワントガリキジラミの虫害あり。	●				
50	N01-050		クロマツ	12.0	128	6.0					2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	2.00	B																					幹H0.5mに、開口空洞 15×20あり。一度移植済み。幹に、打音異常 H0.5m～1.5mあり。盛土が、30cm以上あり。		●			
52	N01-052		シラカシ	18.0	181	10.0		2.15	0.68	2.74	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.5	2.25	B																					幹に、開口空洞(巻き込みあり)があるが、移植には問題なし。北側の下枝が高いが南側の樹冠は問題なし。幹芯からフェンスまでの離隔距離2.2mと2.8m。H12m剪定では樹形維持出来ない。場内移植が適。			●		
53	N01-053		トチノキ	18.0	254	12.0		2.81	0.89	3.58	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B																						根元の南側半分は際までアスファルト舗装がされており、根系発達の状態は不明である。幹芯からフェンスまでの離隔距離1.5m。適正根鉢確保困難。			●		
54	N01-054		トチノキ	18.0	292	12.0		3.36	1.07	4.28	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.17	B																						樹冠を構成する中枝が横に広がっており太い。大枝(南側)がフェンスに接触、幹にナツツタの登ハシあり。幹芯からフェンスまでの離隔距離0.8mと1.1m。適正根鉢確保困難。			●	
55	N01-055		サングジュ	4.5	2本立	1.5	25,33	0.63	0.2	0.8	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B																						サングジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。			●	
56	N01-056		サングジュ	4.0	2本立	1.0	9,17				3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.09	C																						ブロック塀が、近接している。			●	
57	N01-057		サングジュ	4.0	2本立	1.0	11,22				3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.09	C																						ブロック塀が、近接している。			●	
58	N01-058		サングジュ	4.0	2本立	1.0	13,18				3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.09	C																						ブロック塀が、近接している。			●	
59	N01-059		サングジュ	4.0	16	1.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.09	C																						ブロック塀が、近接している。			●	
60	N01-060		サングジュ	4.5	27	1.5					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C																						ブロック塀が、近接している。			●	
61	N01-061		サングジュ	4.5	23	1.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C																						ブロック塀が、近接している。			●	
62	N01-062		サングジュ	4.5	23	1.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C																						ブロック塀が、近接している。			●	
63	N01-063		サングジュ	4.5	3本立	1.0	10,13,17				3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.09	C																						ブロック塀が、近接している。			●	
64	N01-064		サングジュ	4.5	2本立	1.0	27,31				3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.92	C																							ブロック塀が、近接している。			●
65	N01-065		サングジュ	3.0	12	0.5					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.09	C																						ブロック塀が、近接している。			●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名		軟式野球場東側													調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)												:追加調査項目		備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採								
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度						保存の必要性			移植				関連項目																						
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長さ	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評価点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径	根元構造物	根腐確保	片枝被圧	剪定・対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均						
1～4評価							ABCDEF			該当に○			該当に○				超大	超大	有	○×	大中小	大中小	大中小	1回目	2回目	3回目	20以上未満																
※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外																																											
66	N01-066		サンゴジュ	5.0	45	2.0				3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.92	C		○																	ブロック塀が、近接している。							
67	N01-067		ヒイラギモクセイ	3.0	5本立	1.5	14,14,18,18,22			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹高が3m未満に剪定されているが、樹木規格が3mのため、総数に計上。							
68	N01-068		ヒイラギモクセイ	3.0	3本立	1.0	11,14,10			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹高が3m未満に剪定されているが、樹木規格が3mのため、総数に計上。							
69	N01-069		ヒイラギモクセイ	3.0	2本立	1.0	16,11			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹高が3m未満に剪定されているが、樹木規格が3mのため、総数に計上。							
70	N01-070		ヒイラギモクセイ	3.0	28	1.0			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹高が3m未満に剪定されているが、樹木規格が3mのため、総数に計上。							
71	N01-071		ヒイラギモクセイ	3.0	19	1.0			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹高が3m未満に剪定されているが、樹木規格が3mのため、総数に計上。							
72	N01-072		ヒイラギモクセイ	3.0	2本立	1.0	20,12			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹高が3m未満に剪定されているが、樹木規格が3mのため、総数に計上。							
73	N01-073		ヒイラギモクセイ	3.0	2本立	1.0	17,21			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹高が3m未満に剪定されているが、樹木規格が3mのため、総数に計上。							
74	N01-074		シラカシ	16.0	177	12.0		2.06	0.66	2.62	2.0	1.5	2.5	2.0	1.5	2.0	1.92	B		○			○				超	大	有	○	無	無	無	12	12	16	13.3	しっかりと骨格樹形である。大枝に樹皮欠損、剪定痕に腐朽があるが概ね問題なし。幹芯からフェンスまでの離隔距離0.7m。H12m付近剪定でも樹形維持可能。			●		
75	N01-075		ヒイラギモクセイ	3.0	22	1.5			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹高が3m未満に剪定されているが、樹木規格が3mのため、総数に計上。						
76	N01-076		ヒイラギモクセイ	3.0	18	1.5			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	樹高が3m未満に剪定されているが、樹木規格が3mのため、総数に計上。						
77	N01-077		シラカシ	8.0	64	4.0			2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.17	B		○						※					有	大							被圧により、枝枯れ(小)あり。フェンスに、近接する。						
78	N01-078		スギ	12.0	68	3.0			2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.5	2.00	B		○						※					無	小						被圧により、枝枯れ(小)あり。フェンスに、近接する。							
79	N01-079		シダレザクラ	7.0	63	5.0			2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○	○										無	中						樹幹傾斜あり。幹H2.0mに、入り皮あり。							
80	N01-080		ヒマラヤシーダー	20.0	160	10.0		1.82	0.58	2.32	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.67	A		○			○				超	高	有	○	小	無	無	7	6	6	6.3	枝が細く、移植には適する。幹芯からブロック塀までの離隔距離1.4m。H12m付近で剪定しても樹形維持可能。			●		
89	N01-089		クスノキ	12.0	153	8.0			2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.09	B		○											有	無							大枝(東側)、梢端切除あり。一度移植済み。テニスコートの基礎、緑石、アスファルト舗装の、押し出しあり。						
90	N01-090		ウバメガシ	7.0	172	7.0		1.82	0.58	2.32	1.5	1.5	3.5	2.0	1.5	1.5	1.92	B			○			○				高	高	有	○	小	無	無	-	-	-	-	根元・幹に開口空洞あり、移植木としては相応しくない。				
91	N01-091		ケヤキ	20.0	394	15.0			2.0	1.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○											有	無							根元・幹(東側)に、開口空洞 40×20×5、ベッコウタケの子実体あり。大枝(東側)に、剪定痕からの腐朽あり。幹に、キツタの登ハンあり。フェンスに、近接する。						
92	N01-092		タブノキ	12.0	81	6.0			2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.00	B		○					※						有	中							幹に、キツタの登ハン、サルトリイバラのからみあり。フェンスに、近接する。						
93	N01-093		マテバシイ	10.0	75	6.0			3.0	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.67	C			○										無	大							幹H1.2mに、開口空洞 15×5×7あり。被圧による、枝枯れあり。						
94	N01-094		モチノキ	5.0	47	3.0			2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○	○										無	大							葉に、タイワントガリキジラミの虫害あり。幹に、キツタの登ハンあり。						
95	N01-095		シダレザクラ	4.0	32	205.0			4.0	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	3.75	D			○										無	大							キツタと、スタジイによる、被圧(大)あり。						
96	N01-096		マテバシイ	5.0	3本立	5.0	47,53,63	70,61,46	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○						○				高	高	有	○	大	無	無	-	-	-	-	樹形に乱れがあり、不適。			
97	N01-097		スダジイ	10.0	182	8.0			2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B		○					※							無	小							幹H0.7mに、開口空洞 20×13×13あり。幹に、打音異常 H1.2mあり。大枝に、剪定痕からの腐朽(大)あり。					
98	N01-098		マテバシイ	8.0	90	7.0		1.06	0.34	1.35	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.17	B			○									有	×	中	無	無	-	-	-	-	樹形に乱れあり(樹冠が扁平)。不適。幹芯からフェンスまでの離隔距離0.4m。					
99	N01-099		ケヤキ	20.0	313	15.0		-	-	-	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2018年調査時点では存在していたが、2022年詳細調査の結果、維持管理等のため伐採済みであった。						
100	N01-100		ケヤキ	20.0	279	15.0		3.06	0.97	3.9	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.92	B		○							超	超	無	○	無	無	無	-	-	-	-	下枝が少なく、枝葉量も少ない。ケヤキさらしが失われている状態にある。剪定では樹形維持困難、不適。					
101	N01-101		マテバシイ	7.0	49	4.0			2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.75	A			○	○										無	中							盛土が、30cm以上あり。					
102	N01-102		マテバシイ	10.0	128	6.0		-	-	-	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2018年調査時点では存在していたが、2022年詳細調査の結果、維持管理等のため伐採済みであった。						
103	N01-103		マテバシイ	5.0	50	3.0			2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.17	B		○	○											無	大							被圧による、枝枯れあり。					
104	N01-104		スダジイ	15.0	320	10.0		2.94	0.94	3.75	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A			○						超	超	有	○	無	無	無	-	-	-	-	樹形に乱れがあり(双幹状の大枝の一方がH5mで直角に屈曲、他方は道路側に傾斜)、不適。					

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場東側											調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目													
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格				活力度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採						
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・備	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評価	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧					剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均
				1～4評価							ABCD	該当に○			該当に○				超大高	超大高	有無	○×	大中小無	大中小無	大中小無	1回目	2回目	3回目	20以上未満	該当に● ●:変更樹木											
105	N01-105		マテバシイ	7.0	61	5.0							2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○	○													被圧による、枝枯れ(小)あり。ひこばえが、多数あり。		●			
106	N01-106		ケヤキ	20.0	301	15.0		2.96	0.94	3.77			1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.67	A			○				超	超	有	×	無	無	無	-	-	-	-	樹形に乱れがあり(下枝が高い、枝の暴れ)。H12m剪定では樹形維持困難、不適。			●
107	N01-107		スダジイ	10.0	191	6.0							2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.92	B		○			※												幹に、開口空洞が、数か所あり。剪定痕に、腐朽あり。根元に、樹皮欠損あり。	●				
108	N01-108		タブノキ	7.0	75	5.0							2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.17	B		○	○														被圧による、枝枯れあり。葉に、病徴あり。	●				
109	N01-109		スダジイ	5.0	152	4.0							2.5	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	2.34	B		○	○					有		大							根元・幹に、打音異常(大)H0.0~2.5mあり。幹H0.4mに、開口空洞 30×23×10あり。幹に、腐朽あり。枝抜け痕、多数あり。フェンスに、接触している。盛土が、20cm以上あり。	●			
111	N01-111		スダジイ	10.0	251	7.0		2.93	0.93	3.73			2.0	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	2.25	B			○				高	超	有	×	小	無	無	-	-	-	-	根元・幹がフェンスに接触している。大枝に樹皮欠損や開口空洞・腐朽などが複数あり。樹形に乱れあり、不適。			●
112	N01-112		シラカシ	15.0	144	8.0							2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○			※													幹H2.0mに、開口空洞 30×20あり。被圧により、東側の枝が少ない。盛土が、30cm以上あり。	●			
113	N01-113		ウバメガシ	12.0	246	8.0		2.43	0.77	3.1			2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.59	A	○						高	大	無	○	無	無	無	10	12	6	9.3	ナラ枯れ対策の粘着シート(カシナガホイホイ)、2020年9月設置から2年経過しているが、フラスや虫の死骸もみられず、元気な状態にある。萌芽力旺盛で剪定しても樹形回復力有り。			●
114	N01-114		モチノキ	7.0	42	3.0							1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.84	B		○	○														葉に、タイワントガリキジラミの虫害あり。枝に、虫食いあり。	●			
115	N01-115		トウカエデ	12.0	78	4.0							2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.34	B		○		※					有		大							根元・幹H0.3mに、開口空洞 60×20×25/35(芯達)あり。樹幹傾斜あり。ヘデラの登ハンあり。樹木番号N01-116シダレザクラに、近接している。盛土が、20cmあり。	●		
116	N01-116		シダレザクラ	15.0	110	7.0							2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○		※						有		大							樹幹傾斜あり。ヘデラの登ハンあり。樹木番号N01-185スダジイからの被圧により、枝枯れあり。	●		
117	N01-117		モチノキ	7.0	65	3.0							1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○		○															葉に、タイワントガリキジラミの虫害、虫食いあり。ヘデラの登ハンあり。	●			
118	N01-118		アカメガシワ	6.0	3本立	7.0	24,26,27						1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A			○															根元に、樹皮欠損 30×7あり。園内にアカメガシワの実生が多い為、保存価値は低い。			●
119	N01-119		モチノキ	6.0	50	3.0							2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.92	B		○	○															幹H1.6mに、樹皮欠損 7×7あり。ヘデラの登ハンあり。盛土が、20cmあり。	●		
120	N01-120		ムクノキ	3.0	3本立	2.0	9,11,11						1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.25	A		○	○						有		中							幹がH3.0mにて3分岐している。実生木である。フェンスが、近接している。	●		
121	N01-121		モチノキ	6.0	48	3.0							2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.92	B		○	○															幹に、曲がりあり。盛土が、20cmあり。	●		
122	N01-122		マテバシイ	6.0	58	3.0							2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○	○																多芽症状が、多発している。盛土が、20cmあり。			●
123	N01-123		モチノキ	6.0	62	3.0							2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.92	B		○	○															葉に、タイワントガリキジラミの虫害あり。			●
124	N01-124		プラタナス	18.0	231	8.0		2.91	0.93	3.71			2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○					超	超	無	○	中	無	無	10	6	9	8.3	適度に剪定管理されており、移植に適する。幹芯から隣木(N01-125クスノキ)までの離隔距離1.3m、クスノキの切除により根鉢確保が可能である。高さ12m付近で剪定しても樹形維持可能。根鉢大でBが適当。			●
125	N01-125		クスノキ	15.0	160	8.0		2.13	0.68	2.71			2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.17	B			○					超	大	無	○	無	無	無	-	-	-	-	樹形に乱れがあり(樹幹傾斜、樹冠に偏り)、移植樹として不適である。幹芯から隣木(N01-124プラタナス)までの離隔距離1.3m、プラタナスを移植対象とするため伐採とする。			●
126	N01-126		イロハモミジ	6.0	114	6.0		1.3	0.41	1.66			2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.50	B			○					高	高	無	○	無	無	無	-	-	-	-	幹(南側)H0.6mに開口空洞(15cm×14cm×20cm)あり、幹(南側)H0.9mに開口空洞(16cm×14cm×20cm)あり、幹(東側)H1.5mに開口空洞(10cm×4cm×8cm)あり。被害部に巻き込みが見られるが、移植樹として不適である。			●
127	N01-127		スダジイ	10.0	183	8.0		2.08	0.66	2.65			2.0	2.0	3.5	2.0	2.0	2.25	B			○					高	大	有	○	中	無	無	-	-	-	-	樹形に乱れあり(枝の分布に偏り)、幹・大枝に樹皮欠損や開口空洞などが散在し、移植樹として不適である。			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名				軟式野球場東側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目	保存	移植	伐採																
連番	樹木番号	表示	樹種名	規格			活力度						保存の必要性			移植			関連項目												備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》															
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損 備	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評価 点	評価 結果	高	中	低	可	難			樹高 13/15	根元 径					根元 構造 物	根幹 腐敗	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均						
																							A	B	C												不可	超 大 高	超 大 高		有 無	○ ×	大 中 小 無	大 中 小 無	大 中 小 無	1回 目
1～4評価							ABCD		該当に○			該当に○			※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外																															
128	N01-128		スダジイ	10.0	206	10.0		2.35	0.75	2.99	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B																								樹形に乱れがあり(枝の分布に偏り、ふところ枝が少ない)、根元に開口空洞や幹・大枝に樹皮欠損などが散在し、移植樹として不適である。			●	
129	N01-129		スダジイ	10.0	123	6.0		1.26	0.4	1.61	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B																							枝葉量が少なく、根元に開口空洞、幹・大枝付け根・大枝に樹皮欠損などが散在し、移植樹として不適である。			●		
130	N01-130		プラタナス	18.0	217	10.0		2.85	0.91	3.63	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B																								適度に剪定管理されており移植に適する。幹芯からフェンスまでの離隔距離2.1m。根鉢大。			●		
131	N01-131		マテバシイ	8.0	63	3.0		0.74	0.24	0.94	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B																							樹形に乱れがあり(樹幹傾斜、樹冠に偏り、下枝が高い)、移植樹として不適である。			●			
132	N01-132		シラカシ	15.0	128	8.0					2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B																							根元・幹に、打音異常(小) H0.0m～2.5mあり。盛土が、30cmあり。	●				
133	N01-133		ヒトツバタゴ	8.0	85	6.0					2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B																							樹幹傾斜あり。被圧による、枯枝あり。フェンスが、近接している。	●				
134	N01-134		マテバシイ	8.0	92	6.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B																							被圧による、枯枝あり。	●				
135	N01-135		マテバシイ	6.0	83	5.0					1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.67	A																							多芽病症状が、数か所あり。	●				
136	N01-136		シダレザクラ	6.0	50	5.0					2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B																							根元周辺に、カーベットが敷設されている。盛土が、25cmあり。	●				
137	N01-137		ウバメガシ	8.0	2本立	4.0	114,103				2.5	2.0	3.5	2.0	2.0	2.0	2.34	B																								幹H0.9mに、開口空洞 80×13×15/30(芯達)あり。幹H1.1mに、開口空洞 220×20×15/23(芯達)あり。根元に、開口空洞 15×5×10あり。幹が、H0.6mで、2分岐している。樹幹傾斜あり。盛土が、20cmあり。			●	
138	N01-138		イチヨウ	20.0	5本立	25.0	366,295,277,100?				1.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.92	B																								根元に、コフキサルノコシカケの子実体あり。幹(南側)に、打音異常(小) H1.0m～2.0mあり。幹(東側)H2.1mに、開口空洞 10×5×10/25あり。株立ちの幹分岐部が、全て入り皮である。大枝(南側)に、腐朽あり。露出根に、樹皮欠損あり。株立ちで、立派な樹である。			●	
139	N01-139		シラカシ	14.0	170	6.0		2.1	0.67	2.68	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.09	B																							樹形に乱れがあり(樹幹傾斜、樹冠に偏り、下枝が高い)、大枝に開口空洞・腐朽あり、移植樹として不適である。			●		
140	N01-140		シラカシ	14.0	187	7.0		2.18	0.69	2.78	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B																								大枝に腐朽(大)3箇所、樹皮欠損5箇所あり、移植樹として不適である。			●	
141	N01-141		ムクノキ	18.0	158	7.0					2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B																								幹(南側)H6.0mに、開口空洞 50×10あり。他に、開口空洞が、2箇所あり。幹に、大枝枯損あり。露出根の切断部に、樹皮欠損あり。過去に、ぶつ切り剪定されている。下枝が高い。	●			
142	N01-142		トウネズミモチ	5.0	6本立	4.0	7,13,16,17,19,19				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B																								環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●	
143	N01-143		ソメイヨシノ	15.0	204	7.0					2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.5	2.42	B																								根元(北側と南側)に、コフキサルノコシカケの子実体あり。幹(北側)に、樹皮枯死あり。幹(南側)H0.9mに、樹皮枯死 180×12×5あり。ひこばえが、多数あり。フェンスが、近接している。	●			
144	N01-144		マテバシイ	5.0	2本立	4.0	23,33				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B																								大枝に、腐朽あり。幹に、樹皮欠損 20×15あり。多芽病症状が、数か所あり。幹が、H0.2mで、分岐している。樹木番号N01-145ケヤキに、近接している。盛土が、30cm以上あり。	●			
145	N01-145		ケヤキ	20.0	189	15.0					1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A																									ヘデラの登ハンあり。盛土が、30cm以上あり。フェンスが、近接している。	●		
147	N01-147		シダレザクラ	4.5	27	3.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C																								枯れ枝あり。	●			
148	N01-148		シラカシ	8.0	66	6.0					1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A																								盛土が、20cmあり。	●			
149	N01-149		ヒサカキ	6.0	27	2.5					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B																									大枝H1.6mに、樹皮欠損 20×5あり。ヘデラの登ハンあり。フェンスが、近接している。	●		
150	N01-150		シラカシ	7.0	14	3.0					3.5	3.0	4.0	3.0	3.5	3.5	3.42	D																								断幹されており、南側に、根元まで腐朽(大)あり。根元に、オオミコブタケの着生あり。胴吹きが、多数あり。盛土あり。	●			
152	N01-152		ヤエザクラ	8.0	82	5.0		0.93	0.3	1.18	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C																								樹形に乱れがあり(被圧、樹幹傾斜、下枝が高い)、樹形不良で不適である。	●			

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場東側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目															
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活 力 度							保 存 の 必 要 性			移 植				関 連 項 目										備 考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保 存	移 植	伐 採						
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	根元周径(m)	根元径(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・備	枝伸長さ	梢端の枯損	枝葉の密度	平均評価	評価結果	高	中	低	可	難			不可	樹高13/15	根元径	根元構造物	根鉢確保	片枝被圧					剪定対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度			土壌硬度3回平均
1～4評価							ABCD			該当に○			該当に○				超	大	有	○×	大中小	大中小	大中小	1回目	2回目	3回目	20以上未満														
153	N01-153		クスノキ	15.0	199	10.0		2.48	0.79	3.16	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.92	B		○		○										14	13	19	15.3	移植に向けた縮小剪定をすると(樹高11m程度で剪定)、胴吹き枝にて良い樹形になると思われる。またH6mで3分岐しているが、拡がり過ぎておらず移植に適している。	●				
154	N01-154		ヤエザクラ	8.0	74	5.0					3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.50	D																	枝抜け痕からの腐朽が、2箇所、打音異常あり。樹幹傾斜あり。巻き根あり。	●					
155	N01-155		クスノキ	15.0	2本立	10.0	200,204	3.28	1.04	4.18	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○			○													7.3	移植に向けた縮小剪定をすると(樹高12m前後で剪定)、胴吹き枝にて良い樹形になると思われる。樹勢も良好である。根鉢は大でBが適当。	●				
156	N01-156		マテバシイ	8.0	5本立	6.0	141,99,7 6,113,73				2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.42	B		○																幹(東側)H1.4mに、開口空洞 70×15×15あり。大枝(南側)に、枯れあり。南側の幹の葉に、黄変あり。胴吹きが、多数。フェンスが、近接している。	●				
158	N01-158		ツバキ	3.5	3本立	2.5	9,18,22				1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B		○																被圧により、下枝に枯損あり。樹木番号 N01-160ヤエザクラに、近接している。	●				
159	N01-159		トウネズミモチ	4.0	17	2.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B																		環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●		
160	N01-160		ヤエザクラ	12.0	104	6.0		1.22	0.39	1.55	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.17	C																		樹形に乱れあり(被圧)、大枝に欠損あり、移植樹として不適である。	●				
161	N01-161		トウネズミモチ	6.0	39	4.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B																			環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●	
162	N01-162		シダレザクラ	8.0	129	7.0		1.56	0.5	1.99	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○																11.3	幹芯からフェンスまでの離隔距離0.4m、フェンス撤去可能。根鉢確保、樹形維持可能。	●			
163	N01-163		シダレザクラ	7.0	118	5.0					2.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.5	2.42	B																		幹H1.1mに、開口空洞 40×20×8、打音異常あり。ぶつ切り剪定されている。ヘデラの登ハンあり。フェンスが、近接している。	●				
164	N01-164		クログナモチ	12.0	212	8.0		2.62	0.83	3.34	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.59	A	○			○														8.3	樹形に乱れあり(北側の枝が少ない)。その他は概ね問題なし。幹芯からフェンスまでの離隔距離1.7mと2.3m。樹形良好な巨木、根鉢大きく場内移植が適。	●			
165	N01-165		ツバキ	5.0	44	3.0					2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.84	B		○																	樹幹傾斜あり。フェンスが、近接している。	●			
166	N01-166		サザンカ	4.0	42	2.0					2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B		○																	根元に、樹皮欠損 5×5あり。樹幹傾斜あり。フェンスが、近接している。	●			
167	N01-167		ツバキ	4.0	26	2.0					3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.59	C		○																	幹に、樹皮欠損が、数か所あり。周辺の中木からの、被圧あり。フェンスが、近接している。	●			
168	N01-168		ツバキ	4.0	15	2.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.09	B		○																	フェンスに、接触している。	●			
169	N01-169		ミズキ	12.0	62	6.0		0.92	0.29	1.17	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○																	7.0	健全な状態にある。樹形良好、移植可能。	●		
170	N01-170		サクラ	12.0	153	8.0		1.72	0.55	2.19	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B																			被圧(大)あり、梢端枯れあり、樹勢衰退傾向にある。不適。	●			
171	N01-171		ヤエザクラ	8.0	2本立	5.0	117,51				3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.50	D																			大枝に、ぶつ切り剪定枝の枯損あり。根に、切断痕あり。幹が、H0.5mで、2分岐している。胴吹きが、多数あり。盛土が、25cmあり。	●			
172	N01-172		タイサンボク	8.0	145	8.0		1.59	0.51	2.03	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B		○																	14.3	幹芯からフェンスまでの離隔距離1.7m。樹形維持可能。		●	
173	N01-173		モッコク	7.0	110	5.0		1.4	0.45	1.78	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B																				樹形に乱れあり(双幹の片方切断)、大枝に腐朽あり、移植樹として不適である。			●
174	N01-174		トウカエデ	12.0	242	10.0		3.51	1.12	4.47	1.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.92	B	○																		20.7	根元に開口空洞あるが問題なし。縁石に囲まれた植栽樹(3.1×約2.4mの楕円形)にあり、幹芯から植栽樹に入り込んだベンチまでの離隔距離1.5m。舗装を剥いた根鉢となるが、樹勢は極めて旺盛であり、チャレンジ移植は可能である。	●		
175	N01-175		カシワ	6.0	152	3.0					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		切株状態のため、伐採として総数に計上。			●	
176	N01-176		トウカエデ	12.0	262	8.0		3.45	1.1	4.39	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.84	B	○																		24.0	縁石に囲まれた植栽樹(直径1.2mの円形)にある。円形の根鉢となるが、樹勢は極めて旺盛であり、チャレンジ移植は可能である。	●		
177	N01-177		シダレザクラ	8.0	105	5.0		1.27	0.4	1.62	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B																				樹形に乱れあり(北側の枝なし)、大枝に剪定痕からの腐朽が複数あり、移植樹として不適である。	●		
183	N01-183		シラカシ	15.0	218	10.0					1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○																			幹H1.2mに、開口空洞 25×10×10あり。大枝に、剪定痕からの腐朽あり。フェンスが、近接している。	●		
184	N01-184		シラカシ	15.0	196	10.0					1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○																			大枝に、ぶつ切り剪定、腐朽あり。	●		

既存樹木調査結果一覧

エリア名				軟式野球場東側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日 ※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目																
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度						保存の必要性			移植			関連項目										備 考													
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 備	枝伸 長さ	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			樹高 13/15	根元径	根元 構造物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》			保存	移植	伐採	
																							A	B	C								不可	超 大 高	超 大 径		有 無	○ ×	大 中 小 無				大 中 小 無
1～4評価														ABC	該当に○			※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外										該当に●															
185	N01-185		スダジイ	15.0	369	10.0																																	立派な木である。幹に、開口空洞が、数か所あり。大枝に、腐朽が、数か所あり。根元、縁石の押し上げあり。フェンスに、くい込みあり。	●			
186	N01-186		マテバシイ	12.0	155	8.0																																幹H1.2mに、開口空洞 8×3×10あり。背着生キノコあり。大枝が、ぶつ切り剪定されている。ひこばえが、多数あり。	●				
187	N01-187		シダレザクラ	6.0	70	3.0																																幹に、腐朽が、多数あり。フェンスが、近接している。	●				
188	N01-188		シダレザクラ	10.0	106	7.0																																根元・幹に、打音異常(小) H0.0m～1.0mあり。大枝が、ぶつ切り剪定されている。片枝樹形である。フェンスが、近接している。	●				
189	N01-189		シダレザクラ	8.0	96	6.0																																フェンスが、近接している。	●				
193	N01-193		シダレザクラ	8.0	111	5.0																																幹に、コブが多数あり。フェンスと、照明の柱に、近接している。	●				
196	N01-196		シダレザクラ	7.0	104	4.0																																大枝が、ぶつ切り剪定されており、コブが多数あり。フェンスが、近接している。	●				
199	N01-199		シダレザクラ	7.0	64	5.0																																マンホールと、フェンスが、近接している。	●				
202	N01-202		シダレザクラ	7.0	82	5.0																																	根元・幹に、打音異常(小) H0.0～2.0mあり。高さH0.7mに、ワイヤーのくい込みあり。フェンスが、近接している。	●			
203	N01-203		コブシ	10.0	121	7.0																																	大枝が、ぶつ切り剪定されている。ヘデラの登ハンあり。フェンスが、近接している。	●			
204	N01-204		シダレザクラ	8.0	109	6.0																																	片枝樹形である。フェンスが、近接している。	●			
207	N01-207		シダレザクラ	8.0	95	6.0																																	枝葉が、少ない。梢端剪定されている。フェンスが、近接している。	●			
209	N01-209		イヌツゲ	3.5	2本立	1.5	36,14																																幹に、腐朽が、多数あり。刈り込み剪定されている。	●			
210	N01-210		イヌツゲ	3.0	34	1.5																																	大枝に、腐朽が、多数あり。刈り込み剪定されている。	●			
211	N01-211		イヌツゲ	3.0	32	1.5																																	樹木番号N01-077シラカシからの、被圧あり。刈り込み剪定されている。	●			
218	N01-218		シダレザクラ	12.0	141	7.0																																	根元・幹に、打音異常(小) H0.0m～0.5mあり。フェンスが、近接している。	●			
225	N01-225		シダレザクラ	8.0	109	6.0																																	大枝に、腐朽が、多数あり。幹に、こぶが、多数あり。フェンスが、近接している。つる植物の登ハンあり。	●			
226	N01-226		イヌツゲ	3.0	3本立	2.0	18,34,40																																大枝に、腐朽あり。フェンスが、近接している。刈り込み剪定されている。	●			
229	N01-229		シダレザクラ	6.0	130	6.0																																	幹に、こぶが、多数あり。フェンスが、近接している。	●			
232	N01-232		シダレザクラ	8.0	88	7.0																																	幹に、こぶが、多数あり。大枝が、ぶつ切り剪定されている。フェンスが、近接している。つる植物の登ハンあり。	●			
233	N01-233		イヌツゲ	3.0	7本立	2.0	28,22,14,23,26,36,28																																小枝に、枯れあり。刈り込み剪定されている。	●			
236	N01-236		トウカエデ	15.0	211	7.0		2.78	0.89	3.54																													幹芯から球場側フェンスまでの離隔距離0.8m、球場土留め塀までの離隔距離1.4m、歩道アスファルトまでの離隔距離1.55m。根鉢やや厳しいが、樹勢ある種でチャレンジ移植可能。	●	●		
240	N01-240		シダレザクラ	6.0	79	5.0																																	枝が、梢端切除されている。片枝樹形である。幹に、こぶが、多数あり。フェンスが、近接している。	●			
243	N01-243		トウカエデ	12.0	174	7.0																																	フェンス側の枝が切断されている。大枝が、ぶつ切り剪定されている。照明柱に、近接している。	●			
245	N01-245		シダレザクラ	8.0	105	7.0																																	片枝樹形である。フェンスが、近接している。	●			
247	N01-247		カラスザンショウ	10.0	168	8.0																																		大枝に、ぶつ切り剪定、腐朽あり。フェンス側の枝に、腐朽(大)あり。幹に、縦の割れ傷あり。樹幹傾斜あり。フェンスが、近接している。	●		
248	N01-248		トウカエデ	7.0	95	4.0																																	双幹の片方が、伐採された状態にあり、切断痕からの腐朽(大)あり。フェンスが、近接している。	●			

